

平成29年度 町政懇談会

質疑応答集

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
1	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	算所	6/19	会場	クアハウス運営の継続について ・高齢者の健康増進も想定してつくられた施設と思う。来年3月末で指定管理事業所が撤退すると聞いたがどうなるのか。また、利用者が中心で施設存続の署名を行ったが町長まで届いているのか。 ・施設の老朽化が要因の一つと聞いているが、物(箱物)を造ったら、永久にあると思われずメンテナンスの予算を考えてほしい	現在、ドルフィン指定管理でお世話になり、愛された施設となっています。しかし各箇所に劣化がみられるため、今後運営検討委員会を中心に検討していただく考えです。 クアハウスの健康増進と運営全般に向けて配慮したいと思います。3月末での撤退は具体的に聞いていません。平日夜間の利用者のコミュニティは高まっていると私自身利用時に実感しています。署名については私の手元にはまだ届いていません。
2	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	6/19	会場	①加悦中学校のソーラー設置の効果について ②議員懇談会では、災害時に役立つといわれたが、嘘であったのか ③授業で使用するのであれば他校にも設置が必要ではないか ④昨年わたしが質問した内容であるが、今後検討するという回答であれば、このような懇談会は必要ないと思う。 また、シャワールームも災害時のためと言われていた。何も使われていない、宝の持ち腐れでは。また、排水口からの逆流しての臭いがある。	①ソーラーについては、省エネの意識付け学習が主体、学校授業で使用する程度の電力です。 ②蓄電設備はついていませんが、多少の電力にはなります。 ③校舎改修の事業実施上の条件の中にソーラーをつける要件がありました。他校については今後検討したいと思います。 ④ご意見を無視してはいただけなく、他中学校からの要望が補助を受けるのに通らなかったということです。シャワールームについては、これまでからも学校へ指導していますが、使用するよう再度指導していきます。
3	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	算所	6/19	会場	加悦中学校の通学路の水路、車が走るたびに音がする。中学校の改築工事が終わる時に直していただいただけと聞いた、一部直していただいたが完全でない、全部治していただきたい。音がしないように、音がすればすぐ直すと、当時の建設課から聞いている。	引継ぎができていないのか、修理の動きがあるのか、修理するにしても、テニスコートの工事が終了する8月以降となります。担当課に確認します。 → 数が多く一度には治せませんが、H28から年次計画で順次実施しています。
4	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	算所	6/19	会場	豆っこ米ブランドで売っているが、全員の農家が実施すれば与謝野町の農業はより発展するのではないか。 加悦の道の駅が、高速道路や場所の関係で廃れてしまったが、農の駅のようにしてアピールをしていただきたい。	豆っこ米肥料年300トンの生産量を550トンに増産します。これで希望される農家への対応ができると考えており、やさしい農業を高めていきます。 金屋、滝区で野菜の駅(販売所)として、再開してもらっています。豆っこ米の肥料を活用した商品のPRや、食農体験できる施設として応援していきたいと思っています。
5	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	算所	6/19	会場	豆っこ米の単価は。与謝野町の補助はなく、肥料代がかかるので、農家は今のままでは赤字である。これでは広まらないと思う。JAよりも町が豆っこ米を買い取って、販路を考えていくとか、町が推進するなら作ったものを守り、汗をかいていただきたい。	農家の方は高貴な仕事であると考えています。手を携えてきた事業、生産拡大に向けて販路の拡大については独自のルートもあるので、側面的な支援を町は行っています。
6	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	算所	6/19	会場	町への要望と言うのもないが、地域での活動を紹介します。ゼロ予算事業で、100円サロン、高齢者サロン、女性会議の開催 歴史あるこの町の勉強会をおこうでまかない実施した。	算所の100円サロンは区長からも相談を受けて聞いています。コミュニティの中核として行政も応援していきます。 女性会議については、女性が活躍するときであり、役場の中でも女性を登用し、いろんな方面で協議していく事が重要と考えています。 区長のご夫人もバイタリティのある方多くあり、女性会議の開催も良い。 当町は歴史があり、教育の歴史を継承していきます。
7	快適でやすらぎのある生活環境づくり	算所	6/19	会場	各家庭で草刈をされ草をごみ袋に可燃物で出したら、土がついていると取ってくれず、不燃物処理場にもっていくと、土がついているからだめだと言われた。厳しすぎる。	草に土がついているものは、取り除いてください。取り除いていけば、可燃ごみや最終処分場で受入をさせていただきます。ご協力をお願いします。
8	快適でやすらぎのある生活環境づくり	算所	6/19	会場	京都府条例で焚き火は許可されているが、与謝野町も同じ考えでいいのか。	京都府の条例で焚き火は許可などはありません。 ただし、野焼きについては、家の草や枝木など軽微なものに限っては野焼きは認められています。 生ゴミや紙類などの焼却行為は検挙対象になりますのでご注意ください。
9	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	今年の3月に加悦奥区域内で起きた建物火災の残さについて、町の配慮をいただき間もなく片付く。感謝している。	廃屋について数年前から報告いただいていたのですが、個人の所有ということもあり行政として手立てを講じることが難しかった。大雪により倒壊し、生命の危機もあることから略式行政代執行をしたところ。代執行中に火災が発生し近隣の皆さまにご不安とご不便をかけ、心からお詫び申し上げます。一定の解決の目途がたちましたが、引き続き所有者と連絡を取ってこれらの事業に対する一定の責任を負っていただかなければならないと思っています。
10	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	加悦奥峠の府道について、合流地点から向こう山の木などが被ってとても府道と思えない。但東町になると道幅も広く道がよくなる。ぜひ一回見てもらいたい。	加悦奥の中藤加悦線と滝の加悦但東線の2路線については、府県の境を越えて両市町で府・国に対し要望活動を続けています。府民公募型の事業で、例えば側溝の整備などはさせていただいているが、まだまだ抜本的な解決に至っていない状況です。引き続き2路線一体的に要望活動をしていくのでご理解ください。2路線は生活道路というだけでなく、路線を通じていかに経済交流、観光交流が起こっているかという側面に注目した要望を行っていきたくです。
11	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	6/20	会場	10年くらい前から豆っこを使って米を作っている。最近では補助事業で散布してもらって大変助かっている。ただ、収穫量が1〜2割くらい少ない。肥料の性格上仕方ないと思っているが、それに加え、加悦奥は山間部なので3年前に冬の事業でフェンスを張り巡らせたが、猪や鹿が穴を開けて田んぼや畑に入ってくる状況。加悦奥に来て50年、こらからもこの地で生活していかなければならないし、せめて自分の農地は守っていきたく思っている。だんだん高齢化が進み耕作放棄地が毎年増えている。人から頼まれて、なんとかしてあげたくても自分も高齢で無理が利かない。加悦奥に限ったことではないが、農業に関してこれからも行政からの支援をお願いしたい。	獣害被害は切実な問題だと認識していますが、なかなか追いついていない現状のなか、出来る限りの策を講じているところです。農地については町としてもより有効な施策を考え講じていきたいです。農業従事者の高齢化については日本全体の課題です。次の担い手に引き継ぐ手段として、近年、国では中間管理機構を作り、農地を安心して渡し、公的機関である中間管理機構が次の担い手に渡すという取り組みを始めました。これは町としても、今出来る有効な策の一つだろうと思っています。今耕作している農地を荒らさずに次の世代に継承して欲しいという願いをお持ちだと思いますが、公的機関に委ねることも一つの手段。また、町としても安心できる担い手を確保できる、近年の国の施策。出来た農産物が高付加価値を生んで流通していくところで、新しい農業者が確保出来ると思っております。まずは豆っこの部分で有利な流通が出来る仕組みを積極的に講じていきたいです。
12	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	6/20	会場	熊の出没情報について、3回くらいは役場に連絡するが出没するところは決まっているのでそれ以降はしていない人も多い。人から聞いたところでは、データを出すために連絡をしてということみたいだが、聞いていなかった。データを出すなら「データを出すのに必要だから」「熊のエリアを調べるために」としてもらったほうがよい。鹿はまだ対処できるが、猪・猿・熊には手を焼いている。今年は二重電気柵をしているが、農林課で全国の良い方法があれば調べて欲しい。	熊については農作物の被害に加えて、人身事故も全国的に増えています。熊を捕れる、捕れないの対応は府県によって異なります。京都府は近隣に比べたら捕れない、規制が強い地域ですが、ここ2〜3年でこの状況を踏まえてだいぶ変わってきました。従前は、捕った熊は常習犯でなかったら山に帰していたが、2年ほど前からほとんど殺処分しています。今年は、それに加え、今までは一定の被害がなかったら殺処分出来なかったが、被害が出そうだという時も京都府が認めたら被害がなくても檻をかけたりして殺処分が出来るように変わってきたところ。また、猟友会の方で鹿・猪と同様に狩猟が出来るような規制緩和の要望を今年は2市2町で行ったということもあり、だんだん規制が緩和されていく方向にあります。人身被害等の可能性が今までより低くても檻がかけられる動きがあるので、熊を見たら可能な限り役場に伝えてほしい。ある程度、日にちをまとめてでも、データとして十分活用出来るのでご報告よろしくお願ひします。
13	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	加悦奥に猫がものすごい数がある。3軒ほどあるが、これは仕方ないとしても、他からも結構捨てに来られる。以前は役場で月に2回ほど引き取りがあったが、今は地元で捕獲して保健所に行ったら1匹6千円取られたと聞いた。悪さはしないが何かいい対策がないか。役場で引き取ってもらえないか。	猫の関係ですが、飼ひ猫の親猫は保健所の引き取りで1匹あたり6千円かかります。子猫の場合は10匹までが6千円ということになっています。行政としましては、住民環境課が窓口をしているのですが、多く聞いているようです。保健所と一緒に現地向かってその対応をしているようなのですが、なかなか追いつかないのが現実のようです。地域にそういうのが何軒かありましたら、町に言っていただいで、すべて一気に解決するということにはならないと思いますが、対応できる範囲で徐々にということになるかもしれませんが、対応しているのが現状ですのでご理解いただきたいです。 野良猫に餌をやる人がいれば、野良猫は増えていく一方になりますので、そういった方がおられたら近所で注意していただくか、与謝野町や保健所にご連絡して対応させていただきます。 ただ、野良猫に関しては与謝野町で引取りはできないため、直接丹後保健所に連絡していただき、引取の有無をお伺いください。野良猫に関しては、引取料は発生しません。
14	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	加悦総合さんのところのカーブミラーが曇っていて見えないので、早急に直してほしい。	京都府に要望します。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
15	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	6/20	会場	道の駅のことだが、議会に取り上げられる前に、そこで働いている人から「周りからここが閉鎖になると聞いたが、私たちは会社からは何も聞いていない。本当に閉鎖になるなら次の仕事のことも考えないといけないが、それも考えられない。もっと困るのは野菜を収めている農家に連絡も出来なくて困っている。」ということを知った。町が出資して、設備を建てたり関わったところをほったらかしにするのはおかしいと思う。ちゃんとなかを見てあげないと、働いている人はだいが困っておられた。ここからが本題ですが、今、滝金屋農業振興会が関わっておられると思うが、農業振興会の会員さんが自分はそんなことは何も聞いていない。野菜のことも、農業振興会が関わるといことを会員だけひと言も聞いていない。役員さんがちゃんとしておられるから間違いないと思うが、農業振興会として一つの大きな事業を、何も言ってもらえないのはおかしいと思う。知らない間に決まっている。回覧版でも知らせてもらえれば。	道の駅については、タンゴフロンティア株式会社が指定管理者として運営され、22年間の事業のなかで地域への大きな貢献をされました。一方、道路の状況が変わったり、経営陣の高齢化ということもあつただろうと思います。その状況を打開することがなかなか出来ませんでした。それに対し私たちが指導力という部分が欠けていました。道の駅は多くの農家の皆さんが出品をされていて生活の糧になっていたのも、なんとか良い形で継続していきたいということから平成26年当初から議論に入りました。地元の出資を募っても役員さんからの増資を募っても現状を打開することが出来なかった状況。そうした流れのなかで本年3月31日をもって一旦休館となったのですが、先日、6月10日に与謝野野菜の駅として滝金屋農業振興会の皆さん方の努力によってリニューアルオープンされたというのがこれまでの経過です。そのなかでタンゴフロンティア株式会社の内部の議論がどうだったかは私たちが熟知というところまでいっていないが、私も実際そこで働いている方から会社の経営陣から何も聞かされていないという声を聞いておりましたので、私たちの方から丹後フロンティア株式会社の方々にそういう意見があるかどうか相談させていただいていました。しかし、そうしたなかでもご迷惑をかけた従業員、納める方も迷惑を被ったことが多々あつたことは私たちに一定の責任があつたと思います。そして、滝金屋農業振興会のこれもまた内部の調整という話になると思いますが、4月後半には滝金屋農業振興会として私どもに対し道の駅を活用した農産物販売所の継続要望をいただきました。この背景には滝金屋農業振興会の内部的な議論と合意があつたのではないかと拝察します。ただ、各会員の皆様にとりほどの説明がされていたのかまでは私どもも把握しきれないところですので、今回一つの意見として受け止めます。道の駅中山間農業振興会についても、農林課が所管している中山間事業、多面的機能交付金事業の受け皿となつている組織でありますので、ここの運営についても農林課が管理しておりますので町政懇談会でこのようなお話も聞いたことを伝えながら、適切な合意形成がなされるような指導と議論をしていきたいと思ひます。
16	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	6/20	会場	豆っこさんの車は公用車でしょうか。啞えタバコで運転しているのを何回か見た。そもそも公用車でタバコを吸うのもおかしい。タバコを吸う人には申し訳ないが、考えていただきたい。	公用車の啞えタバコについては、現状を確認し厳重な対応をします。直接施設を管理している農林課としても公用車における啞えタバコは不適切な行為と認識しています。まず事実確認をするところから対応していきます。
17	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	加悦奥	6/20	会場	私が働いている会社は募集したら午前9時から午後3時までの時間帯は若い女の人が結構多く応募して来られる。子どもを保育園に送って行って、また迎えに行く。そういう人たちのために手厚い予算配分をしてもらいたい。今回の予算の概要を見せてもらい観光だとかそういうことも大事ですが、それ以上に宮津や京丹後の人が「与謝野町に行ったら、子育てしながら働けるんだ」と思ってもらえるようなことにもっとお金を使って欲しい。	女性や子どもたちに対する積極的な予算配分については、私も十分必要だと考えています。子育てをするなら与謝野町で、教育をするなら与謝野町で受けさせたいと言ってもらえるように私たちも努力したいし、予算措置も積極的にしていきたいと思ひます。
18	協働で進めるまちづくり	加悦奥	6/20	会場	資料5ページの歳入で町税が何百万ちょっと増額されているが、町府民税や固定資産税の増加となっている。これは目途がたつたものなのか。	町税の見込みですが、例年、税務課で当初予算に計上した予算から年度末の調定を見込み、翌年度の収入見込みを立てています。それが、1年前の28年度の予算と見込み、その年度途中でも増収に転じている方向にあつた見込みから、一定の増収を見込んでいます。
19	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	中藤加悦線については豊岡と与謝野町と会議があつて町長とそこで出しています。府民要望でやっていたらいいが、先日の区の役員会でも申し上げたように京都府が再委託していただいてもその年には無理なようです。金額にもよりますが、3年程度の間で長い目で見て欲しいということで、再委託をしたらやりますけど毎年毎年出来るものではないということでした。	中藤加悦線については区長からご説明があつたとおりです。府民公募型事業については、採択されてから実施までに長い期間を要している箇所が多くありますので、町からも早期の実施を京都府に要望しています。
20	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	かざし枝の件、これは建設課になるかと思うが、切つていいものか、地権者の了解を取らなければならぬのか確認していただいて、その後対応していったらいいのかと思う。一部、植林もあるのでそのあたりも併せて確認をお願いしたい。	かざし枝を切ることの地権者の了解については、明日、建設課に確認をしたいと思ひます。それぞれ多分、道路管理者の責任においてですとか電気事業者、例えばNTTさん、関電さんとか認められているところとか色々ある。ケースバイケースで必ずしもこうだということが申し上げられないので、またお返事したいと思います。 → かざし枝については、基本的に樹木が生えている土地所有者に伐採をお願いしています。区で伐採をお世話になる場合でも、土地所有者の了解が必要と考えます。
21	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	加悦奥峠、本当に悪いです。京都府にお願いして直してもらってはいるが、今世話になっているところは区有地・区の山林程度で、実際にはもう区が持っているものはなくなりましたので、あとは民地部分を世話にならなければならないだろうと思うが、なかなか用地交渉が出来ていないようなので、引き続き建設課にお世話になりながら進めていきたい。	-
22	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	加悦奥の奥の方、府道はきれいに除雪してもらおうのですが、勤め人や学生のために1本だけでいいので、家のないところまで空けて欲しい。今年は特に雪が多く、苦情が多かつた。町道のことはこうして言えるのですが、府道はどうしたらいいのか。	府道は京都府の土木事務所が管理しています。ただ、住民の方から直接土木事務所に言っていたかなくても、町に言っていたければ建設課を通して府に伝えます。
23	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	6/20	会場	熊の放送を外で農業をしていた時などに分からない。屋外放送を出来るような方法を考えてもらったほうがよいのでは。	放送機材を改良しタイムリーに放送するように、機器的な改良をして対応しましたが、今日お聞きした点もより有効な手段がないか考えさせていただきます。
24	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦奥	6/20	会場	私は勤めと家では農作物を作っている。農作物を売るところを探している人が多い。与謝野ブランド戦略とかかっこいい言葉だが、実際には見かねて道の駅を再開したとか。もっと、こういうものを作るからこれだけの野菜を作ってくださいというように説明してものを作ってもらうようにしたら協力できる。登録制にするとか。今は、ホップとか桑の木植えて養蚕されるとか、ある一部の人だけに利益がもたらされるような感じにしか見えない。受け皿となるようなことを考えて、計画的な方向にしていればありがたい。	農作物の受け皿とか体制だと思ひますが、道の駅を中山間振興会が中心となつてなんとかやっつていこうという動機のひとつには今おつちやつた部分を強化したいということが大きくあります。滝や金屋の生産法人等が中心になつて自分たちで販路を獲得して、それを全町に広げたいという思いで活動されているので、町としても連携をとりながらおつちやつた形がとれるように頑張りたい。もうひとつは、今は具体的に明言出来ないが、限られた日本産であつてもシェアの少ない農産物を京都の地域でまとまつて作れたら一つの産地として成り立つので、それを加工品として流通させるということも、この秋にはひとつの提案としてさせていただけると思ひます。またご相談したいと思ひます。→ この件は進出企業の事情で計画は未定となっています。ホップと桑について、まずホップについては出来るかどうか分からないところからのスタートだったので、試験栽培を3年しました。来年に向けては一般の方へも苗をお分けして、やってみようと思われる方に、広がりを持ってもらえるような仕組みを今年度で作っていきたく思ひます。桑も同様に町として1つほ場を設けたが1次産業、2次産業、3次産業に展開をできるという展望が持てたら広げたいという思いを持ちながらスタートしました。私の就任する如何にかかわらず、当地域において近年大変新しい挑戦が生まれつつあるということは事実。自らやってみたい、手がけてみたいという方に私たちが応援させていただいたことも事実。私たちがそういった方々に積極的な支援をしていくことによってその輪を広げていきたいと思ひているので、みんなで一緒にやっていくということは現段階では難しかったです。ですが、各事業における門戸は開かれているので、もし皆さん方の方で何かやってみたい、今の動きを説明せよということでしたら喜んで行かせていただきたいと思います。積極的な関与をしていただけたらこれらの動きが力強いものになっていくと思ひます。私たちが常にオープンな姿勢で産業政策についても農業政策についても行っているのをご理解いただきたいと思います。
25	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦奥	6/20	会場	町道、府道がかなり傷んでいる。要望もあげているが、すぐ出来るようなことは積極的にしてもらいたい。観光を掲げても、行ってみれば草がぼうぼう、ごみが落ちていて。何につけても中途半端。目標を見つけて売り込むとか、細部まで見えるようにしてもらわないと、格好いいことばかり言つてもついでに行けない。数年後に財政が枯渇し転落したらどうするのか。	財政危機をどうするかというご質問にも関連しますが、毎年区の方から大変多くの要望をいただいています。町道に限らず色々な箇所の修繕、改良の要望です。毎年区長会で意見をいただいているなかで「毎年たくさん要望しても財政が厳しいなかで僅かの改良しか出来ない」と言われています。全ての構造物、道路、橋、建物にしる建設すると当然修繕が必要な時期がきます。与謝野町の場合、合併して多くの施設を抱えているので、今からどんどん更新期を迎えるということで、町としても公共施設の再投資をどうしていくのか、もちろん不要な財産として考えられるものについては更新をしないという選択肢を併せ持ちながら、今後の公共施設のあり方を模索している状況です。それと別の角度で財政危機にどう対応していくか。私が考えているのは強弱をつけていかないと今後は絶対対応出来ない、全てのことを全て今までもどおり出来ない時代に入ってきています。例えば税収が増えても他の要素で減るとしたなら、歳出の方の見直しをかけていかないと持続性のある財政運営は出来ないだろうと思ひます。当然住民の方々にもそういった選択の中では痛みを伴うこともあろうかと思ひますが、行政を預かる側としてはそこは避けて通れないと考えているところです。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
26	協働で進めるまちづくり	加悦奥	6/20	会場	議会で議員提案があったものを町が採用したことはあるか。	議員の皆さんには一般質問や予算審議を通じ意見主張、それを推進していくために政策の提言を各定例会でいただいています。提案を受けて実践に移していることもあるが具体的に何かということは申し上げにくい。各個別の議員さんからだけでなく、議会懇談会の後、私どもに住民の皆さんの意見の集約の提案をいただいでいて、それらについても行政に反映しています。近年、議会基本条例が出来、住民の皆さんとの対話を重要視しているという動きのなかで議会は活発になっているし、一般質問でもほぼ全ての皆さんが質問をされるのは近隣市町を見渡してみても珍しいのではないかと思います。私たちとしては議員さんの声は住民の皆さん方の声という認識のなかで出来る限りの対応をしていきたいし、意見交換のなかで議論を深めていくということは現段階でも出来ているのではないかと思います。
27	協働で進めるまちづくり	加悦奥	6/20	会場	財源が無くなるのは平成36年。財源がなくなった場合どうするのか。現に平成28年度はマイナスで親の資産を取り崩している。痛みを伴います、施設を閉鎖しますでは町民として期待が持てない。例えばふるさと振興でお金をもらうとか寄付金をもらうとか、そういうことをしないで知らない間に過疎化して潰れるのを待っている状態。もっと議員や町民にアイデアを募ったらどうか。	将来の見直しについて悲観的なことをおっしゃっていましたが、私から若干、数字的な面で補足をさせていただきます。現在当町の合計特殊出生率は1.82という推計値です。これは3年ほど前と比較すると上昇傾向です。一人当たりの所得についても微増ということですが、近年増加傾向です。そして近畿圏内での有効求人倍率についても、これはそもそもの母数も減っているということもあると思います。1.5を超える数値です。またこれらの数値に反映されない住民の皆さん方の自治活動についても私は24全ての地域においても行われていると思いますし、そうしたなかから次の時代を切り開く何かが生まれてくると思っています。私は立場上大変多くの皆さんと懇談する機会がありますし町内の情報が集まりやすい。そうした私から申しますと確実に与謝野町内の動きは活発になっていると思いますし、その先に困難や苦悩はあると思いますが次の世代に繋がる町づくりが実現できると信じています。財政見直しはそのまま何もしなければということが前提。おっしゃるようにならなければいけません。いろいろな意見を出してそれを吸い上げて行政が建設的な考え方に立っていきなすべしということが大前提です。当然産業振興等も産業振興会議を立ち上げて色んな識者の意見を反映しながら産業振興はどうするべきかを考えていく組織を持っています。行政改革委員会や様々な委員会でご意見をいただきながら町政に反映出来るものをしていこうとしています。一番大事なのは町政懇談会のように住民の方から直接意見をいただけることが大事。職員もそこを大事に思って施策を練り上げていくことが今から求められることだと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。
28	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	加悦	6/21	会場	3小学校、保育所、中学校の統廃合について今後は。中学校は立派な建物になり充実しているが10年後を見据えた展望は。	小学校の統合については、平成34年に町内一斉に統合するとすでに答申していますが、野田川地域の児童数の減少がスローになっており、一斉統合は難しい状況。1学級25人～30人、1学年2学級が望ましいとされており、加悦地域は平成31年位にそのくらいの人数のようです。与謝小は平成33年に1年生が4人の予想。桑飼は減少からやや増加に転じています。学習指導要領が変わっていくがその中で「皆と協議し考えを述べていくことが必要」とされ、少人数よりある程度の人数が要。男女の比もあり、話し合いのできた地域から統合を早い段階で進めていきたいです。今年から地域に説明に行きたいと考えています。中学校は8月頃にテニスコート、駐車場が完成。3校のあり方については現段階では議論にいたっていません。基本方針としては各地域に1つ認定子ども園を設置。多様な生き方を学ぶことが必要と思っています。平成32、33年に加悦地域の認定子ども園設置を議論しています。場所を提示後地元と協議していきたいです。野田川地域は子どもが減少してないので進展していませんが、実施年の議論を始めています。
29	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	6/21	会場	資料7、8ページ「新たな視点の産業・農業」が述べられているが、目新しいものがない。ホップとかはあるが、一世帯あたりの所得が府下から2番目という現実。このままではまずい。脱却するための手立て、発想がほしい。	その思いで進めています。見直しのあるホップ栽培を機軸とした産業。ビール、化粧品など農業から第六次産業へ、これまでにない取り組みです。織物、農業は昔からこの地域が育んできたもの。企業誘致も取り組んでおり、加悦に進出を決めた企業もあり雇用の創生も望めます。地域の皆さんの熱意が必要となりますので声を上げてほしいと思います。一世帯あたりの所得は長らく伊根、与謝野だったが近年上昇しつつあります。平成29年は税収が増収の見込みです。所得割り3.1%増。勤め人の所得が上がりつつあるが、十分な分析はできていません。商工会にも投げかけて分析していきます。
30	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦	6/21	会場	伝建地域に指定された街道では全て電線は地中化されている。なのにここは全て外に出ている。10年たっても何も変わらない。住民が悪いのか行政が悪いのか。外観ではなく道路や電線について古いままである。	11年前に伝建地域に指定されました。街道沿いの壁面とかそれに類するものは維持補修されてきています。予算面の工面ができなくて進められていませんが、加悦奥川の改修を始めています。2020年あたりから社会基盤の整備を進めていきたいです。平成24年「ちりめん街道マスタープラン」で住民・行政の各役割を指定し、発展途中です。
31	快適でやすらぎのある生活環境づくり	加悦	6/21	会場	サイクルロードの照明が暗い。2～3年前から話題にしているが進められていない。女の子だと不安なこともある。事件が起こってからでは遅いがどこまでソーラー化が進んでいるのか。	土木事務所とは協議しており、堂谷橋から加悦校までが第一期工事。野田川庁舎から北都信金までが平成28年度。北都信金から加悦高までが平成29年度。堂谷橋から石田方面へはそれが終わってからになり、加悦方面へ来るのが第三期工事ですが時期は言えません。加悦・野田川・岩滝のどの地域からも要望があるが進んでいません。6月のタンタンロングライドは北海道～福岡までの方、1,700人の参加がありました。山田知事の挨拶で丹後の自然環境を体験できるサイクリングロードの整備、自転車道を整備していくとしていますので、自転車道を活用した事業として整備を積極的に進言していきたいです。
32	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	6/21	会場	平成29年2月の町長の施政方針演説で「民間事業者主体で構成するオープンかつフラットな組織」とあるができていくのか。	資料7ページの「ブランド戦略会議」を平成29年7月を設立の時期にして進めています。(質問者から後で個別に話しましょうとの発言あり)
33	自然と安全を守るまちの基盤づくり	加悦	6/21	会場	①ごみの減量化40%はどこから出た数字か。 ②はじめから無理な数字。 ③数字の出し方がアバウト。目標の立て方がいいかげん。役員をして説明してほしいと言われてもアバウト過ぎて説明もできない。 ④強化月間をしたががんばっても達成できなかった。努力は必要。アイデアがあれば教えてほしい。キャッチボールが重要。	①ごみ処理費用の10%を負担してほしい。宮津市が一番高い。宮津市に焼却費用を払っている金額と同じにするのは40%減で同等になります。可燃ごみの50%は紙類ですので雑紙としてリサイクルすれば40%の減量は可能です。40%減量で値上げせずに済みます。 ②出されるごみの量はどこでも同じです。鹿児島県のおおさき町は13,000人の町ですが、85%の減量ができました。焼却施設が作れないので減量に力を入れられました。 ③役場からいくらでも説明に行きます。 ④雑紙としてリサイクルしてほしい。ごみは半分になる。生ごみは生ごみ処理機やコンポスター補助もしています。それが進んでいけば本当に少なくなります。今後もごみの減量化を推進していきます。
34	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	6/21	会場	ちりめん街道沿いの観光に協力をもらった。今後ちりめん街道・尾藤家・旧加悦庁舎の観光を	-
35	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	6/23	会場	ごみの有料化について、一枚あたりどのくらいの負担が増えるのか試算ができていくのか。	現在の案に基づく可燃の45ℓは10枚で380円、30ℓは10枚で250円、15ℓは20枚で200円、不燃の45ℓは10枚で380円、30ℓは10枚で250円の料金設定を考えています。現行が20枚で224円であるので、率にすると約3.4倍となります。これにより、ごみ処理に充てることができる金額が2,200万円程度町の収入となるため、それを新たに建設中のごみの焼却施設等のごみ処理の費用に充てていきたいと考えています。ごみの有料化はごみの減量化を行う手段の一つと考えています。全国的な市町村の動きを見たときに、ごみ袋の有料化に伴い約15%から20%のごみの減量化が計られているデータがあり、そういった背景に基づきごみの減量化をお願いし、それが豊かな自然を次に繋いでいく大きな役割を果たすことになると考えています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
36	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	6/23	会場	ごみの減量化について、6.4%減量化できた主な手段は何だったのか。	排出されるごみの種類を確認したところ、可燃物はごみの50%が雑紙でした。そのため、雑紙を紐で縛って資源ごみに出すことを住民に周知し協力を得た結果の数字となっています。
37	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	6/23	会場	シュレッダーで処理したごみや生ごみを減量化できる方法を今後検討してほしい。	シュレッダーで裁断したごみは、茶封筒に入れて出せば資源として回収ができます。生ごみの処理機についても補助があるので活用をお願いしています。
38	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	6/23	会場	資源ごみの回収後の動きを教えてください。	明石の施設で仕分けを行い、一定量になれば専門業者に売却をし、売却費は町の予算としています。
39	自然と安全を守るまちの基盤づくり	後野	6/23	会場	減量化の成果も数量だけでなく、売却費等の町の収入となる金額の成果も示せば町民も実感しやすいと思う。	金額で示せるかこの場で答えられないが、貴重な意見として参考にします。
40	協働で進めるまちづくり	後野	6/23	会場	①資料に現状の行政サービスを維持した場合、35年度には基金が枯渇するとあるが、町が考えている対策を教えてください。 ②ただ廃止をするということではなく、活用方法を考えていく必要があるように感じる。行政運営においても奇想天外なローカルな考え方も必要だと思うが、町長の見解を聞かせてほしい。	①公共施設の管理計画を作成しており、今後の公共施設のあり方について、不要物の廃止や売却の検討を行い、施設の数減らしていくことを考えています。また、行政サービスについてもスリム化を図るよう考えており、歳入の確保だけでなく歳出の抑制にも努めていきます。 ②職員の発想が乏しいというご指摘について、様々な考え方や感性をキャッチするよう私自身は努めていきたいです。一般職員については、京都府や国の機関への出向など人材の流動性を高めることを考えていきたいです。財政の歳入については、当地域の実情に見合うような財源が国や府にあるようなら積極的に取り入れることに加え、各施設を創意工夫し収益を上げていく姿勢も必要だと考えます。近年であれば、ふるさと納税で昨年度3,500万円程の収入があり、新たな財源として取り組む必要があると考えています。
41	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	後野	6/23	会場	道の駅が閉鎖され農産物の販売所になっているが、当地域において野菜だけでなく、丹後ちりめんを前面に出していく必要があると思う。ただ補助金を出すだけではなく売り方にもアイデアを出せば消費に繋がると思う。	道の駅の野菜の販売は魅力の発信が来ているように思います。丹後ちりめんは道の駅だけではなく地域の要所施設において、物販など様々な形で発信していく必要があると思います。丹後ちりめん創業300年に向けての大きな政策となるので、そういった取り組みを随所で実現をしていきたいと思っています。
42	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	後野	6/23	会場	宮津市と手を組んでもっと天橋立を活用することができないか。	天橋立の活用については、天橋立及び阿蘇海の環境美化のために宮津市、京都府と連携関係を強化している。その中でも阿蘇海の沿岸部の活用を推進していきたいと考えています。計画の一つを紹介すると、平成32年頃には岩滝棧橋を復活させようという計画があり、阿蘇海を通じた圏域一体の観光政策の推進を行いたいと考えています。
43	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	後野	6/23	会場	最近空き家が目立ってきて、他町の事例で空き家を賃貸として貸しており、空き家に長期間住み続けると入居者に譲る等の政策を実施している。当町も思い切った政策が必要だと思う。	空き家については、二年前の空き家の実態調査では585件の空き家があり61件の倒壊の恐れがある危険物件としています。日本家屋で地域の工法であったり素材で造られている家屋については地域の大切な資産だと考えています。しかし、活用できる段階まで議論が進んでいないので、今回の提案を受けて議論をしてみても良いと考えています。
44	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	後野	6/23	会場	与謝野ブランド戦略事業について、否定的な意見もあり全てが実現できるとは考えてないが、町長が辞める前に一つでも、成果が上げられた報告をしていただけたら良いかと期待をしている。	振り返るとこの三年間で私たちだけでなく多くの住民が挑戦をしてきたと感じており、住民に支えられながら行政運営を担うことができ幸せに感じています。限られた4年間の任期を悔い残すことがないように、精一杯やっていきたいと思っています。
45	協働で進めるまちづくり	後野	6/23	会場	後野公民館の修繕が必要になった時は、町が負担して修繕を実施してもらえるのか。	町の条例に定められた公民館に該当し、修繕や改修を実施する際には補助金等を活用してもらい、地元が三分の一、町が三分の二の負担割合で実施してもらうこととなります。
46	協働で進めるまちづくり	後野	6/23	会場	後野公民館の駐車場除雪の際に、フェンスが破損してしまったことについて教育委員会に聞いたところ、5万円以下は地元負担で修繕してほしいという回答だったが、破損した業者に責任はないのか。また、除雪による破損を懸念されるなら地元で除雪をしてほしい、という返事もされたが納得がいかなかった。	町が依頼して除雪をしているので、業者責任が働くように思うが当時の見解が分かりませんので、後日区長に返事をします。
373	協働で進めるまちづくり	与謝	6/26	会場	野鳥のまとめを配布していたが、とてもよいことでうれしく思った。歴史があるまちなので、野鳥のまとめのように、町の歴史として、どこにどんなものがあるのかなどもまとめて欲しい。	壁新聞「うちのまち」第4号で120種の野鳥を特集しました。多くの野鳥が飛来する要因としては、豊かな自然と自然に優しい農業を推進してきた成果。コウノトリは世界にパンダと同じくらいの2,000羽しか生息しておらず、「空飛ぶパンダ」と謳っている。ぜひご覧いただきたいです。歴史や文化、伝統芸能、伝統産業を発信していくことについては、議会を含め、いろいろなご意見をいただいているので、今後取り組みたいです。
374	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	与謝	6/26	会場	脳の救急医の確保をお願いしたい。脳梗塞やくも膜下出血で倒れた時、舞鶴まで搬送されるのでは遠いので、脳神経外科医を北部医療センターに確保してほしい。	あらゆる病気に対して迅速に対応ができる医療体制の確保が必要。医療センターとの意見交換を通して要望を伝えていきます。がんを一貫して治療できる2020年をめどにがんの新施設も完成する見込みと聞いています。
375	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	与謝	6/26	会場	①幼保の統合について、こども園の新設が平成33年というのはどの地域のこども園のことか。 ②関連して、小学校についてはどうなのか。	①加悦地域のこども園の設置目標を平成33年として検討しています。立地場所は現在内部で検討中であるが、いずれ皆さんにお伝えしたいと考えています。 ②平成23年に示した基本方針では平成34年に一斉に統合することとしていました。それぞれ、加悦小学校、市場小学校に既存校舎を活用した統合を考えていました。しかし、その後の児童数の推移をみていると地域差が出てきており、野田川地域では平成40年でもまだ収容が不可能と見込まれる一方、加悦地域だと平成31年度に収容が可能になる。子ども子育て会議からの答申として、可能などころから統合していくこととしました。そして、まず岩屋小学校を市場小学校に再編しました。当与謝地域では平成33年入学児童が4名であり、平成32～33年での統合が考えられます。子どもの人生を考えると、固定化した人間関係は人間形成によってもよくない。さまざまな友達とのコミュニケーションが必要です。今後、地域の皆さんに説明させていただき、皆さんの意見を伺いたいと考えています。小学校は地域コミュニティの核であり、避難所等になっていることも多いので、皆さんと一緒に議論していきたいです。 よりよい教育環境を目指して平成33年をめどに統合していくよう基本方針を平成28年に見直しています。国の指針としても基本的に1学年2学級以上が望ましいとされており、児童数の推移や児童の男女比率も考えながら検討していきます。適正な集団作りが重要と考えています。
376	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	与謝	6/26	会場	与謝野ブランド事業や自然循環農業等を推進されているが、荒廃している農地を活用するための補助金等は考えていないのか。荒れているので耕地整理をしないとイケない。	現状ではそのような制度はありません。農業は町の基幹産業であり、国土の保全という意味でも有意義なご提案であるので、農林課と確認をしていきたいです。
377	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	与謝	6/26	会場	双峰公園について、運営委員会もあるが、今はオートキャンプ場やバンガローが臨時職員の方で運営されている。今後どのようにしていったらよいのか。双峰まつりも補助金の関係もあって開催できなくなった。施設を通じて地域活性化ができればと思う。厳しい状況だとは思いますが、町としてはどのように考えているのか。	双峰公園を含め、公共施設の管理計画を策定しています。今後どうあるべきか、町内の全ての施設について調査して、統合、廃止、更新等、どれくらいの費用が掛かるのか、利用度などを調査して、今後どうしていくのか検討しようとしています。指定管理や運営委員会でも地域振興を含めて取り組んできた施設もあります。旧町から持ち寄った施設が数多くあるので、一定の方針を持ちながら地元と調整しながら、整理をしていく必要があると考えています。今後そういった動きが出てくるということでご理解いただければと思います。双峰公園に関する所感として申し上げますと、キャンプやグランピングといったアウトドアが今見直されてきています。自然を楽しんだり野外で食事を楽しんだりといったことに対する関心は若年層を中心に高まっていると思うので、活用の見直しは立て切れていないが、一定の需要はあるものと考えています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
378	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	与謝	6/26	会場	養蚕事業について、技術的には一度途切れていると思うが、どんなものになるのか。	桑の葉を活用した養蚕事業を考えています。旧加悦町時代では人工飼料による養蚕であったが、葉っぱによる養蚕を私たちは検討しています。養蚕で作られた生糸は必ずしも織物だけではなく、食品や化粧品としても展開することが考えられます。全国の事例を研究しながら事業の詳細について詰めていきたいです。近隣であれば、丹波市に現在でも養蚕を営む農家が存在しており、参考にしていきたいと思います。
47	協働で進めるまちづくり	金屋	6/27	会場	資料14ページの公共施設等総合管理計画策定事業の予算の内容は。	これは行政改革推進委員会の委員報酬として計上しています。
48	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	6/27	会場	滝の親水公園の管理について(東屋の屋根が傷んだまま)	公園内の草刈については地元の農業生産法人、構造物の管理については町であり適正に管理していく必要があります。今後、他の施設管理計画の例に倣い計画的な管理運営を実施していきます。建物(東屋)の管理については京都府管理となりますので、破損について京都府に連絡します。
49	自然と安全を守るまちの基盤づくり	金屋	6/27	会場	過去に筒先が盗まれたことがあったが、防犯ブザー設置のシールは予防的な措置で張られているのか。	シールについては答えられない → お見込みのとおりですが、最も効果的で重要な防犯対策は地域のみなさんのご協力であろうと考えております。不審者を目撃されましたら府警宮津署または防災安全課にご一報いただきますようお願いいたします。
50	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	金屋	6/27	会場	厳しい財政の中で、障害者福祉や高齢者福祉の充実についてはありがたいと思っている。京都市北区にある京都ライトハウスという視覚障害者施設が来年で創立70周年を迎え、その記念事業として森林公園内にある創立者の鳥居篤治郎氏(三河内出身)の記念碑を訪れる計画がある。視覚障害者の方が200から250名、手引きの方と合わせて全体で500人近い方が訪問することになると思われるので報告させていただく。福祉のスポット(鳥居篤治郎氏の記念碑や手通訳の事務所)を一つの観光資源と見立てて福祉関係者を全国から呼び込むということも情報の発信の仕方によっては可能ではないか。障害者や高齢者が安心して訪問できるようなバリアフリーの観光地として整備していけば、別の地域とは違った視点での観光資源の開発ができるのではないか。	京都ライトハウスの創立者は本町にゆかりのある方でもあるので、町として協力できる環境であれば考えていきたいです。視覚障害者や聴覚障害者の方がこの地域を安心して訪問できるようにすることは重要であると考えているので、様々な場面で提言を行ってまいります。京都ライトハウスの情報提供についてはありがたい。何か協力できる事があれば対応します。観光施設等の案内表示で障害者の方が判断しづらいものについて、各課で訂正を行っている最中であります。気付いた点があればご指摘いただき、より良いものにしていきたいと考えています。
51	自然と安全を守るまちの基盤づくり	金屋	6/27	会場	ごみの有料化について、どのくらいの上げ幅か。	試算ですが、例えば、燃えるごみの黄色い袋45020枚入りのもので224円が約3.4倍になり700円強ぐらいになります。府北部では与謝野町と伊根町だけがごみの有料化を実施していません。宮津市や京丹後市は随分以前から有料化していますが、横並びか低くなる見通しです。正式には8月臨時議会に提案する予定で4月から有料化となります。現行のものは使えなくなるので、3月時点で残った現行の袋と新しい袋を等価交換することや、幼児、高齢者の紙おむつ等、減量できない分については一定の配慮をすることも考えています。
52	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	金屋	6/27	会場	京都Xキャンプの参加者からお世話になったこの地域に恩返しをしたいと言っていた。5年、10年先にでも与謝野町に帰ってきて、この地域の役に立ちたいと言っていた。どうお考えか。	京都Xキャンプは中山間地域の振興、集落の維持が目的です。その問題意識の中、毎年多くの大学生がこの地域に入ってきて、住民と交流を深めていながら課題解決するための提案や実践をしていくという流れが6年間続いてきました。この事業は数値的な成果を求められないもので、例えばどれほどの移住者定住者、経済効果が生れてきたのか試算できません。だからこそこの事業は重要であると考えています。数値に還元できない恩、関係性、つながりを常に持っていることによって、いつかそれを地域に還元できるものと考えています。こうした事業こそ長期的な視野に立って行政的な支援を継続的に行う基盤を整えるべきであると考えます。財政的な基盤が安定的でないことから皆様に迷惑かけていたが、昨年度から滝地区において公民館の拠点を持つことができました。20年の計画である本事業をできる限り支援したい考えです。
53	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	6/27	会場	この前の冬の除雪は金屋だけかもしれないが、非常に遅かった。ひどい時には午後から夕方になってからになることもあった。状況として、緊急車両が坂道を上がれないとか、訪問介護の車両が目的地に行けない等の支障が出ていた。そもそも町道の除雪体制がとれていたのかどうか。このような状況はこの冬だけのことなのか、それとも今後も続くのか。業者の能力にバラつきがあるので、それに応じた計画作りをしていただきたい。業者の数が少なくなっているため、できない部分は区が業者のOBとか、冬に仕事がない方で重機を運転できる方へ、仕事作りという意味も含めて依頼していくということも検討していただきたい。	今頃から来シーズンの計画作成や重機等の確保に入っています。昨年度もしっかり計画を立て、業者の調整を行いシーズンを迎えました。今年のような予想外な雪の降り方となれば、住宅密集地とそうでない地域とでは除雪のスピードに差が出てきます。業者にも精一杯対応してもらったがなかなか追いつかない状況でした。体制としては例年通りしっかりとした体制を組んでいたが結果としてあのような状況となってしまった。金屋だけではなく、様々なところからお叱りを受けている状態でした。このことは教訓として今後には生かさなければならぬと思います。今後の状況としては、事業所の数が少なくなっているなか重機とオペレーターの確保が困難になっているということです。できる限り早い時期から重機とオペレーターを確保するために動いているが現状維持が精一杯の状況です。業者の能力によって計画を見直すという点については、オペレーターを育成するという観点からもバランスよく計画を立てる必要があります。一部の地域だけに集中させるわけにもいかないものでご理解いただきたいです。OBの力を借りることについては、一つの手段であると考えています。先進地の事例等を研究していきます。ただ、既に小さな路地等については町が機械をお貸しして地域の皆様に協力していただいています。
54	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	6/27	会場	区で要望している桜内橋について、(平成)29年度の回答は、橋梁長寿命化修繕計画に基づいて修繕を実施していくが、今年度は対応できないとの回答であった。この橋は非常に狭く離合が出来ない状況にあり区の要望としては修繕ではなく架け替えを希望している。	町として、既存の施設等は新しくするのではなく、長寿命化で対応していくこととしており、橋に関しては、耐震化も含めた修繕を計画的に行っていくこととしています。架け替えという事になると費用も多額になり財政的にも難しい。意見としてあったことは担当課に伝えます。桜内橋の架け替えは財政的に困難です。
55	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	6/27	会場	区では隣組長に依頼してカーブミラーを清掃しているが、この取り組みに対して町長名のお礼文書をお願いできないか。	大変ありがたいと思っています。こういった内容を他地区に広めていく努力はしなければならないと思っています。他の機会にこの活動を紹介させていただくことにより、お礼にかえさせていただきたいと思っています。
56	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	6/27	会場	壊れかけの空き家について、景観も悪く町としてはどのように考えているのか。	2年前に調査を実施した結果、町内の空き家は585戸、その内61戸が廃屋化していると思われます。その家屋、土地は所有者のものであるため町が安易に除却できないと考えています。このことは町のみならず全国各地に広がっていることから平成25年に空家の特措法が成立し、それに基づく適正管理について指導していく流れになっています。現在では、危険と判断される家屋の所有者に対し適正管理を行っていただくよう通知を送っています。
57	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	金屋	6/27	会場	小学校の統廃合また、その後のスクールバスについて	児童数の減少に伴い平成23年に作った基本方針では、平成34年度を目途に一斉統合するというものでした。しかし、民間の方々の集まりの会議に諮問したところ、合意ができた所から再編するという提言がありました。平成26年には岩屋小学校児童が市場小学校へ通学できるようにとの要望があり、平成28年に編入しました。加悦地域においては、平成31年度には加悦地域の全児童が加悦小学校の教室に収容可能となる見込みであり、平成32年から平成33年度ごろが、一つのタイミングではないかと考えます。通学については、小学校は4km以内(中学校は6km)、1時間以内が国が示しているおおよその目安です。現在、加悦奥の児童は自転車通学、岩屋の児童は徒歩通学であり、様々な状況を考えうえて、スクールバスを含め通学の方法を検討していきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
58	協働で進めるまちづくり	明石	6/28	会場	①固定資産の名寄帳について。他の市町村では可能と聞くが与謝野町では、納税者が所有者でない場合、その固定資産が名寄帳に載らない。相続の時などに見落としかねない。納税額0として載せることはできないだろうか。 ②実際に京都市内と与謝野町を往復しなければならなかったような例を聞いている。京都市などではできているらしい。問題が起きるまでに早急に対応してほしい。 ③職員が所有者に名寄帳に載っていない物件を教えたりはしないか。	①基本は所有者＝納税義務者。現状はシステム上できないのと思われるが、システム改修などで対応が可能と思われます。 ②システムは町村会を通じ、府内の8市町村が同じシステムとなっていますので、与謝野町だけがシステム変更を要望するだけでは、変更することはできないので、構成市町村が要望する必要があります。 ③所有者照会であれば確認し提示することは可能です。
59	自然と安全を守るまちの基盤づくり	明石	6/28	会場	違反対象物の公表制度について。平成32年度4月1日からスタートするが、与謝野町ではどこまで進んでいるか。	制度について確認します。 → 本制度は不特定多数の方が出入りする建築物に重大な消防法令違反がある建物について公表を行っていくものであり、その公表内容は地域によって異なります。当地域においては宮津与謝消防組合が実施・公表することとなっていますが、いずれも検討中の段階です。
60	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	明石	6/28	会場	認知症への対策について。丹後地域での65歳以上の認知症は60%以上になっている。町ではどのように考えているか。	積極的に進める必要があります。対応・方向性について議論する場はあるが、具体的な対策案はまだです。重要なので早期に確定したいです。
61	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	明石	6/28	会場	桑飼校区へ保育園をおくことはできないか。加悦に集中することになるのか。過疎化が心配である。	加悦の認定こども園について調整中です。説明できる段階になれば説明・相談させていただきます。
62	快適でやすらぎのある生活環境づくり	明石	6/28	会場	①地籍調査について。平成5年ごろスタートしたが、明石区はまだ終わっていない。進捗状況を教えてください。いつ完了するか。 ②現状、不平等が起きている。個人の持ち出しが必要な人もいる。その場合町で半分支出するなどの方法を取り、早く完了させてほしい。町内・地区内で差がありすぎる。町民を同じ条件にすべき。もっと予算を投入し、とにかく早く完了させてほしい。 ③地籍調査今後の予定について。職員数少ないのはわかる。費用がかかるが、コンサルに頼むなどの手法を吟味し、当たってほしい。 20～30年かかってできないというのは納得できない。もうすでに世代が変わっている。地籍調査という約束が守られていないので地域のひとが自分で業者に頼んでいる。予算をつけてやり遂げてほしい。	①香河区は完了しており、次に温江→明石となる。温江は一部完了し、あと半分という段階。明石は4分割して進めているが、1庄ヶ崎・嶋地区は国土地理院へ認証請求中です。今年度中に登記まで完了します。2棒賀・日産上地区・小学校から香河峠の入口までの地区については立ち合いが完了し現在閲覧という状況です。閲覧は2/3が終わり、あと1/3について今年度中(遅くとも来年度中)には完了させる予定。その後国土地理院で認証となるが認証は一年ほどかかります。3棒賀・日産上地区と大呂谷線から寺田線については昨年度、土地家屋調査士協会に依頼し過去の立会状況の確認を行いました。調査はある程度できているが手つかずの部分もあります。今年度以降現地立ち合いをお願いしていきます。4大代・棒賀・倉ヶ崎地区については、調査が終わっているが、未確定な箇所が多くあります。1～3までを完了させ、その後に取り掛かりたいです。ご迷惑おかけしていますが、再調査が必要なこともあり単費で行っているため5～6年はかかると考えています。 ②府からの指導もあるが、単費で実施しているため厳しい部分があります。財源確保には努力していますが、とにかく桑飼地区を完了させることが先決として努力しています。ご意見を真摯に受け止めたいと思います。 ③おっしゃるとおりの方法も可能。かつては補助金の対象になりました。現在は再調査のため補助金の対象になりません。職員の執行体制、専門業者への外部委託、予算とのからみ、どういった方法が最適か検討します。
63	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	明石	6/28	会場	シルクについて。桑飼地域は桑畑が多く養蚕農家も多い地域だった。当時の機音をもう一度復活させようという事業だと感じるが、この地域は当時の職業病(脚痛・腰痛)に苦しめられている。福祉事業にも注意して実施してほしい。老老介護の時代も近づいている。	この事業については、この地域が桑の木・養蚕との親和性の高いという地域的な特性があり、さらに、養蚕業については全国的に見直されている(熊本県山鹿貴地域、新潟県、富岡市の富岡製紙場など)ことが背景にあります。織物業からほかの産業分野への進出も考えていくことや養蚕と福祉の政策間の連携なども大きな視点となります。土地上の特性・全国的な流れを考慮し、養蚕業についても一度向き合うと判断しました。ただし短期的なものではなく、長期的な事業となります。桑の木・養蚕については教えを乞うこともあると思いますがご教授願いたいです。
64	快適でやすらぎのある生活環境づくり	明石	6/28	会場	庄ヶ崎の交差点で立木が倒れかかっており不安。道路管理パトロール等で早く何とかしてほしい。所有者に伝えるだけでは改善されないかもしれないが、町道管理という観点から何とかしてほしい。	現地確認したのち、区長へ返事します。 → 個人所有地の立木であったため、土地所有者にお願いし伐採していただきました。
65	協働で進めるまちづくり	明石	6/28	会場	区要望について。毎年度継続が続いている。何とかしてほしい。毎年度どんどん膨らんでいくことになる。	建設課への全要望470件のうち75件が実施できました。限られた予算の中で何とか対応できるよう努力したいと思います。要望書の提出の方法については検討します。できないものを要望しても仕方ないという意見が区長会で出たこともあります。要望の回答についても実施の可否をより明確にし、できない要望が繰り返されないよう工夫したいです。
363	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/3	会場	前回の油混入事故について、奥滝地域代表として業者に対しても明日は我が身という事で言いにくいことも言わせてもらった。地域の代表として地域の皆さんの意見を伝えようと思って言わせてもらった。いろいろかかった経費やら補償は業者の保険を使うんやろうけど、水道課もようけ経費かかったやろうし、そこらへんは今からちゃんと請求してもらったら思います。業者の方も町の水道課の方も一生懸命にやっていたおかげで、5日間短縮になった。それは感謝せなあかんことなんやけども、地域の女の人が一番たいへんな思いをしとんったと思う。炊事も洗濯も全部負担になっった。僕らは車があるので、お風呂も段取りしてもらえとったし、水も配ってもらえとったけど、実際は女の人は18%が運べん年寄の人もあるで、コックをひねったら水が出るタンクを置いてもらったりもしたけど、今後は防災のこととして、区も考えなあかんし、防災課があるんで、大地震があつたら、たぶん断水しますし、今タンクローリーが何台あるんか分かりませんが、区でも個人でも対策を「3日間分の水と食料を自分で保管しとけ」いうきばって報道もあるし、必要なんですが、何も無いときは準備もしとらんわけで、今回、奥滝では水の大切さがほんまに、どんだけ大変なんかいのが自分がかぶってみな分からん点だったかな思いました。歯磨くんにしても、水道ひねったらジャー出たときは何も思わなんだけど、ペットボトルから出してうがいするにしても、はじめは「しゃあないなあ」思えたけど、だんだん精神的に疲れて、えろおなったという人がけっこうあつた。行政も一生懸命してくれたんやけど、えろおなった人があつたということで、今後は断水したときに「こういう事したらええで」いうことを防災課もアドバイスしてほしい。いま、タンクは何台あるんかいということ、災害で断水の時には今みたいに各家庭まで配ってもらえんから、道端に各家庭分のタンク出しといたら水配ってもらう方法とか生活ができる対策をとってもらえるように考えてほしい。	本件につきましては、冒頭にもお伝えしましたが、私ども本当に住民の皆様方にご迷惑をおかけしたということで、心からお詫びを申し上げます。その上で、この間、私どももいたしましては現況復帰とその間の住民の皆様方の生活支援の2つを重点的に対応させていただきました。奥滝地域の皆様には給水制限の期間が2週間にも及んでしまったということで、身体的にも非常ににお疲れになられていたということで、私が各ご家庭にまわらせていただいた時にもお疲れになっている旨を訴えられた方もありました。今後は施工業者の方との意見交換も必要と考えておりますし、その後どのような対応ができるのかという事をご提示させていただくことと思っております。また、ご紹介いただきましたとおり、与謝野町上下水道課長以下職員もできる限りの対応をさせていただいたと思っています。本日は上下水道課長も来ておりますので、課長から近況と課長の思いを聞いていただければと思いますのでお願いします。 奥滝地区の皆様には2週間、実際には16日間の給水制限たいへんご迷惑をおかけしました。申し訳ありませんでした。各家庭への給水活動等の対応はさせていただいたのですが、現況復旧を優先的に考えてしまったために、各家庭の状況に応じた対応という面では、今回抜けていたと感じております。今回の被害、災害への対応を踏まえ、今後の災害への体制を見直す必要があると強く感じております。ご質問いただきました、給水タンクについてですが、今回の災害でも使いました大きなタンクが2立米(りゅうべい)なんです、あれが3台あります。それと、今回もってきました小さいタンク0.5立米なんです、あれが2台あります。今回の災害で持ってこさせていただいたのが、2立米タンクを1台と0.5立米タンクを2台を配置させていただいたという事です。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
364	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/3	会場	<p>先ほど、町長から29年度の予算のことで説明してもらいましたが、よう分からんのやけど、財政が厳しいいうことで、町長はじめ全課長さんでこの厳しい財政でもふんばってやってほしいと思います。水道のことあったけど、僕も奥滝に住んどって、83にもなってるんやけど、6月12日の夜夜10時半ごろ、僕は寝てしまとったんやけど、課長さんや役場のみんなに聞いてほしいな思うでこんなこと言うんやけど、夜10時半ごろにとりあえず「水道を使ってくれるな」いうてアナウンスが流れたんやけど、わしは寝ちゃとったで分からんと翌朝に目が覚めて、いつも5時までに朝飯くうで、さっと顔洗って、そのときはこの年やでか何も気がつかなくて、息子らが起きてきて「ちょっとおかしいで」いうでなるほどと思った。</p> <p>新聞とりに外でたら、5時前だったけど、砂後建設の社長が車で行ったもんで「ははあこれは何かあったな」とピンときたで、下の道まで下りたら、散水車がきとるで「どうなんだい」いうたら「これこれこうで、水飲まんといてくれ」ちゅうこと「ここまで水取りにきてくれ」ちゅうことやったで、取りにいかしてもらったりしとただけ。</p> <p>各課長さん方はこんな経験しられたこと無いやろうけど、わしも83なって初めてのことでやったけど、水のありがたみちゅうのが分かって、家に帰ったら何しとってままず水道のところで顔洗ってしとったのに、それができんかって、2週間いうとるけど、もっと長かったように感じとります。</p> <p>奥滝のものは本当に一苦労しました。各課長さんも気をつけてもらって、今後はこういう事が無いようにしてもらいたい。</p> <p>僕はひとり思うことかも知れんけど、うちとこで良かったで。こんなもん口滝で出とったらこんなもん、町政懇談会どころやないで。金屋まで出とったらこんなことしとる場合やなかったで。</p> <p>こんな簡単に終わつたらんかった思うで、格課長さん方もよう勉強してもらって、わしが一番思ったんは、説明会をしてほしかった。説明会、説明会いうて思とったけど、無かって、町に直接「説明会の段取りせい」いうてやと説明会になった。</p> <p>ほんまは新聞に出た時点ですぐに説明会してほしかった。「どういう状況で、どうなる」いうのを知りたかった。それに、わしは13日の朝から29日まで、毎日、朝晩通いました。「どんな状況だ」「どんな事しとる」いうんを見に行つた。業者の人も「工事のほうが大事だ」いう監督さんもおって、ごちゃごちゃあつたけど、副町長さんも毎日来てとってくれなつて、わしは毎日慰めてもらつたようなことなんやけど、いろいろと考えとったんやけど、なんとか今は今までどおりの水がよばれとるようなことで、ありがたいな思つとるところなんですけど、各課長さんがたも、自分がこういう目におうた思つて肝に銘じてやっついてほしいな思うんやけど、町内には何箇所浄水場があるやいうて聞いたら、14カ所あるいうことで、これからもどこで起こるか分からんので、これからは気をつけてもらって、今後はこういう事が無いようにお世話にしてほしいな思っています。</p> <p>なんとか29日からは普通の水をよばれとりまして、水道課長さんや副町長さんには色々と言いましたけど、いろいろとお世話になりましたことをお礼申し上げます。</p>	<p>本当に質問者さんにはこの間、発災以降、私たちに対し言いにくいことを率直なご意見を言っていたいただきましたことを心から感謝申し上げます。</p>
365	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/3	会場	<p>油混入事故の補償問題、これはなんかひとつ考えてもらわんと、ひでえ事がおこちまったんで、そこらへんをひとつ考えておくれ。</p> <p>うちのバアサンは、洗濯だってポンポンに積んではコインランドリーまで洗濯しに行つたんで、大きな洗濯機なんて使つたこともあれへんで、使い方も分かれへんし、人に教えてもらつちやあ洗濯した言うとつた。</p> <p>やっぱり苦労しとるでほんま・・・</p> <p>ほいで、若いころあは勤めとるでな。夜になつてからしかできへんわや。うちだつて夜になつてから洗濯でも連れていくわ。</p>	<p>施設も復旧しましたので、補償問題については、あまり時間をかけずに、早くやっていかないとダメだと思っています。本当にいろんなご意見を頂戴しておりますし、ご意見を考慮しながら、進めていきたいと思っています。</p> <p>お風呂にしても、コインランドリーにしても、移動してもらうことだけでもご苦労をおかけしておりましたし、この地域は24時間営業のところも少なく、夜遅くに帰つてこられてから行こうと思つても閉まっているというようなご意見もお聞かせいただいて、本当にご苦労をお掛けしたなと感じております。</p>
366	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/3	会場	<p>(油混入事故)お風呂は、リフレかやの里をお世話してもらつたで、ありがたかつたかなと思つています。</p>	<p>補償については、早急につめていく予定にしています。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
367	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	滝	7/3	会場	さきほど町長から説明のあったことの中で、資料の19ページにもあるように、町の収支が平成30年度から逆転する見込みとなっているが、どう考えているのか。情報の徹底した「透明化」とおっしゃられていたが、もっと町報等で紹介したほうが良いのではないか。うちの近所にもホップの栽培場があるが、ホップ栽培はどこを目指すつもりなのか。地ビールとして製品化するのか。米の代わり主要な作物として目指すのか知りたい。もうひとつ、桑の木を4,000本植えたことも、どこを目指すのか。どういう事業展開をしていくのかをお聞きしたいです。	最初の質問にありました、財政状況についてお答えします。18ページ19ページにありますような収支不足をどのように解消するのかということですが、お手元の資料は当初予算ベースの資料となっていて、収支の差が生じていますが、実際は年度末の決算にむけてはこの差ができるだけゼロに近づけるように組み立てながら運用してまいります。今後において収支不足の差がどんどん大きくなっていく事となっていますが、その一番大きな要因は合併後10年目からの5年間で交付税が縮減されることにあります。5億円程度の削減がなされるものと試算しております。これを含めましても、決算時にはゼロに近づけるように頑張っていきたいと思っておりますが、もっと大事なことは、合併後10年が経ちましたが、公共施設が旧町ごとにそれぞれ残ったままになっています。全国的にも言えることですが、残していくためには昭和30年代から40年代の設備投資と同じだけの再投資をしていかなければならなくなってきました。与謝野町におきましては合併後、施設の整理等ができておりませんので、今後は「施設総合管理計画」というものをつくりまして、加悦にも野田川にも岩滝にも類似施設があるというような場合に、町内で1つを残していくというような事で「この施設は残して、他の施設は更新時期がきたら廃止していこう」というような整理計画を今年度をかけて策定していこうと考えています。当然ですが、住民の皆さんには直接影響のあることですので、丁寧な説明が必要になってくると思いますが、このような方法で、施設の有効な活用とともに財源がかからない手立てを講じていくことも必要になってきます。また、すでに岩滝にできました、保育所と幼稚園を一つにした、認定こども園というものにしまして、ひとつに絞っていくことで、それぞれにかかっていたコストが縮減できることに繋がっていきますので、そういったことを一つ一つ積み上げていって、資料では、収支不足の絵になっていますが、そうならないように努力をしていく必要があると考えております。資料の収支不足は今までのサービスをそのまま継続していくことなるということですので、そうならないように調整・検討をしていっているということも合わせてご理解をいただきたいと思っております。与謝野町をできるだけ持続的に運営できるようにしていきたいという決意の中で、先ほど紹介しましたような事業に取り組んできましたし、進捗具合は少しずつ進んでいるのではないかと考えております。平成34年度の財政収支不足に陥らないように努力する必要がありますと思っております。質問者さんからホップと桑の木の栽培状況について、もっと詳しい情報を町報などを通じて提起していくべきであろうとご提言をいただきましたが、私といたしましても、同様の考え方であり、できる限り進捗を伝えていって、ご理解を深めていただき、参画しやすい機運作りを進めたいと思っておりますので、その辺りは工夫をしていきたいと思っております。ホップの取組について質問者さんから具体的なご質問をいただきましたので、私からお答えをしておこうと思っております。ホップは3年間の試験栽培において、その土地にあったホップを選定していこう、さらにはそれが、農業振興として継続しうるのかを調査するという経過の中から事業がスタートしています。ホップの栽培につきましては、うまくいけばお米の栽培よりも収入が得られるという可能性がありますので、そういった観点から農業振興につながっていくと考えております。その価値を最大限に引き伸ばしていくためには、町内における加工という事も大変重要だと思っておりますので、今後においては、民間資本によるビール工場の立地を目指していきたい思いがあります。農業振興という観点とそれを生かした6次産業化この2本を今後は両立させていきたいと考えております。
368	自然と安全を守るまちの基盤づくり	滝	7/3	会場	①奥滝の最終処分場はかなり大量のごみが搬入されているが、やりすぎではないか。大型ダンプで80台の持込になっているようだし、積荷にはカバーがかかっている中身の確認もしていないようだが。 ②トン袋に入れて搬入しているが、持込物の検査はできているのか ③なぜ奥滝の処分場だけに搬入するのか	①加悦奥の廃屋を略式代執行により撤去する工事中に火災が発生してしまっ事が発端です。廃屋内に放置されていた廃棄物に引火したことで、悪臭等により近隣の住民の生活に影響が出ているため、廃棄物の撤去が必要となった。加悦地域内での出来事だったため、加悦地域内の最終処分場に搬入できないかと区長さんにも相談し、ご了解を得て搬入を進めることとなりました。当初は140台の見込みでしたが、最終的には94台(10t車86台と4t車が8台)燃えていない木材は山陰丸和さんに12トン、鉄くずは神農さんに5t、廃タイヤ908本はブリヂストン等専門の引取業者に依頼しました。ブラウン管ガラスは三重県の処分場に45t搬出する予定です。奥滝の最終処分場には木材、廃プラスチック、ゴム類、ウレタン類に限って持ち込ませていただきました。分別については、現場で住民環境課職員立会いのもとで分別し、細かいものが飛散しないようトン土嚢に入れて運びました。奥滝の処分場では10tダンプでの計量ができないため、加悦奥の現場から搬出し、別の場所で計量した後、搬入しています。全部で163tの廃棄物搬入をさせていただきました。持込手数料については、代執行工事の請負業者から入れてもらう予定になっています。②加悦奥からの搬出時に確認している。自分も現場で立会いもしている。約束しているもの以外の変なものは持ち込んでいません。③地元の処分場に受入をお願いさせていただきました。区長さんも苦しい選択であったと思います。ご理解をお願いします。
369	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/3	会場	個人的なことなんです。ウチの家の前で道路が陥没しているところがあるので確認してほしい	町道であれば建設課が対応します。 → 確認に行きますので、場所をお知らせください。
370	協働で進めるまちづくり	滝	7/3	会場	①町全体としての方向性や、大きな金額の予算については説明いただいたところですが、それは専門家の人とかと議論されて決まったことだと思いますが、もっと、生活に密着した、将来に向けた何千万とかいう金額の予算でなくて、住民の今の生活に密着した予算はどこに計上されているのかなと思う。草刈をするにしても、その町の道の水路を直すにしても、なんでも予算がない予算がないと言われる。昔よくあった「現物支給」で、人夫は地元で作業もするという方法もできないのかと思う。将来も大切やけど、さし当たって、今、直したい場所に対応する予算がどうなっているのかお聞きしたい。 ②いま現在、与謝野町には機屋(はたや)は何軒ほどあるか教えてほしい	①資料の18ページの中下段にあります通り、今年度も普通建設事業予算として5億6,525万円という予算を計上させていただいております。主な事業内容は資料の通りとなりますが、この他にも各区からの要望事項としての事業も70数本の事業を計画しており、少しずつですが進めさせていただいております。この社会基盤整備にかかる予算というのは、国の予算も減少傾向にあり、それに伴い町の 予算もそういう状況にあるということでございます。各地区からの要望に対する進捗も非常に遅くなっている現状があり、私もふがいない気持ちであります。今後は進捗率を上げていけるように勤めたいと思っておりますので、皆さんからの要望に基づいて、国等にも要望したいと思っております。さきほど、区長からは「より現実的で即効性のある事業を」ということでしたが、その一方では未来をつくっていくことも大切なので、ご理解をいただきたいと思っております。ちなみに、現物支給のお話がありました。区のほうからそういう要望がありましたら対応するようにいたします。②ただいまご指摘をいただきました点について、私からお答えさせていただきます。特に地方創生事業においては、その事業を行った5年後にどんな効果があるのか、例えば資金面であるとか雇用であるとかが想定できるのかを算出しておこなっている。ただし、それを現実のものにしていくためには、努力が必要になりますし、毎年にわたる検証が必要であるということから、試算の見直しをしながら運用を行っています。②ご指摘のとおりだと思っております。現在行っている事業が未来に對しどういった効果をもたらすのかを、より正確に伝えることができれば、未来型事業の取組に関しても賛同であったり、共感をもっていただけることと思っておりますので、今後努力していきたいと思っております。
371	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	滝	7/3	会場	①未来型事業は、なんぼほどの予算を使って、その未来になんぼほどのお金が生まれるのか、考えておられるんでしょうか。 ②試算が出た段階で、これをするために予算はこれくらい必要で、将来的にこれくらいの利回りが見込めるというような事を、町民に知らせていくことが、事業をする上で大事だと思うが。	①ただいまご指摘をいただきました点について、私からお答えさせていただきます。特に地方創生事業においては、その事業を行った5年後にどんな効果があるのか、例えば資金面であるとか雇用であるとかが想定できるのかを算出しておこなっている。ただし、それを現実のものにしていくためには、努力が必要になりますし、毎年にわたる検証が必要であるということから、試算の見直しをしながら運用を行っています。②ご指摘のとおりだと思っております。現在行っている事業が未来に對しどういった効果をもたらすのかを、より正確に伝えることができれば、未来型事業の取組に関しても賛同であったり、共感をもっていただけることと思っておりますので、今後努力していきたいと思っております。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
372	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	滝	7/3	会場	商工観光課が2つに分かれたわけですが、企業誘致についてですが、人口減少に対する対策として、どこの地域も企業誘致をきばってしとられる。与謝野町にとっても働く場所がないことがネックだと思う。都会と同じようなサラリーマンの職場がないと200人から300人くらい雇える企業が必要やと思う。担当の課長や主幹の中に企業誘致を目標のようにしていないということが不安に思う。企業誘致についても徹底して取り組んでもらいたい。	ただいまご指摘をいただきました企業誘致に関する取組については、商工振興課が担当しております。加悦地内にも食品加工の企業が進出することが決まっていますが、その工場の稼働には設備の改良が必要で、当初の予定よりかなり遅れているという状況があり、残念に思っていますが、なんとか前に進められないかなと考えているところで。今回の食品加工工場の進出だけでなく、岩滝地域における織物工場の進出や、加悦地域における農業加工場の進出という話は年々増加傾向にあると思いますので、そういった一つ一つのチャンスを掴んでいこうにしたいと思っています。どのような規模の雇用になっても、この地域に合う企業との関係を築いていけるよう進めていきたいと思っています。
66	快適でやすらぎのある生活環境づくり	香河	7/7	会場	除雪の帰り道では除雪をされていないので、帰りにも除雪をお願いしたい。また町道の除雪時間帯が遅いので早くしてほしい。また公民館活動で除雪作業に従事した方に謝金を払えるようにしてほしい。	基本的には、行き・帰りとも除雪しているが、他地域に急ぐ場合など、帰りに除雪しない場合があります。除雪は計画的に行っているが、雪が多い場合、遅くなったり除雪してもすぐに雪が積もることもあります。後日、地区と担当者で協議し、できる対応はしていきたいです。公民館活動は地区の課題解決について学ぶことが基本となるので、ご理解いただきたいと思っております。町道以外ダメかと聞かれれば、ダメとしか言えません。
67	快適でやすらぎのある生活環境づくり	香河	7/7	会場	除雪機の貸与をいただいているが、町道以外に使用してはダメなのか。本当に必要なのは町道につながる私道だと思うが。	地元から、そのような意見があった事は伝えます。
68	快適でやすらぎのある生活環境づくり	香河	7/7	会場	香河にある第三セクター施設職員の通勤時の車のスピードが出ており危険なので、町から指導をいただきたい。	町が指定した場所ではなく、隣組防災会議の中で決まった場所ではないか。町からは隣組で話し合っ決めていただくようお願いしているが、中には組長さんが決めておられるケースもある。
69	自然と安全を守るまちの基盤づくり	香河	7/7	会場	町が指定した避難場所がガケ付近にあり危険だと思われる。どのような経緯で指定されたのか。	町が指定した場所ではなく、隣組防災会議の中で決まった場所ではないか。町からは隣組で話し合っ決めていただくようお願いしているが、中には組長さんが決めておられるケースもある。
70	協働で進めるまちづくり	香河	7/7	会場	事業説明の中で、横文字が多く、すぐに理解できない事があるため、分かりやすい広報に努めてほしい。	分かりやすい広報に、これからも努力していきます。
71	快適でやすらぎのある生活環境づくり	香河	7/7	会場	ひまわりバスは、高齢者の方が買い物にいく唯一の足として大変喜ばれているので、ぜひ継続いただきたい。	採算は取れていないが重要な事業だと思っているので、地域の方の声を聞き、よりよい事業にしていきたいと思っています。
72	協働で進めるまちづくり	香河	7/7	会場	役場から提出依頼のあった書類や境界確認事務などで不手際がある。事務の適正化に努めてほしい。	全職員に対し、事務の適正化について指導をしていきたいです。
73	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	石田	7/10	会場	全国的に少子化傾向にあるなか、少子化への対策はどのように考えているか。	地方創生の考えで少子化への歯止めをかけるため、町でも、まち・ひと・しごと創生総合戦略において、産業・教育・観光交流などを柱に、少子化対策の単独事業だけでなく、複合的に政策を考えていくことが必要と考えています。
74	協働で進めるまちづくり	石田	7/10	会場	建設事業等の各区要望について、多くの未実施事項が残っているが、今後実施されるのか。	建設関係のもので今年度着手事業は70数件で多くの要望には応えられていません。残りについては、状況と予算を勘案しながら実施していくが全てというわけにはいかない。国の公共工事も減額されてきており、限られた予算となっているので、国や関係機関への要望を引き続き継続します。住民生活の利便性にも関わっており申し訳なく思っています。
75	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石田	7/10	会場	石田地区公民館の運営は区だが、建物の管理は誰か。避難所にも指定されているが耐震にも不安があり、建て替えの段取りも考える必要があるのでは。	町内の公民館建物の名義は町又は地区になっているものがあるが、町名義のものでも名義のみ。建て替えについては区が主となって計画していただきたいです。時期や予算の面は町との相談となります。最近では加悦地域の明石地区、後野地区の公民館の建て替えがされています。管理面は、修繕に関して軽微なものは区、大規模なものは町との調整としており、光熱水費(ガス代以外)は町が負担しています。耐震の検査は出来ていないと思います。
76	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石田	7/10	会場	小学校の教室では、夏場は40度近くになる時期もあり、サンシェード等の設置など対策も行っているが、小学校の低学年児童には限界にきていると感じる。教室へのエアコンの設置をお願いしたい。	小中学校のエアコン設置、手洗いの水洗化は以前から要望を聞いています。エアコンは日常生活に支障をきたしており、できるだけ早い時期に設置したいと考えています。しかし、予算の関係もあり、予算時期には担当とも議論してきており、財源の見込みをたてながら少しずつ対応している状況です。早く設置したい気持ちはありますが、財源の問題もあり一度に設置できない状況ですが順次進めていきたいです。小学校では保健室にはエアコンが設置されており、中学校では今年度に橋立中学校の電源増強工事を行っていきます。
77	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石田	7/10	会場	高校魅力化事業における島根県の成功事例とは何か。	高校が地域に溶け込んでいくイメージです。地域とともにある高校。昨年、島根県に町職員を勉強にいかせており、加悦谷高校で何が出来るのかを模索したいです。加悦谷高校活性化推進会議の中で、教職員と町職員等でワーキングチームをつくり進めていきます。
78	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石田	7/10	会場	織物振興対策事業では後継者不足への対応を図るとされているが、事業実施により、その後継者不足の傾向解消は図られたか。	例えば、両親が織物業に従事し、次世代の方が継がれたというケースもあるが、全体的には少ない状況にあります。しかし、本事業には多くの申請があることは、織物業界としての意思の表れであると感じています。公費として事業を行っている以上は目的が達成されているか把握していく必要があります。
79	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石田	7/10	会場	後継者不足への対応や町の産業振興について、高校魅力化事業として子供達に伝える授業があっても良いのでは。一方、京丹後市の事業所で聞いたが、企業が人材募集しても人が来てくれない状況があるとの話も聞いている。	北部地域の有効求人倍率は高い状況にあり、特に、宮津と謝では1.5倍を超えている状況です。子供達や就職希望者など、この地域に仕事がないと思っておられる方も多く、就職希望者等への情報提供が必要だと考えます。また、平行して子供達にも、この地域の産業、文化等を知ってもらい、自発的に地域に就職するようになることが重要です。このようなことを学習する場として「特色ある学校づくり事業」を実施していくよう考えています。
80	自然と安全を守るまちの基盤づくり	石田	7/10	会場	町長就任後から3年が経過し、平成29年度は「種を蒔き、水をやり進めてきた事業が花開き、楽しみを生み出す年」と頂点の段階とされているが、これまでに描いてきたイメージ(目標)から、ここまでの達成度をどの程度感じておられるか。	平成26年度以降スローガンを掲げ、丁寧に進めてきたことに対し自己評価がどうであったかを問われていると思います。住民1人1人が多くの挑戦をし私共も伴走支援してきたが、そのすべてが花開くということにはならないかもしれません。平成29年度以降も行ってきた挑戦をもとに、その目標を掲げてまちづくりに取り組んでいきます。私がこの職となったのも住民が挑戦していこうという意思だったと思っています。この挑戦が町の希望になるところまでできればと思っています。
81	快適でやすらぎのある生活環境づくり	石田	7/10	会場	石田地区では自治消防組織が活動しているが、ヘルメット、カップ等は旧岩滝町のときのもので、新しいものも支給されない状況。新しい方に参加いただくにも自己負担で装備を購入しており、支援してもらえないか。	自治消防は重要なことであり、装備についても現状を確認し、町として何が出来るのか考えたいです。
82	快適でやすらぎのある生活環境づくり	石田	7/10	会場	防災関係の予算で、道路にテレビカメラを設置するとか外灯をLED化することは考えているか。	防災関係事業も予算化しているが、LED化も計画的に進めている状況です。防犯カメラについては、宮津警察署からの要望もあるが、町内全域とするなら地点や性能の検証もして、これを積み上げると膨大な予算が必要となるので、国、府に予算要望することになります。防犯カメラの設置が本当に良いのかを考えることも必要で、ソフト的な努力により本当の意味での安心安全な社会をつくることも重要だと思います。どうすることが良いのか時間をかけてでも考えていきたいです。
83	快適でやすらぎのある生活環境づくり	石田	7/10	会場	CATVの視聴率は把握されているのか。加入すればBS視聴も可能であり、このようなメリットもしっかり広報していくべき。	視聴率を把握する機器は設置していません。テレビが視聴できる加入軒数は、岩滝地域は約1,000軒強/2,370世帯、加悦地域では約2,100軒/2,700世帯、野田川地域では約2,500軒/4,000世帯です。
84	協働で進めるまちづくり	石田	7/10	会場	たまに自転車や徒歩通勤すると車通勤時には気が付かない阿蘇海やシーサイドパークの良さを感じられた。広報事業においてSNS活用の面では、ツイッター等でハッシュタグをつけて与謝野町を見てもほとんど情報がない。与謝野町の良さが情報発信されていないと感じる。	十分なSNS活用が出来ておらず情報発信もまだまだと感じています。今年度は広報事業を特に重視して担当課内でも体制を組んでいます。地方ならではの車での通勤者は多く、人と人との出会いも少なくなり風景等の楽しみに気付いていないこともあるため、スローモビリティの取り組みの提案は良いと思います。阿蘇ベイエリア活性化マスタープランでは「スローモビリティのまち」を掲げており、歩いたり他の交通手段等でそのような視点を楽しむことを実現するように取り組みます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
85	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石田	7/10	会場	与謝野みらい大学で学位はとれるのか。	学校法人の大学ではないため、学位は与えられません。
314	協働で進めるまちづくり	弓木	7/11	会場	交付金事業は何年間交付されるのか。また、交付金が打ち切られたあとは即事業も廃止ということか。	地方創生にかかる交付金事業は5年が交付期限です。また基本的には交付金が交付されている5年間で事業を自走させることが重要だと考えています、しかしすべての事業に関して自走の見通しが立っているわけではないのでどのような対応ができるのかを検討したいです。
315	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	会場	(説明写真使用)岩滝小学校の向かいのしろやま沿いの通学路の側面が崩れかけており、木がむき出しの状況。大雨や降雪の際に崩落しないか心配なので早急に対応してほしい。	建設課のほうでもう一度お話を聞かせていただいた上で、過去の経緯や土地の所有者等の情報を調査します。 → 歩道に被っている樹木については平成29年度で伐採しました。
316	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	会場	子どもの通学路にもなっている、アジサイ園へ上がる道路の途中で歩道がなくなっている。降雪時には非常に道幅が狭くなるので大変危険である。また途中石段があるがその手すりが破損している。大変危険であるので子どもの安全確保の対応をしてくれないか。	手すり的问题に関しては学校からの教育も受けており、建設課に対して現場確認を依頼しています。除雪に関しては、除雪計画に際して対応を模索します。通学路の安全に関しては、通学路安全連絡会議のほうでも危険箇所を調査し対応を検討したいです。除雪に関しては町の除雪計画に基づいて全地域で対応を行っています。通学路に関しては安全が最優先であるのでできるだけ丁寧に除雪するように要請します。
317	自然と安全を守るまちの基盤づくり	弓木	7/11	会場	野田川流域の立ち木が大きくなっており、洪水災害に備えるためにも伐採等を府のほうにも要請していただきたい。	ご指摘のとおり伐採は年に数度しか実施されていません。防災の観点から重要なご指摘なので、できる限り対応してもらえるよう働きかけます。
318	自然と安全を守るまちの基盤づくり	弓木	7/11	会場	地域ボランティアでゴミ拾いを行っているが、町のほうでゴミ袋支給等をしていただけないか。またボランティアに際しては、ゴミの分別を免除していただけないか。	与謝野町では、「ちょこボラ」として、ちょこっとボランティアのステーション(阿蘇シーサイドパーク、野田川庁舎、加悦庁舎)でゴミ袋を支給させていただきまます。また、ボランティアで清掃していただきましたら、与謝野町で処分を行いますので、分別はしなくても良いです。
319	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	弓木	7/11	会場	岩滝小学校へのエアコンの整備に関して、京都市内に比べると丹後地域は遅れている。子供たちが快適に学校生活を行っていけるようにエアコンの整備を進めてもらえないか。	小学校だけでなく中学校等の教育機関へのエアコン設置は計画的に進めていきたいです。エアコンに関しては、現在は橋立中学校への導入を進めています。加悦中学校への導入はすすんでいるので、公平性の観点からまずは中学校への導入を行い、その後小学校への導入を計画的に行っていきたいと考えています。いずれにしても与謝野町だけの予算では到底不可能であるので、国等へも要望をおこなっていきます。
320	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	会場	空き家の問題に関して、廃屋化して近隣に危険をもたらしている物件等の問題に関して、近年施行された空き家対策特措法を踏まえて町としてはどういった対応をしていくのか。	本町において空き家は585件あり、その中で71件が廃屋化をしているという調査結果があり、住民の安全確保の点から憂慮しています。地権者に対して改善要請を行い一定の効果はでています。空き家対策特措法では危険家屋に指定されれば行政代執行が可能となったが、執行費用を地権者から回収できなければ町が財政負担することになり、税の公平性の観点の問題もあるので慎重に対応していきたい。空き家が廃屋にならないためにも、空き家の活用事業等を活発化させていきたいです。
321	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	会場	町内のバスに関して弓木から乗り換えなしで宮津までいくことが現在不可能であり、改善していただけないか。	町内のバスにおいては収支が悪化しており、運行維持のためにご不便をおかけしますがご理解をいただきたいです。利便性向上のために200円一律運賃等を進めています、直行便は難しいです。
322	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	会場	岩滝地区の水道が最近(長いスパンで見ても)まずいとを感じる。何か理由はあるのか。	水道課に確認させてご説明します。 → 男山浄水場の水源及びろ過方法は変更しておりませんので、水道水に含まれる消毒のための塩素が原因と思われる。水道水は、法律により塩素消毒が義務付けられており、蛇口の残留塩素が0.1mg/ℓ以上検出されなければならないと定められています。塩素は水中の最近を殺す働きをしており、これがないと水道水が病原菌で汚染される恐れがあります。このため浄水場では、末端の給水栓でも残留塩素が0.1mg/ℓ以上検出されるように塩素を注入しています。一般に臭いに対する感覚は朝起床したときに一番強いと言われています。朝の使い始めだけ臭気を感じる場合は、感度が高くなっているためと思われるので心配ありません。浄水場に近い区域や給水地域によって、また、気候や体調などによりカルキ臭・塩素臭を強く感じる場合があります。対策として、水を冷やすことによって消毒の塩素臭は気にならなくなります。また、煮沸することにより、塩素臭は除去できますが、残留塩素は無くなってしまいますので早めにご使用ください。
86	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	7/13	会場	先日、認知症の方が行方不明になった旨の放送があったが、個人情報の取り扱いが厳しいので、災害があった場合、そういった方等の情報も無い中で対応できるのか。	確かに厳しいです。しかし、実態に合わせて国のしほりも緩くなり、民生児童委員には情報を伝えても良いこととなったところ。ご近所でも協力がお願いしたい。放送のあった方については、社協にお願いしており「きずなネットワーク」でも対応しているが、今後、更に力をいれていきたいです。
87	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	7/13	会場	国保診療所の利用者は、野田川の利用者が多いのか。	全町的に利用していただいているが野田川の方が多い。また、リハビリテーションがあるので、そういう患者さんも多く利用していただいています。
88	快適でやすらぎのある生活環境づくり	立町	7/13	会場	個人さん宅の木が伸びており、車で通行すると車にあたる。対応できないのか。	基本的に、処分については個人の責任になる。行政的にも指導を検討したいと思います。
89	快適でやすらぎのある生活環境づくり	立町	7/13	会場	立町団地から国道に出る際に草が邪魔でよく見えない。草の管理がお願いできないか。	国道であれば府になる。府に改善を働きかける。 → 京都府により、道路法面に防草シートを設置しました。
90	快適でやすらぎのある生活環境づくり	立町	7/13	会場	グリーンベルト(ゾーン30)が設置されたが、西光寺から小学校までの間は無い。設置できないか。	確認し区長さんに報告させていただく。 → 通学路も関係するので、岩滝小学校から町教育委員会の「通学路安全プログラム」事業にご要望いただきますようお願いいたします。
91	快適でやすらぎのある生活環境づくり	立町	7/13	会場	長寿公園のところに横断歩道を設置して欲しいと要望しているが、どうなっているか。	確認し区長さんに報告させていただく。 → 町から警察へ要望をするが、設置については警察の判断となります。
92	自然と安全を守るまちの基盤づくり	立町	7/13	会場	新しく建設されるゴミ処理施設の能力は。ゴミの有料化は。	平成31年の稼働を目途に建設しています。有料化については、平成30年4月1日を目処に3倍の料金になります。しかし、近隣の市町と比較すると、まだ安い方です。今までの安かったために3倍となっているだけです。雑紙等を分別し資源化できれば可燃ごみは減ります。
93	自然と安全を守るまちの基盤づくり	立町	7/13	会場	ゴミの減量化に励んでいるが、分別でわかりづらいものがある。例えば、「タッパ(密閉食器)」が「プラ」ではない等	確かに、タッパは一見「プラ」のようにみえますが、「プラ」のリサイクルマークがついていないものは、不燃ごみになります。リサイクルマークを確認していただけてから分別をお願いします。分別の判断に迷うごみについては、住民環境課から各戸配布しております、ごみ分別大辞典、ごみ分別支援イラスト及びごみ分別ダイジェスト版等のパンフレットでご確認いただき、ごみの分別をお願いします。
94	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	7/13	会場	長寿会の女性部に入っている。阿蘇シーサイドサロンのイベントに行くが、もっと色々な方が参加し、盛り上げれば良いと思う。	サロンの賑わいを感じています。世代を超えてさまざまな交流ができるよう期待しており、町としても環境を整える努力をしていきたいです。
95	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	立町	7/13	会場	母子センターの今後の活用について説明して欲しい。	産業の創出をするため、仕事を支援していく場としています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
96	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	7/13	会場	この町は、北部医療センターや開業医も多く地域医療としては恵まれた地域であるが、医師とおしの繋がりが無い。町が、診療所を開業するときにも地域の医師に相談は無かった。横の連携ができるように、そういう場を設定できないか。また国保診療所の医師確保・赤字を一般会計から補てんしているとのことだが経営はどうか。	平成28年度は赤字であったので訂正させていただく。しかし、医師の確保が困難であること、経営が厳しいことは言われるとおりです。また、会議体を設定できるように努力します。医師の体制も改善が必要です。
97	協働で進めるまちづくり	立町	7/13	会場	(収支不足額と基金残高)平成36年には基金が無くなるようだが、今後の財政見通しは。	「このままの状態運営したら」という前提で作成しています。また、普通建設事業も現在確定している事業費を見込んだものであり、これから大きな事業が出てくれば大きく変化します。このようにならないように運営していく必要があります。公共施設等の総合管理計画の策定と早期計画の実施に揚げているように、公共施設のスリム化が必要だと考えています。
98	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	浜町	7/14	会場	与謝野ブランド戦略事業について、過去2年間あわせて1億円弱の予算が計上されているが、どう使われて、どういった成果が出たのか見えてこない。	平成24年4月1日に施行された与謝野町中小企業振興基本条例では、地域循環型経済の確立、域外からの財の獲得を目的に、中小企業の取り組みを町全体で応援するという趣旨で制定されました。この条例を受け、平成25年度には産業振興に関する提言書を産業振興会議から受け、その中のひとつの柱として与謝野ブランド戦略の記載があり、これにより与謝野町の産業のさらなる価値を発信していこうというものでした。この流れを受け、平成26年度以降は与謝野ブランド戦略の立案、推進を行ってきたところです。平成26年度から28年度における事業については、特に個性、もてなし、安心・安全の3つの「見える」の柱によって編成しています。特に「もてなし」については、阿蘇ベイエリアの活性化に向けた取り組みを行ってきました。全ての事業について説明できないので、こうした流れにおいて事業を行っていることを理解していただければと思います。平成29年度についてもこれまでの流れに合わせた形で予算を編成していますが、その成果について見えずらい部分があるのはおっしゃるとおりなので、具体的な事業に関しての質問があれば、聞いていただきたいです。
99	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	浜町	7/14	会場	①7月1日にオープンした、産業創出交流センターの奥に行ってみると、奥の2つの倉庫は改修されないうまま倉庫(1つはセンターとして使うもの、もう1つは旧母子センターの残り)として使われているが、なぜ全てを改修しなかったのか。 また、センターは起業等を目的とした人が集まる場としての役割をもたせるには書籍が全くなく、置いておくべきではないか(ビジネスの書籍や、調理スペースがあることから、料理本等)。 センターは国府の補助金を用いて改修されているが、その後の運営について、現在設定されている利用料等は利用見込等を踏まえて歳入歳出を見積等をもって設定しているのか(ベイエリアの岩滝航路の再開についても、利用者見込や損益分岐等の分析ができていないのか)。 ②全国でこうした施設は図書館が運営していることが多い。本を置いて欲しいといったのも、センターに図書館機能を持たせたいから。野田川や加悦にも図書館はあるが、知遊館に比べると施設が充実していない。そこでセンターをビジネスに特化した資料を置くなどビジネスに特化した施設にしてほしい。	①阿蘇ベイエリア活性化マスタープランの10個のプロジェクトを通じて町の産業を発信していく中のひとつに公共施設の利活用、産業を促進するための交流の場が必要という観点から旧母子センターを改修しました。センターの整備は単体の事業ではなく、上位計画等に基づいた事業です。 2つの部屋が改築できなかったのは、予算の不足が原因。国の補助金の範囲内で抑える必要があったため。本の展示については、おっしゃるとおりで、内部ではそれについても議論を行ってきましたが実現に至っておらず、今後については食や起業に関する書籍の整備を行っていく必要があると考えています。センターについては、3か年の事業の見通しの中で、いかに収支のバランスを保てるかという試算は当然行っています。その収支のバランスを担保して行う事業でないと住民の方の理解は得られません。その観点で母子センターの改修も行ってきたとご理解いただきたい。そして、収支のバランスを含め施設の目的が果たされるよう努めていきたい。また、岩滝航路の復活についても地域の皆様からいただいた案件です。それを含んだマスタープランになっており、航路が復活での収支、経済効果について事業の一定の評価軸は設定していますが、それが甘い、見通しが正確にできないということもあるので、常にチェックしておかなければならないと思います。指摘いただいたように各事業で収支を気にしていかなければならないので、そうした観点を持ちながら事業を推進せねばならないと考えています。 ②センターの目的に沿った書籍というのは重要な観点になるので、整備ができるよう努力していきたいです。
100	協働で進めるまちづくり	浜町	7/14	会場	ふるさと納税の収入についてはどれくらいか。 人口が増えれば地方交付税も増えると思うので、人口増加は重要な要素であると思うが、他自治体では東日本大震災の被災者に呼びかけて住宅を提供するなどして人口を増やした地域もあると聞か、町ではそうした取り組みは行っているか。	ふるさと納税の金額について、昨年度は約3,500万円の寄付をいただきました。この寄付は大変ありがたく、今後においても歳入の確保という観点からも重要視していきたいです。 移住・定住政策について、東北からの被災者を受け入れるということは一時的にはあったものの、定着のための政策は行ってきませんでした。しかし、移住・定住政策としては、住民の方に協力をいただきながら、空き家の実態調査の実施及び空き家バンクの設置を行いました。また、移住希望者を地域に柔軟に受け入れていくためのよさのむすび人の委嘱など、移住・定住政策も一歩一歩進めているところです。今後についてもこれらの環境を充実させながら、一人でも町のことが好きになり移住・定住をしていただけるよう努めていきます。
101	協働で進めるまちづくり	浜町	7/14	会場	現状歳入に合わせて歳出も減り続けており町の施設の維持管理がどこまで可能か。 少子化が進む中で、学校の統廃合も必要になってくるかと思うが、現在の予定はいかがか。	町には197の公共施設があり、それが永久に維持管理し続けられるかと問われれば、不可能といわざるを得ません。今後については、公共施設の統廃合、再設置等を積極的に進め、公共施設の適正な管理をする必要があると考えています。平成27年度には野田川庁舎本庁舎の閉鎖や岩屋保育所の統合を行いました。28年度については、岩滝保育所・幼稚園を認定子ども園に統合したり岩滝コミュニティセンターを社会福祉法人へ貸与したりしており、こうした動きを一つ一つ積み上げないといけないし、加悦・野田川地域での認定子ども園の設立にあたっての施設の統合、小学校の統合を推進していきたいです。
102	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	浜町	7/14	会場	地域の観光アピールについて、最近では特にSNSによる情報が広がりやすく、大きな効果をあげているところがあるが、そういったSNSの活用は考えているか。	公式のtwitter、facebookにおいても情報発信に取り組んでいるところであるが、まだまだ出来るのではないかと考えており、担当が企画財政課なので、意気込みを紹介します。 現在twitter、facebook、instagramをやりかけているがSNSの力を十分に発揮できておらず町長にお叱りを受けているところです。今後は、例えば町民の方が与謝野町の応援団として情報をアップしていただけるような形など、あり方を検討したいと思っています。
103	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	浜町	7/14	会場	①ベイエリアの活用を検討されているが、それ以前に保全をしなければならない。特に大雨や台風の後には漂着ごみが非常に多く、その処理を浜町区のボランティア団体で行っているが、そのごみの最終処理をどのようにすればよいか。現在は、浜で集積はしているが、処理が出来ておらず困っている。 町が収集してくれるという話も聞か、一向になされない。ごみからは腐臭もするし、釣り人がごみをそこに重ねて置くといった悪循環も起きている。その対策についてどのようにしてもらえるか。 また、海岸の管理はどの機関がしているのか(おそらく京都府の出先機関だとは思いますが)。 (補足・区長) 漂着ごみについては、業務委託で年に2回行うことになっている。7月～2月の契約期間で2回では処理しきれない量のごみがある。その処理しきれないものについてどうするのかというところを伺いたい。 ②一度現場を見に来て欲しい。例えば葦は袋を破るなど、漂着ごみは袋に入らない。それをほうっておけという話ではなく、そういうものの処理をどうするのかということに困っている。 ③敷地内いくつか袋が置いてあり、それを片付けていただきたい。	①海岸は京都府の丹後土木事務所の管理です。漂着物の関係も京都府から補助金を受け、浜町区に依頼しているのが現状です。回数を増やすと前もって言ういただければ京都府と交渉して3回、4回と増やすことも可能と考えます。また、ちょこっとボランティアということで阿蘇シーの管理事務所受付けを済ませると袋を渡してもらい、そこに集めたごみを入れて管理棟へ持っていったら回収してもらえるということも行っています。また、不法投棄のパトロールも週に1、2回行っており、袋にさえ入っていれば回収を行います。ただ、袋に入っていないものについては積み込めないで、回収ができていません。 ②現在年2回区で行っていただいている際にトラックを手配いただき、町の処分場へ運んでもらったらありがたいです。 ③また、対応させていただきます。
104	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	7/14	会場	広域ごみ処理施設について、現状は。	宮津市須津と与謝野町石川の町境で造成工事が完了し、本体の工事に入ったところ。平成31年3月末の完成を目指していますが、地盤の関係で遅れており、完成時期については未定。31年3月末の完成、7月の引渡しで今のところ進めています。
105	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	7/14	会場	①本件について質問するため、環境組合のHPを見て、会議録を確認したら、工期が遅れているひとつの原因として昨年の降雨、大雪の影響での地盤の軟弱化とあり、別の日の会議録では、融雪により表層地盤の軟弱化が顕著となったと記載されており、そのために4,000万円の追加投入を行ったということか。 ②もし今年の雪が通常通りであれば、スムーズに工事が進んだということか。 ③議事録を見ていると、限られた方の質疑しか出ていないようで、この会議の前段で全体会議があり、そこで宮津市長が意見を出したとのことだったが、その記録はどこを探しても出てこなかった。そのような中で多額の予算が通っているが。 ④今後の工事の設計の変更が金額・工費にはねかえることがあるのか。	①追加の工事として4,000万円規模の地盤改良・地盤固めの工事を行い、完了しています。 ②そのとおりだと思います。造成工事が完了したときには地盤に問題はなかったが、降雨、降雪による地盤の軟弱化によりくい打ちのための機械の搬入・利用もままならなくなり、こうした対応となりました。 ③全体会議での議事録が出てこないということで不安を感じておられるかと思います。全員協議会や各市町の議会でも質問を受けており、一定の審議を受けた上での予算可決です。 ④今の時点で正確なことはわからないことが多々あるが、現地はくい打ちの工法を変え、順次工事を進めています。今後の組合とJVの話し合いもあり、現状ではなにも決まっていません。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
106	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	7/14	会場	新しいごみ処理施設はごみを燃やすものと、生ごみからメタンガスを発生させる処理施設があるというのを見たが、ごみが減量された場合、メタンガスを発生させる施設の活用は。	新施設についてはおっしゃる通りに2つの施設があります。メタンガスはごみの減量化で生ごみが全くなると、稼働できないが、そこまで減量化できるとすれば施設が要らなくなるかもわかりません。ただ、全く生ごみが出なくなるとも思えません。
107	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	7/14	会場	町の生ごみが著しく減った場合、他市町からのごみの受け入れは考えているか。	そこまでの減量が出来ればすばらしいと思います。
108	自然と安全を守るまちの基盤づくり	浜町	7/14	会場	ごみ処理施設の関係。HPを見られない人もいるので、情報提供をしてほしい。また、施設完成まで月1くらいで経過の写真をHPに掲載するようにしてほしい。	環境組合に意見があったことはお伝えします。
109	協働で進めるまちづくり	藪後	7/18	会場	藪後区には公営住宅が多くあり、その住民の方が区の中で大きな役割を果たしている。少しでも長い間住んで欲しいと思っているが、家賃について上限はあるのか。	世帯全員の収入で家賃は決定され、上限はある。国の制度で収入が上がれば、家賃も上がる仕組みになっています。
110	協働で進めるまちづくり	藪後	7/18	会場	KYTにおける祭りの放送について、岩滝地域を石田・弓木・連合区・男山の4つに分けて放送されているが、連合区には4区あり、1つの区として見ると他と比べ、かなり短い放送時間になってしまっている。他地域の区と同じくらいの時間を放送して欲しい。	ご意見として承る。スタッフの人数の関係で、連合区という枠は今のままになるかもしれませんが、放送の仕方や時間については一定配慮させていただきたいと思っております。今年度からの取り組みみとして、岩滝地域においてはビデオ同好会の方にもご協力いただき好評でした。取材体制についても変更がある中で、今後もそういったご意見をいただきたいと思っております。
111	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	藪後	7/18	会場	①シルクプロジェクト事業とは、どういったことをどこまでの範囲で狙っているのか。 ②端的に述べると、まだどうなるか分からないということか。産業化するとすると、面積を考えても難しいように思う。観光資源にするのであれば可能かと思うが。	①現在の進捗としては、桑園の整備を行いました。秋からは養蚕に着手する予定です。これにより生み出された糸を、織物や食品、医療などの様々な分野に応用ができるよう体制を整えてきました。今後については、シルクプロジェクト協議会の皆様が収益を考えながら、バランスのとれた体制に移行できるように町としては支援を行ってまいります。 具体的に、どういった製品を、どういった形で販売していくのか、という点については、現在協議会で議論していただいている最中ですので、現在ではこれ以上の答弁については難しいです。 ②ご指摘のとおりです。現在の桑園、養蚕、そこからの商品開発というだけでは、経済的な収支を含めて回していくというのは難しい認識です。しかしその中でも、観光という要素を入れ込んでいく、農福連携という視点を取り込んでいく、ということを考えて、実施できれば十分に可能性が広がっていくと考えています。 現在、日本各地において、養蚕について見直しがされている段階です。高齢者福祉の面で、養蚕をしていくことで経済的な収益を得られる、また認知症の予防となる、といわれています。そういった産業に特化した視点だけでなく、少し多面的に見ていくことで、この事業の重要性は広がっていくのではないかと認識しています。そういった観点を含んだ事業であるといえます。
112	協働で進めるまちづくり	藪後	7/18	会場	与謝野町の人口のながれはどうか。	平成27年の国勢調査においては、21,834人でした。平成22年と比較すると、5年間で1,620人の減少となっています。
113	協働で進めるまちづくり	藪後	7/18	会場	どんなことをするにしても、人が基本となる。人が減る中で、町長としては人口を増やしたいと思っているのか。	人口減少というのは、国家的課題であると位置づけられています。政府としても地方創生ということで人口減少に歯止めをかけるべく政策をうっています。与謝野町としては、人口減少は、地域に大きな影響を与えるので、出来る限り緩やかな減少、願わくば増加ということを達成していければと思っています。これらを実現していくためには教育・福祉・産業などの様々なバランスが整っていることが重要であり、そういうところから各種政策をおこなっているというのをご理解いただきたいです。 与謝野町の合計特殊出生率は、1.82と試算されています。3年前は1.71であったので、一人あたりの女性が出産する人数は与謝野町では微増傾向にあります。この数値がさらに上向きになっていくように努力をしていきたい。そのための施策は、全方位的に行っていくつもりです。
334	協働で進めるまちづくり	東町	7/19	会場	本日、資料でいただいている平成29年度当初予算の概要(特別版)の18ページに、財政調整基金の取り崩しによる財源調整のことが書かれており、平成18年度から平成27年度については財政調整基金の取り崩しがないとありますが、既に平成28年度について決算が打っていると思うので、その取り崩しの状況は。	当初予算を編成させていただき状況の中では、国の補助金や地方債などの見込める財源については見込んで予算作りを行っていますが、過大に見込んでしまうことは大変危険であるため過大には見込んでいません。当初予算では、その財源不足分を財政調整基金からの繰り入れで財源調整を行っています。 平成28年度について、4億7,900万円の財政調整基金の繰り入れを見込んでいましたが、既に決算はできており財政調整基金からの取り崩しはありませんでした。
335	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	東町	7/19	会場	クアハウス岩滝について、来年の3月で閉鎖されることが決まったようだけれども、宮津の方から閉鎖回避に向けての署名運動もなされていると聞く。今後、温泉活用等調査委員会での検討もされている中でクアハウス岩滝をどうするのかも含めて実際はどうか。	現在、温泉活用等調査委員会については、今後のクアハウス岩滝のあり方や温泉源の活用について、ご議論をいただいている最中であり、また、議会に対して5千名を超える方からクアハウス岩滝の存続に向けた請願がなされている状況でもあるので、来年の3月をもって閉鎖することはありません。 また、クアハウス岩滝については、地域の方から愛されている施設であり、大変多くの方のご利用をいただいているので、今後どのように存続できるかの視点に立って議論を進めていきたいと考えていますし、更には温泉活用等調査委員会での答申を兼ね合わせた判断を最終的には行いたいと考えています。
336	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	東町	7/19	会場	阿蘇ベイエリア内において、試験的にキャンプエリアを創設されているようですが、現在の公園は犬の散歩や小さい子供さんを連れられた親子連れも公園に来られている。バーベキューをされると下が汚れたりするので、区画が分かるような表示をした方が良いのでは。	阿蘇ベイエリアの活用方法の1つとして、試験的にバーベキューができるエリアを創設しています。場所としては阿蘇シーサイドパーク内の中央にあるトイレ付近で芝生が比較的薄くなっている箇所にマークがしてあり、申し込みにつきましては阿蘇シーサイドパーク管理棟へ申請いただければ無料で使っていただけるようになっています。
337	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	会場	長寿公園(立町公園)について、岩滝長寿会内で毎月持ち回りにより掃除をしている。岩滝長寿会のメンバーについては高齢化が進んでおり、東町地域の会員の60%以上が80歳以上になり、この先のことを考えると段々清掃が出来づらくなっているため清掃の放棄をしたいと思っている。また、このような取り組みをしているから新規で掃除する方が現れない状況でもある。出来れば、今までの成り行きや経緯はあるが、今からは車社会であり知遊館の南駐車場も遠いため、長寿公園を駐車場にすれば知遊館を利用される方も楽になり、公園の掃除も無くなる。2~3年先を考えた場合に、そのような活用を考えてもらえないだろうか。また、長寿会が清掃を止めた場合に、建設課に管理してもらうことになる。現在の長寿公園のゴミは1回の掃除に55袋出でおり最終処分場に持ち込んでいる。	公園の清掃についてお世話になっておりありがとうございます。 町内には児童公園や都市公園など70箇所を超える公園があります。現在、管理などについては、これまでの経過もあり、各団体や地域などにご協力をいただき管理をしていただいているところもございます。 公園によっては、利用者が少なくなっている現状ではありますが、本来、公園は住民の皆さんが相集い交流を深めていただく場所なので、そうした公園が1つでも多く残っていくことが好ましいと思っておりますが、当然地域事情もありますので、今までの経過なども下調べする中で、都市公園法などの法律により出来ない場合もあり得るため、しばらくお時間をいただき、本日は持ち帰りにさせていただきます。長寿公園(立町公園)は岩滝長寿会の要望によって完成した公園で、完成した時から岩滝長寿会に維持管理をお世話になっております。岩滝長寿会に意見を聞きまして、「今後も清掃を継続する」との回答をいただいております。
338	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	会場	野田川堤防防いにあります野田川ジョギングコースにはアジサイが植栽してあります。以前は管理されていたが高齢等の諸事情により今はどこも管理されていない。先般、土木に要望をあげ、アジサイ周辺の草刈りを早速に対応いただいたが雑になっているし、アジサイも当初の植栽から見れば半分程度になっている。また、夜間のLED照明についても点灯しておらず何の為に整備したのか分からない状況、東屋のベンチも壊れたままになっており、自転車道について水飲み場やトイレについて岩滝地域には無いので創設の要望も区から何度もしているが進展がない状況。その他、大内公園などについても遊具が3分の1に減少しており、全体的なことではあります。全般的にキチンとした施設管理をしてほしいと感じています。	植栽の管理や道路・河川の草刈りなど、町からは年1回しか出来ておらず、これまで地域の方や団体の方に自主的にご協力いただき管理できていたところも、高齢化などにより出来なくなっていることは理解をしています。 しかし、町の方も年1回が精一杯であり、増やす事ができない状況です。 また、LED灯などの施設についても修繕費が高額で、できていないのが実情です。 現在、京都府では自転車を通じた観光を市町村とともに打ち出したいとの思案があるようですので、この機会を契機に自転車道の改善整備が前進するよう京都府に要望していきたいと考えています。 公園については、大内公園に限らず遊具などが老朽化しており、財政的に更新が困難であるため危険なものから撤去しているのが実情です。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
339	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	東町	7/19	会場	<p>①今年3月に町長肝いりの町政10周年事業として伝統芸能祭が開催された。3月に実施されたという事で、役場内での機構改革などもありゴタゴタしていたみたいで、当日は町長の姿も余り見られなかったが、もう少し町政10周年締めくくりの事業であるので時期も考えてほしいし、商工会の出店事業者からも当日に人が来るのか成功するのかの不安の声もあり、事務局も当日までの準備も進まなかったように聞いている。私も祭りの方で参加していたが、実施するのなら町政10周年に相応しい時期を含めて、肝が入ったイベントにしてほしかったと思う。また、平成33年度について大名行列をする予定であるが、今回は町政5周年ということで大名行列が実施されたが、来年は平成30年になる。それから考えると来年くらいから実行委員会を立ち上げていかなないと間に合わないし、大名行列での基金の状態について教えていただきたい。</p> <p>②与謝野町PTA連絡協議会を毎年知遊館で実施されていますが、それと同じ日に岩滝ふれあいセンターを使用することがあり駐車場に停めようとしたところ、交通整理員の方に車を止められ南駐車場へ誘導された。一番近い駐車場については、校長先生が停めるスペースになっていたようだが、他の方は遠い駐車場に止めるように誘導されていたようで、例年そのような事をされているのか。例年、学校の先生方やPTA関係者の方が多く来られるのであれば、そのような誘導をせずに率先して遠い南駐車場を使ってもらわないといけないと思う。</p>	<p>①郷土芸能祭については、ご協力をいただきありがとうございました。8つの団体からの伝統芸能披露という事で、もう少し大々的にできればと感じていました。参加者の皆様には、非常に高い意識の中で披露いただき、観客としてご来場いただいた方にはお喜びをいただいたものと感じています。今後については、ご指摘いただいた点につきまして今後行う各種イベントや行事に活かしていく事が重要だと感じています。また、今回の郷土芸能祭の開催の趣旨は、与謝野町の一体感の醸成を主眼に置いていました。3町合併になると当然町内の他地域のお祭りやその背景など、中々知ることができないため、10周年という契機につなげていくことによって、一体感の醸成が図れるのではないかと考えの中で進めてきました。確かに3月開催という事で、天候の関係、更には寒暖の関係もあり、集客を心配したこともありましたが、1つのご指摘として活かしていくように努力をしなければならぬと感じています。大名行列については、前回行った大名行列が終わったのちに大名行列保存会との協議を持ちましたが、どれくらいの規模で行うのか方向性がでないという事でございました。前回は、京都にあります太秦映画村から馬などを借り、かなり多くの経費をかけて実施した経過がありますが、そういったレベルまでするのかどうか大名行列保存会と調整しながら相談していく必要があります。また、前回実施した以降、基金の積み立ては行っておらず、現在750万円程度そのまま推移しております。そろそろタイミング的に決める時期にきていると思います。</p> <p>②2点目のPTA連絡協議会については、例年、与謝地方PAT役員が一同に会して知遊館で開催されています。来賓として何人かは知遊館の前駐車場を使用しているかと思いますが、総勢は結構な人数になっていますので南駐車場も使用しているものかと思っておりますが、岩滝ふれあいセンターをご利用の方にも配慮しなければならない事も承知していますので、PTA事務局へ指摘しておきたいと思っております。</p>
340	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	会場	<p>本日、資料でいただいている平成29年度当初予算の概要(特別版)の14ページにあります「雨水貯留施設設置事業」の内容について、浸水被害のために雨水タンクを設置した方には町の方からは補助を出しますという内容であったが、私が住んでいる地域では、毎年少なくとも1回短期的豪雨により鉄砲水が出ており、区の会合でも改修の要望をしているが改善されず床上・床下の被害を被っている。区の要望について、役場からの回答は継続審議になったままになっているが、資料を見ると補助金を支給するような事が記載してあります。しかし、もう1つの目的では雨水の有効利用となっている。どちらを満たせば補助金の該当になるのか教えてほしいし、町の方がそのような方針であれば要望も出せないなと感じています。</p>	<p>この制度は100リッター以上のタンクを設けて、雨水を貯めて浸水被害防止を図る事業であります。主に都市部において実施されているもので、1つのタンクの要領が小さいので、たくさんの方が設置されないと効果が出ないと思われれます。今回の制度では、上下水道課が窓口となっております個人の方が購入されたものに対して、町と京都府から補助金を支給している制度です。</p>
341	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	会場	<p>去年、台風がきた際に海面上昇に関わる浸水によって、近所でも浸水被害が沢山でおり、また、山から流れる鉄砲水により被害が拡大しているのを防止のため改修していただきたい。</p>	<p>海面上昇における浸水被害や山からの鉄砲水について、都市部では浸水対策として何十メートルの高さがあるトンネルを設けて対策を行っていますが、与謝野町で行うには場所等もなくてできない状況であり、浸水対策につきまして、今のところ対策を模索している状況です。</p>
342	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	会場	<p>バスなどの公共交通について、1時間に1本ペースで運行されているが、高齢者など途中でトイレに行きたくなった場合、トイレが近くにあるのか分かりづらく行くのに迷うような状況。近くに公衆トイレが設置できないだろうか。近くにトイレがあれば、雨が降った場合に雨宿りとして利用できるし、車に乗れない高齢者など行き帰りに時間も掛かるため配慮してほしい。</p>	<p>特に岩滝地域につきましては、バス路線は丹海バスが走っているだけであります。基本的に観光トイレがあります岩滝体育館横や商工会岩滝支所の前、それ以外の大内公園などバス停留所付近にトイレがあり、特に岩滝地域は充実している状況です。しかし、その案内は十分に周知出来ていないと感じましたので、例えば時刻表などの冊子などにトイレの位置などの掲載を行うような工夫をできるよう参考にさせていただきます。</p>
343	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	東町	7/19	会場	<p>今月末にかえて園が竣工されるが、環境整備が非常に不十分であると思っております。今のかえて園の駐車場も雑草だらけであり、以前に園長さんにもお話ししたが予算化されていないので出来ないと言われていたので、先ずは予算化してからの話となると思う。今度引き渡される新園舎の横の土手も綺麗になってないし、藤棚も無茶苦茶なままであり、子供達が一番敏感なところの環境整備が出来ていないので早急に対応してほしい。2点目については、かえて園が移動したあと、今後児童館がどうなるのか。</p>	<p>かえて保育園の新園舎について6月末で引渡し済みで済み、時間経過により草も生えてきている現状ではありますが、外溝工事を発注する際、植栽などの発注が出来ていない部分もあり整備ができていない現状です。現在のかえて園につきまして、引越し作業などもあり作業が隅々まで行き届いておらずご心配やご迷惑をお掛けしていますが、順次、清掃や施設の整備も含めて現課に対応させます。児童館については、この間、岩滝地域の皆様に大変愛された施設であり、築年数が増えるにつれて老朽化が進んでいるように見受けられますが、建物としての風情というのは残っていると感じていますので、この建物を取り壊すことなく活用ができるかの観点にたちながら協議を進めていきたいと思っております。なお、その際には行政財産として固執はしない方法が良いのではないかと考えています。</p>
114	協働で進めるまちづくり	男山	7/24	会場	<p>町長は町民の熱意をどう受け止めているか。</p>	<p>町政方針については理解が進んでいると思うが、各区の意見は個別の対応が必要な内容であり、各地区の課題を解決するために何をしなければならぬかを考えていきます。</p>
115	協働で進めるまちづくり	男山	7/24	会場	<p>海岸道路の草取りを区で行ったが、管轄である府職員はそのことを承知していると思うが、お礼を言われたか。</p>	<p>今のところ、京都府からお礼の言葉があったとは聞いていませんが、区民の協力あつてのことだと建設課を通じて伝えます。</p>
116	協働で進めるまちづくり	男山	7/24	会場	<p>まちづくり人づくり補助金を防災備品購入のため追加申請したが、理由を明記せず不採択通知が届いた。理由を明記すべき。回答不要。</p>	-
117	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	男山	7/24	会場	<p>織物業のピークを過ぎた今、桑の造成をするとは。若い人が織物や農業をしていきたいと思います。儲かる方法をしていかなければならないのでは。</p>	<p>地場産業の担い手問題は大きな課題です。産地の魅力を伝えていこうとしている20、30代の人とも聞いています。毎年、新規就農者の確保をしているが充分でないで、丁寧な取り組みをしていこうと考えています。良い提案があればしてほしいと思っております。</p>
118	自然と安全を守るまちの基盤づくり	男山	7/24	会場	<p>男山にある最終処分場はもう収容がいっぱいになっているが、次はどこに行くのか。</p>	<p>処分場は1つずつ稼働しており、野田川の処分場は20年使用できる計算で、次は野田川を予定しています。石川・須津間の新施設ができれば、全てそこへ持って行くこととなります。そこで粉々にしたものを処分場へ持って行くことになるので、処分場の延命化につながります。</p>
119	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	7/24	会場	<p>①網野岩滝線の改良が進んでいない。 ②それくらいのことでできるわけではない。町長・区長が動くなど政治力を使わなければ。</p>	<p>①網野岩滝線について改良が進んでいないが、京丹後市と一緒に期成同盟会を立ち上げようとしているところであり、土木事務所と調整しています。 ②政治力を使うまでの調整をしている段階なのでご理解を。</p>
120	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	7/24	会場	<p>サイクリングロードの溝尻～北部医療センターの間の舗装が全部めくれており、パンクの可能性がある。視察して舗装してほしい。</p>	<p>京都府より今年度舗装予定の返事をもらっています。</p>
121	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	男山	7/24	会場	<p>認定こども園の10、20年後と子供の人口との関係をどう考えているか。</p>	<p>かえてこども園は180人の予定で建設したが、シミュレーションを見直し中であり、人数は減ってくると思います。</p>
122	協働で進めるまちづくり	男山	7/24	会場	<p>決算について、旧町単位で発表できないか。</p>	<p>旧町での決算は平成17年度が最後であり、予算を与謝野町で出しているため、決算も与謝野町でしか出せません。</p>
123	協働で進めるまちづくり	男山	7/24	会場	<p>町長は与謝野町の未来図としてテレワークを予定しているか。回答不要。</p>	-
124	自然と安全を守るまちの基盤づくり	男山	7/24	会場	<p>雨量計、温度計、積雪計はどこに設置してあるか。また、男山川の中の山手橋から男山橋の間に木があるので切してほしい。</p>	<p>雨量計は各庁舎、積雪計は岩屋峠、温度計は承知していません。水位計は堂谷橋、滝川に設置しています。男山川の流木については伐採予定との回答を受けています。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
125	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	男山	7/24	会場	養蚕について、どこに桑を植えたか、またどんな桑か。計画はいいが、未来像として後継がないようなものはだめ。	桑について、石川香河峠の石川大宮地域の町有地にハヤテサカリという品種のものを1万㎡植えました。今後、組織を作り雇用を生むような取り組みをしたいと思います。京丹後市と8月に話をする予定です。丹後ちりめん創業300年が2020年にくるので、京都府とも連携したいです。
126	自然と安全を守るまちの基盤づくり	男山	7/24	会場	男山処分場は車がパンクしそうなほど路面がひどい。指導してほしい。燃えるごみはほとんど埋め立てているが、もう少しきれいにならないか。	男山処分場の路面について、残土を搬入しているが、現地確認し指導します。処分場では月水金と焼却を再稼働しています。
344	自然と安全を守るまちの基盤づくり	岩屋	7/28	会場	新しいゴミ処理施設、ゴミの減量、分別について ・ゴミの減量について協力しているが、ゴミを減らすことは、買うものを減らすこと。経済的に考えてそう。環境省の指針はあるのか。 ・バイオマス発電についての問題点でできているがどうか。 ・バイオマス発電を取り入れることでより細かな分別が必要。 ・京丹後市において、市外で食物残さの調達のような話も聞く。	ゴミの排出量と地域経済について因果関係に気を配ったことはないです。今後知見を深めたいと思います。ゴミの減量は住民の意識の表れと受け止めています。阿蘇海清掃活動、多くのゴミが集まりました。山・川・海・地域一体となったゴミの減量、リサイクルに取り組みます。 バイオマス発電により処理施設内の電気が賅えるかもしれません。日本国内でもまだ普及していませんが、先進地である兵庫県では順調に稼働しており同じものを導入したい。 リサイクルが進むとゴミは減ります。今後の課題であると考えています。 (この後、「雑紙」と「新聞」の具体的な分別についてのやりとり)
345	快適でやすらぎのある生活環境づくり	岩屋	7/28	会場	道路敷設について。岩屋川線の工事が止まった。岩屋区民としては重要な道路。できない理由は？お金がないのか。やる気がないのか。いつ頃を目途に？町長にお尋ねしたい。	進めていきたいです。課題を丁寧に調整し一步一步進めているところです。調整事項が整えば完成時期についてお知らせできるかと思えます。鋭意努力します。
346	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	岩屋	7/28	会場	よさのブランド戦略に大きな予算が充てられている。アドバイザー田子氏への報酬は今年度も？多くの予算が個人(一事業体)に渡るのはいかがなものか。	合併以降、住民アンケートで行政に何を望むか尋ねたところ、「産業振興」「雇用の確保」が上位を占めました。平成24年中小企業基本条例、平成26年産業振興に関する提言書により、与謝野ブランドの流れを重視してきました。 アドバイザー事業について、田子氏(エムテド)には町の設計図、羅針盤を示していただき、一定の成果もあげており、平成29年度は契約していません。アドバイザー事業については今後、協議会で検討していきます。
347	自然と安全を守るまちの基盤づくり	岩屋	7/28	会場	①原発の核廃棄物について適切な範囲内。福井県の原発(高浜・大飯)について、当町は30キロ圏外であり有事の際、自分自身で身を守る判断が迫られる。そのための情報伝達マニュアルは万全か？ ②理解はできたが、質問には答えていただけていない。避難計画がないから、自分で身を守るため、危険を及ぼす当事者である関西電力からの情報を早期にきちんといただきたいと言った。情報により自身で判断します。当たり前の情報を。行政としての役割を果たしていただきたい。確認できたときは前町民に広報を	①前防災安全課長として、有事の際の連絡体制について。基本的なスタンスとして原発から30キロ圏外の当町は避難計画を作る必要がないとされています。山添町長のもと、独自の避難計画を作るべく京都府、関西広域連合と協力し、進めています。当町の避難計画のネックは、避難の受け入れ先がないこと。5キロ、30キロ圏内の場合、受け入れ先が示されているが範囲外の市町はない。時間はかかるが独自の避難計画を作っていく方針です。 ②原発に限らず、ミサイル発射情報等、有事の際には町長から正確な情報を町民に伝えます。有線放送等で直接語りかけていきます。
127	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石川	7/31	会場	桑(浪江谷)を植える前に連絡がなかった。次からはこのようなことがないようにお願いしたい。桑を植えてから丹後ちりめんになるまでのスケジュールを簡潔に説明してほしい。	昨年12月に6～7名の組長に説明し了解を得ました。丹工と商工会を中心にシルクプロジェクト協議会を立ち上げました。今冬の大雪の関係もあり、5月に桑を植えることとなりました(本来は春がベスト)。8月に京丹後市と意見交換・協議を予定しています。桑を植えてから蚕の餌になるまで、2年半かかり、繭から糸にするのにさらに時間がかかります。京丹後市との連携関係によって可能性が広がると考えている。 町内の空き家を活用し、町内の人を雇用してほしいと思います。
128	快適でやすらぎのある生活環境づくり	石川	7/31	会場	鞭谷川の改修の進捗について。	着々と進めていきます。 平成29年度でバイパス水路を鞭谷川に接続予定。次年度以降、鞭谷川本川上流部の改修に入る予定です。
129	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石川	7/31	会場	自身は織物業。現実的に考えて国産の生糸を使って丹後ちりめんを生産するのは無理。コストが合わない。今自身が使用しているブラジル産の方が断然良い。技術の継承等の問題もある。構造的な問題があり、変えるなら国の制度自体を変える大事である。 蚕の特性について。タンパク質の製造工場と言われるくらい。医療現場での活用が研究されているが夢のようなことだ。 色の付いた生糸が開発されているが、中まで色が染み込んでいるわけではなく、セリシンという物質によるもの。蛍光染料が入った糸ができれば、夢の世界が広がる。パリコレなど海外への進出でアピールできるならば、かなり大きな産業としてアピールできる。 今回の町の目指す方向は現実的に無理だ。京都工業繊維大学の市田教授がいるが、旧加悦町時代に来ていた方で、遺伝子組換え・人工飼料育の第一人者。産学官連携で大学に申し込んでいただければ、いつでも協力すると言っておられる。	シルク産業は、社会的にも関心が進んでいる分野。岐阜県、新潟県、鹿児島県、熊本県でも養蚕事業が進んできており、状況を注視しているところです。今後ともご指導ご鞭撻をお願いしたいです。 また、国産と外国産では価格に開きがあるのは事実で、どれだけ価値が付けられるか等、課題も多くあります。まずは着手できたことが一歩であり、今後取り組みを進めていきたいです。
130	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	石川	7/31	会場	資料10ページ、介護福祉士と限定しているのはなぜか。運営主体が利益を目的としている事業所が増える中、また、多様な職種がある中で、特定の介護分野のみに補助金を支出する必要性はあるのか。補助金要件に、運営主体の事業形態も入れるべきではないか。	町内では、福祉施設において特に介護福祉士の数が足りていない状況です。事業所として職員へ研修を進め、そこに補助金を出す仕組みとなっており、事業所が主体となり、一律に補助を打つ制度ではありません。様々な職種がある中で、今回要望があった介護福祉士に補助金を出す制度を設計しました。住民ニーズに応えるものであり、今後の高齢化社会のための受け皿作りにもなると考えています。
131	自然と安全を守るまちの基盤づくり	石川	7/31	会場	①野田川の河口付近の土砂等の堆積状況を危惧している。阿蘇海の干潮の際によく見える。近年の集中豪雨でもよく水が浸かたりしている。地球温暖化の影響で大きな被害になると思うがその対策はどうなっているのか。 ②区からだけでなく、町からも言ってほしい。途中で浚渫されても意味がない。高速道路建設の際に、橋脚が河川の真ん中に設置されたが、河口付近のことは考慮して建設したのか。 ③今一度確認をお願いしたい。大きな災害につながる可能性がある。温暖化による海面上昇や、台風による水害の影響がある。河川の管理を是非ともしっかりとお願いしたい。 ④以前から、浚渫の捨て場所があれば対応すると京都府は言っている。予算がないというのは嘘。	①京都府からは、堆積状況がひどい箇所は順次対応していくと聞いていますが、河口付近の話は聞いていません。 ②町からも府に確認し、働きかけます。橋脚については、法律に基づいているものであり、条件をクリアしていると認識しています。 ③近年の異常気象や想定外の異常事態は非常に危惧しています。地元からの要望は町からしっかりと京都府に伝えます。限られた予算で全てには対応できませんが、毎年要望を上げていくしか方法はありません。 ④初耳のため、過去の経過も踏まえて対応します。善処します。 ④捨て場所があれば残土の処分費が不要となり安価で実施できるので、現在の予算でも多くの箇所を実施できるということです。
132	協働で進めるまちづくり	石川	7/31	会場	①堂谷橋付近に土砂が溜まるようになったのは、高速道路の橋脚ができてから溜まったのが原因である。財政が逼迫していると先ほど説明を受けたが、最近滞納の話が聞かないので、滞納状況をお伺いしたい。 ②保育料等の状況はどうか。 ③額の大きさにびっくりしている。どういう状況なのか。	①平成22年度から町税及び国保税は京都地方税機構に徴収事務を移管しており滞納額は減少しています。平成28年度末の滞納繰越額の状況は、町税(住民税、固定税、軽自動車税)は7,128万円。国保税は9,744万円。 ②平成28年度決算見込みで説明すると、CATVで約85万円。保育料で約1,000万円。町営住宅で1,000万円以上。汲取手数料で20数万円。 ③過去の旧町時代からの積み上げであり、単年度だともっと少ない額になります。水道・CATVの場合、未納者については給水停止・停波します。水道で700万円。下水道で300万円。法に照らし合わせて、肅々と滞納整理を行っています。弁護士などの専門家の意見も聞き、町でも組織を立ち上げ、取り組みを強化しているところです。
133	協働で進めるまちづくり	石川	7/31	会場	資料18ページ。財調基金を取り崩して予算編成していると記載があるが、平成18～27年度は財調基金を取り崩していないとなっている。どういう意味か。	予算編成上、歳入欠陥を補うために、財調基金を取り崩して予算編成をしています。国府補助金等が確定後、補正予算で財調意基金を戻し、結果的に取り崩しなしとなっています。今後は厳しい状況であり、予算を許さない状況です。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
134	協働で進めるまちづくり	石川	7/31	会場	35年度には基金が枯渇とあるが、具体的な対策はあるのか。 …これを見ると与謝野町に住んでいるのが怖い。よろしく願いたい。	当初予算ベースで立てたものを財政見通しとして公表しているものです。これまでは結果的に繰入なしとなっているが、今後は繰入があると予想しています。地方交付税の段階的な減額が影響しています。合併から10年間は一定の保証があったが、11年目から5年をかけて交付税が減少していきます。この打開策として、15ページの行財政改革の一つである「公共施設等総合管理計画」に基づき公共施設等の適正化を実施していきます。旧町ごとに同じ施設が3つある。効率性の観点、耐用年数等を勘案して見直しをかけ、効率的に経費を削減していく。これが最大の策です。
135	協働で進めるまちづくり	石川	7/31	会場	①監査委員は誰か。 ②プロが監査をすべき。素人では駄目。プロの目からしっかりと見てもらうべきである。	①代表監査委員(学識経験者・任期4年)と議会から一人選出(2年ごと)しています。代表監査委員は行政経験者であるが、会計的な専門知識を持った方ではありません。 ②行政の会計制度は、現金主義です。企業の会計制度を取り入れていません。民間の良い部分を公会計制度として一部取り入れる流れとなってきています。大きな予算規模であるため、今後さらなる専門性が求められることとなります。意見としてしっかりと伺いし、今後に活かしていきます。
136	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石川	7/31	会場	①全国一斉テストは与謝野町も受けているのか。 ②結果は、先生のみ公表か、保護者へも公表しているのか。 ③全国比較でどのレベルなのか。	①町内の全小中学校で実施しています。 ②個人結果は個人へも返しています。 ③いずれも全国レベルと同程度です。改善方法を研究中であり、各学校で分析を行っています。中学校別でも取り組みを進めています。町・丹後教育局・京都府全体でも行っています。
137	快適でやすらぎのある生活環境づくり	石川	7/31	会場	亀山川は山から土が下りてくるが、これまで亀山で浚渫を行ったことがない。昭和の終わりに圃場整備をして土砂が流れて中地から苦情が出たため井堰を作った。平成2年まではスムーズに流れていた。亀山には何ら影響がなく、中地・下地に影響がある。これまで亀山は温情で泥上げをしている。浚渫費が農地水(亀山)から出ている。今後、誰が費用を負担するのか。町に要望を上げたが、一向に何も解決がない。是非とも協力支援の検討をしてほしい。	基本的には農業関係者で維持していただくものであるが、その後、バイパスができたりして段々と公共化してきています。井堰を無くすと中地・下地に土砂が流れ、拡散して浚渫しづらい。町としても検討する余地はあります。今春に建設課で浚渫した経過もある。町の考え方の表れだと認識いただきたいです。
138	自然と安全を守るまちの基盤づくり	石川	7/31	会場	①家庭用火災警報装置の設置率が他町と比較すると低い。防災安全課として、初期消火・初期避難の観点から非常に大切だと考える。力を入れて取り組んでほしい。 ②町の防災安全課でしたらどうか。 ③切り替えの時期なので、町としてPRも必要ではないか。	①平成24～28年度で消防署が全区を調査したが、全家庭は回れていません。与謝野町では、全地区70%を超えています。消防署で、目標を達成したとして、今のところ平成29年度には特に何も調査していません。 ②消防署と協議します。 ③検討します。
139	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	石川	7/31	会場	浪江谷の土砂崩れに要注意してほしい(農林課)。 桑園整備等の今後のスケジュールがわかったら情報提供をお願いする(商工振興課)。 新ごみ処理施設のDBO方式について、先進地での問題点の洗い出しが必要である。営利企業のため、利益を追求し住民の安心安全は二の次となるので、町がしっかりと主導権を持つべきである。施設をチェックする職員の養成も必要であり、環境組合と町が共同して職員の養成を行うべきである。業者の言いなりになってはいけない。チェック機能が重要である(住民環境課)。 国保診療所に介護保険認定の方が行けず、リハビリができない。何とかできないか(保健課長)。 リハビリを受けられるようになった方に連絡を入れてほしい。	法律上できないこととなりました。現在、国保診療所には常勤医がいない状態のため、法の適用はありません。法律上できないとなった方でも、今現在はリハビリができるようになっています。ただし、常勤医ができると、またリハビリを受けられなくなります。その場合は、民間施設のみでの受け入れとなります。
140	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石川	7/31	会場	道の駅を閉鎖するのに、関係者へ連絡をしっかりとすべきだった。新聞記事で知った方もあったと聞いている。	道の駅を閉鎖する際に、タンゴフロンティア株式会社に関係企業等へ連絡していなかったのは事実です。地元等からの要望もあり、6月から道の駅での農産物の販売のみ再開しています。今後も関係者と調整していきます。
141	協働で進めるまちづくり	石川	7/31	会場	平成18年の合併当時で、人口は約24,000人、職員数は約400人。現在、人口は約21,800人。職員数は約440人。人口は減っているが、職員数は増えている。職員が増えてサービスが良くなったと住民から聞いたことがない。 100人あたり1人の職員でも町民は納得すると思う。ボーナスが3,000万円浮く。行財政改革の取り組みはここまでしないと意味がない。 職員の数が全然減っていないため、収支バランスがずっと狂っている。この部分に手をつける以外に行財政改革の取り組みは進まない。町長の給与を15%カットしたところで大した意味はない。職員数を減らすことを根本的に考えていくことが必要。 平成29年度で、町税収入(約18億3,000万円)よりも正職員の人件費の方が大きい。異常事態だ。自主財源で人件費を賄える水準にすべきである。時間がないためもうやめる。	正職員数より臨時職員数が増えているのは社会的な問題です。合併後も変わらず行き届いたサービスを実施するためにはどの庁舎にも同じように職員が必要です。施設の統廃合も、財政論だけで行うべきものではありません。山添町政で取り組みみに拍車がかかってきています。こうなって初めて効果が生まれてくるものだと考えています。町の取り組みが遅いという意見はわかるが、引き続き取り組みを進めていきたいです。
142	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	幾地	8/1	会場	若者が都会に進出し、将来的に人口は減る。織物しか残らないけど、今のままでは厳しい。補助金をつけ、専門の大学で勉強をさせて若者を連れて帰ってこないといけない。	持続可能な町のためには、子供が自発的に生きるように、どう次の世代に伝えていくかが課題です。幅広い地形であり、町の特徴ととらえる必要があります。子供の数が減少しているのは事実だが、合計特殊出生率は上がっています。
143	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	幾地	8/1	会場	織物の発展がないのは、簡単に儲かりすぎたから。本当はもっと厳しく、奥の深いものであり、知恵と経験が必要である。	知恵を付けられるように頑張ります。
144	自然と安全を守るまちの基盤づくり	幾地	8/1	会場	今、堂谷の水路改修の工事をしている。予算の関係で厳しいとは思いますが、砂防堰堤の浚渫をお願いしたい。	不安定な気候で、いつ災害が起こるか分からないが、全ての地域で浚渫することは出来ません。各省庁で治山、治水にかかる費用は見直されていて、かしこい予算配分をと考えています。
145	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	幾地	8/1	会場	イノシシの駆除するには、人数が必要。百姓の高齢化もあり、運ぶのが大変。町から軽トラを支給してもらえないか。	若い人に免許を取ってもらえないことが課題です。町が持つ車は貸すことが出来ません。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
380	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	四辻	8/2	会場	<p>①町有地で桑の栽培をはじめられた。昨年はこのシルクプロジェクトに2, 200万円の予算があったが、どのような用途に使われ現在どういう状況になっているのか。</p> <p>②この質問は去年もさせていただいたが、去年の話では商工会と一緒に7月にプロジェクトチームを立ち上げ、研究機関を巻き込み、さなぎの活用や、食用分野などにもチャレンジしていきたいということだったが、山の中の荒地を開墾して今やっと桑を植えたという状況で、クリエイターに金だけ払って、畑の管理費用を支払って、それだけのことをして効果はどのようなものが出てくるのか。その見通しは。</p> <p>③とりあえず桑を植えてなんとかなるだろうという考えは、与謝野町を預かっておられる皆さんの言葉とは受け取れない。何千万円という町民の税金を使って、なんとかなるだろうということでは、町民は理解できないと思う。それなりの効果、活性化につながっているのならいいが、何もなしで、たまたまクリエイターが言ったからではないと…養蚕では素人のような人を雇い桑を栽培しているが、しっかりと管理栽培をするなら研究機関とのつながりは、丹後織物工業組合だけではなしにあるのか。</p> <p>④新たに研究の材料として取り上げられるか、こちらからのアピールが必要ではないか。繊維関係は長くいたが養蚕関係は厳しい。全国に600件しかなく年間に400キロほどの微々たる生産量。設備も何にもない町が、桑を作って養蚕をしようということは普通では考えられないこと。財政が逼迫し破たんするかもしれないなかで、何千万も金使うことは考えられない。先を見通し勇気ある撤退も視野に入れムダ金を使わないように。上下水道料金など公共料金の値上げをするなら余分なところで金を使わないようにしないと住民の理解が得られない。再度検討をしていただきたい。</p>	<p>①昨年度もシルクプロジェクトの予算組を行っています。しかし、事業を進めていく推進体制の構築に時間がかかりました。それにより本年1月にシルクプロジェクト協議会の発足が行われ、29年度以降の事業の流れについて精査を行っていただいた。主な事業は浪江谷の造成を行い4, 000本のハヤテサカリの購入、定植、管理に一定の予算配分を行いました。予算については全てを執行したわけではなく、事業の進捗よくに伴い残予算もありました。全体の与謝野ブランド事業としては5, 300万円ほどの事業費で、うちシルク関係が950万円くらい支出しています。これが浪江谷の桑園整備にあたります。荒地を造成し、苗を4, 000本植栽することとなっていたが、実際に植えたのは雪の関係などもあり今年度の5月となったため事業が少なくなりました。</p> <p>②この事業の見通しは、桑園、養蚕に着手することであり、販路開拓をしていくまでの製品づくりをしていく必要があると考えています。その製品というのは、織物に転用ができる生糸を仕立てていくということがあると思いますが、医療分野、食料分野そういったことにおける展開を模索していきます。商工会、丹後織物工業組合を主体とした協議会での議論をサポートしていきたいと考えています。まだ具体的にこうだというプロセスを進めるといことは固めきれていない状況です。</p> <p>③確かに現段階では研究段階というところであるかわかりません。しかし、全国的な事例では、桑から、養蚕からできる繭を使った産業化が商業レベルでも実践できるというデータを持っています。そのデータは、東京農業大学や筑波にある国立の研究所との連携を行っています。商品ができるまでの事例は持っているが、実際にできるかという体制の問題などをクリアしていかなければならないし、協議会の皆さんに尽力をいただく必要があると思っています。そういう段階です。研究所とのつながりは方々に持っています。</p> <p>④当初の財政計画と現在の事業主体の執行とは変わってきています。これは商工会や丹後織物工業組合、各種研究者の皆さんの指摘をいただきながら、最小の予算の中で最大の効果が得られるか、さらに持続的なものになるのかという検証を繰り返していると考えています。</p> <p>この事業が実を結ぶまでまだまだ時間がかかるのではないかと考えており、その時間軸の中で一年一年きっちりと事業を遂行していく必要があるのだろうと考えています。</p> <p>本町には織物にたいへん精通した方々がおられ、このプロジェクトについて疑義や提案をいただいていることは重要な財産となります。できるならば前向きな提案としてご指示、ご指南いただくことができれば幸いです。</p>
381	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	四辻	8/2	会場	<p>夏休みになったとはいえ36.7° という非常に暑い、日本で一番暑いという温度、気温を示したというわけですけども、こないだ、2か月か前ぐらいに新聞に載っていますと、小中学校の空調機の設置状況の一覧が京都府の中ででしたが、与謝野町はなんと6%くらいなんです、たしか、下から数えて、伊根町よりも一つ上ぐらいだったと思うんですけども、まあ、私たちの頃にはそんな冷房をつけてたりというようなことはとても贅沢な話であったわけではありませぬけれども、昨今の異常気象というところから鑑みると子供たちにそんな暑いところで非常に勉強もしづらい状況だろうと思っています。今度出来た加悦中学校では全部空調設備も完備してあるだろうと思っていますが、既存の小中学校に関して取り組み方と言いますか、一校当たりどれくらいの空調機をつけると一校当たりどれくらいの予算が必要なのかということをお聞かせ願いますし、町としての今後の取り組み方についてお聞かせ願えたらと思います。</p>	<p>只今ご指摘のとおり昨今のこの夏季における異常なほどの暑さというのは、子供たちにとって、特に低年齢の子供たちにとって大変な負担になっているというように考えています。まあ、そうしたことから小中学校における空調整備というのは一步一步進めていかなければならないということをお聞かしてきてきたわけなんです。しかしながら、先ほどからご指摘を頂きました通り小学校における空調設備については、中々進捗が無いということでもありまして、できる限りの努力をしたいと思っております。一方、中学校につきましては、加悦中学校においては、100%の設置率になっておりますし江陽中学校、橋立中学校におきましては、この9月の定例議会において予算の上程をさせていただきたいと考えており、来年度の夏には、快適な空調設備を備えていきたいと考えています。橋立中学校、江陽中学校の工事の総額ですけれども、おおよそ、5千万から6千万、一校に当たり、それくらいかかるということでございます。この事業につきましても国の支援を頂きたく思っており、その予定の見通しが立ったので9月の議会に上程をさせていただきたいと思っております。小学校については、まだ、見通しが立っていない、立てれないという状況でございます。</p>
382	協働で進めるまちづくり	四辻	8/2	会場	<p>①今日頂いた資料の中で一番最後のページなんですけれども、今後10年間の財政見直しということで表が載っておりますけど、平成34年度から今年度にかけて町の財政が赤字になっちゃうという話でいうような見通しがたつようなんですけど、この資料にもそういうような形で出ていますけれどもそれに対して町はどのような手をつつもりののか、その辺をお聞かせ頂ければありがたいかなと思います。</p> <p>②そうであればですね、宮津市なんか、平成18年から23年にかけて職員さんの給与にある程度手を付けて、まあ、当然その公共施設の利用料やら水道料金の値上げなんかも含めてなんですけれども、その一番大きな部分はその給料に対してのなんなりで財源捻出をしたりしていることを聞いておられると思うんですけど、町としては、町長も当選された時から、そういうような話は、町長個人の部分ではよう言うたられたんですけど、あの、全てに対してそこら辺のコストカットですね、一番手を付けなくてはいけないのは、国家公務員を含めて公務員さんの給料がうかうかというように僕はおもってるんですけども、そこら辺についてのちょうどええ例もありますんで、宮津市のような、この辺に対して5年先を見据えて今からちょうどやっていくにはちょうどベストなタイミングでは無いかなとおもうんですけども、その辺はどうおもってもらえますか。</p> <p>③ホームページをみておりましたら、与謝野町の給与定員管理等についてという資料が出ていた。その中で1人当たりの人件費は、与謝野町500万？。これらが我々が頂いておる給料と20%30%ほどの乖離があると思うんですが、片や民間ではそれだけの賃金で生活をしていますし、それに対して公務員さんはそこまでいただけるというのは、民間の意識からしたらちょっとどうかという、国家公務員とのラスパイレース云々の話もありますけど、やはり、このように財政厳しい中では地元目に向けた形でこれもう10年も20年も前から私なんかの時にはいわしてもらったんですけど、そこら辺は民間とのラスパイレースでお話をさせていただいた方がいいんじゃないかなーとましてやそれに対して民間の意識も変わってきますし。今の500万という給料ですけど退職金手当は入ってないと思うんですよ。それやこれや合わしたら、年間2000時間就業されるとして、時給にしたら大体2500円～3000円の時給をもっておられますので、ここらへんを十分に地元の状態を見据えた感じで給料の見直しをお願いしたいなあと、それによって、宮津は5年間で単年度で12億ですか。5年間で60億を削減したというような経緯も聞いておりますので、そこらへん、町で参考になるのではないかなと思います。</p> <p>④結局はどこまで行っても交付税も結構いただいておられるとおもいますけど、やはり、29年度でも赤字の方になっていると思うんですけど基金を取り崩さなければ、そういう状態の中で、やはり、早く手を付けなければいけないということが僕らの実感なんです。一番手を付けやすいのは公務員さんの給料じゃないかな。まあ上を向いて話してもらっても国家公務員うたら東京の一流企業の給料がどうのこうのとこのでラスパイレースいうのもらっても、また、京都府ですか京都府ですか、そこらへんで云々という話も地元にはそぐわない。人事院がどうのこうの言うことでなしに逆に町として毅然とした態度で与謝野町はこうやるんだと、それくらいの気概があってもいいんじゃないかなと僕は思いますけど。</p> <p>⑤5年先に…何にもならない。考えてもらわないと。以上です。</p>	<p>①はい、私の方からお答えさせていただきます。今、19ページに収入不足と基金残高ということで、ようは今立てております財政見直しというものが収支不足がずっと続いていくと。その収支不足をどのように補っていくのかということで、当面は基金を充当しながら行くというのがこの絵でございます。で、そうすると当然35年には基金が枯渇して赤字に陥ると、じゃあ、どのようにしてかということなんですけれども、15ページにもあげておりますけれども公共施設等の管理計画の策定と早期計画の実施ということで、与謝野町も合併して11年経ってあるんですけども、まあ、どこの自治体でも多く抱えておる課題として、昭和の40年代、50年代に建設してきたすべての公共施設が老朽化を迎えておりましてちょうど建て替えの時期に来ておると、加えて三つの町が合併した町は、同じ似通った施設がそれぞれ旧町単位であります。それらをどのようにしていくかという中で公共施設の管理計画というものを作りまして、例えば、次期更新の時には廃止すると、当然、廃止するということになると利用者にとっては痛みが伴うことになるんですけども、そいいながらも、やはり、再投資ということができない施設もある。というようなことや、先ほど来小学校の施設整備の話も出ておりましたけれども、小学校や保育所なんかにつきましても、施設を統合していくことを考えております。で、これらによって、当然、施設の建設コストだけでなく、コストはいるんですけども、ランニングコスト、それと人件費等の抑制をしていかないと、今後はもうもたないということでそれをやっていくことと、何とか財政の立て直しを行っていききたいというのが最大の目標でございます。</p> <p>②ご意見はもっともというふうに思っております。で、その人件費の抑制につきましては色々な手法があると思っております。当然、これまでも、与謝野町の職員にも給料の一定のカットを実施した経過もございます。ただ、もう一方では職員の数自体を減らしていくことによって人件費を抑えていく、ということで、退職者数と同じ数を採用するのではなくて、退職者数よりも少ない人数を採用するというふうなことも、この間やってきました、職員数の一定の削減というのはこれまでもこれからもやっていかなければならないというふうにおもっております。あの一おっしゃいますように、人件費の抑制につきましては色々な方向があると思っております。ご指摘のよう、とは言いますが、やはり職員給料というのは生活給にかかってくるので、中々、だからと言って一刀両断にはいかないということでございますので、その辺はおっしゃったようにことは参考にさせていただきますけれども、そこは、我々も念頭にはおいているということでございます。</p> <p>③ありがとうございます。宮津市の例は、たぶんその額は人件費だけではないと思うんですけども、確かに、人件費を一定カットされているとは聞いているんですけども、おっしゃいますように地域との乖離というのは、これはもう、今に始まったことではなくて、地域の経済がいい時には逆転ということもあったんですけども、これは我々も悲しいかな公務員という一定の法律に準じてやらなければならないという面もございますし、できるだけ地域経済に配慮したような人事院勧告というのは国のレベルの話ですので、それは今度京都府の中の話で、京都府内の実情に合った形でやるということがありますのでその辺を与謝野町独自で人事院を持っていませんので、京都府の例に従わざるを得ないということもあるんです。</p> <p>④質問者さんの持論ですのでお伺いさせていただきますけど、やはりこれは相手企業もそうなんですけれども、与謝野町内の事業所の社長さんでもできるだけ従業員さんにはというふうな思いで頑張っておられるというふうに思いますので、予算上のということで一定の基準を遵守しながらやるわけなので、ただ、その中で許される範囲で、財政状況に応じた取り組みというのは、これは我々もしていかなるを得ない。ということはお話していかないとけない。</p> <p>⑤非常に耳の痛いお話がありがとうございました。</p>
383	協働で進めるまちづくり	四辻	8/2	会場		<p>保育所、幼稚園の民間委託についてどう考えるかということですが、この間認定こども園の建設を3地域で行うということで、岩滝地域には実現ができた。今後、野田川、加悦地域で建設を行っていく。その中で民間事業者の皆さんの事業参加があるということであれば考える余地がある。一方重要なのは与謝野町においてどのような就学前保育教育が提供されるかということですし、内容の一致点が見つかればという条件付きとなるが私たちとしても考えていく必要があるのではないかと現在議論を行っているところです。補足ですが宮津市は民間委託されており、また、給食についても民間委託をされると発表があるところで、与謝野町はそういう点では民間委託は出遅れている。今後の大きな課題になります。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
384	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	四辻	8/2	会場	①青少年育成会です。阿蘇シーサイドパークですが、キャンプ場に使われるとうかがった。どのくらいの規模なのか。 ②今年も青少年育成会でキャンプを実施した。子供90人、親が60人規模となり、施設がなかなかない。できればあんなすばらしい海の見えるいい場所なので、青少年育成会の利用を皮切りにキャンプ施設を整備いただければ子どもたちも大変喜ぶと思います。ぜひモデル校としてやらせていただければ。	①昨年、阿蘇シーサイドパークの使用制限の一部緩和をしていくという取り組みを行ってきています。公園内の一つの区画においてキャンプができるという条件付きでの実施でしたが多くの利用があったというわけではありません。今年度については宿泊は可能ではないが日中のバーベキューなど、にぎわいの創出という観点から5月くらいから可能にしています。 現在の使用状況は現在持ち合わせていないので、改めてお伝えしたいと思います。そんなにも多くはないと思います。 ②私としても考え方は同様で、(さきほどの)民間委託という話もあったが、たとえば都市公園であったり地域での児童公園などにおいてもできる限り民間への開放ということを行いたい。このことにより、われわれでは発想できなかった楽しみを生み出すこともできると思っていますので、そうした取り組みを少しずつ進めていきたい。ご提案いただいた90名規模のキャンプを実施できないかということに関しましては前向きに考えていきたいと思っております。補足ですが、8月26日に海の京都クルージングフェスタが阿蘇シーサイドパークで実施されます。事業内容はキャンプに似通ったものもあり、このような取り組みも少しずつ進めていくということでございます。ご提案ありがとうございます。
385	協働で進めるまちづくり	四辻	8/2	会場	仕事から役場に行くことがよくある。役場は外よりも暑いときがあるのでもう少し温度を下げていただけたら職員さんもやる気が出るのでは。	職員が聞いたら喜ぶだろうなと思います。室温が28度に調整している。外から入ってこれたら暑い場合もあるかもしれませんが、少しでも財政への一助になればという思いや温暖化の影響もありできるだけ熱量を発しないようにとの考えです。
386	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	四辻	8/2	会場	①移住定住支援事業及び観光振興団体助成事業は具体的にどのようなことをするのか、どういうレベルまで持っていききたいのか。 ②観光に関して目玉となる取り組みは	①移住定住支援事業は実施することにより本町への人の流れを作っていくということです。これは定住そして交流という側面でも実現できれど思っている。この事業は二年ほど前からその基盤を整えて、空き家の調査を行い、空き家を利活用した移住定住に一定の道筋がついてきたということです。空き家の利活用や仕事の生業づくり、さらには、それらを支援する町内組織の立ち上げなど複合的な取り組みを組み合わせた中で、移住定住を希望される方が一人でも多く与謝野町に住まわいただくことができると思っているところ。昨年度に移住定住の人数はまたお知らせさせていただきます。 また、観光振興団体助成事業については昨年度から企画し、たいへん多くの予算編成を行ってきたところです。本年度も観光協会の体制強化で人件費などの支援もさせていただく。この取り組みの行きつく先は、本町の観光消費額をいかに引き上げることができるかということだと考えています。5市2町の誘客は増加傾向にあり概ね各宿泊施設についても15から30%の増加傾向にあるということです。ただ本町の宿泊機能は充実できていないということから、宿泊分の観光消費額が伸びきらず低調である。しかしながらここ近年は観光消費額、観光入込額双方が伸びてきているということですが、まだまだ十分ではないと思いますので、観光団体への助成を通じ観光消費額をどれほどまで引き上げることができるのかという部分に焦点を当てた取り組みを進めていきたいと思っております。 ②皆さん方と取り組みを進めてきた、ちりめん街道活性化があると思います。もう一つは阿蘇ベイエリアの活性化ということがあげられるのではないかと思います。特にちりめん街道につきましては日本遺産の認定であったりこの間積み上げてきた事業がようやく整いつつあるということでございます。そうしたことから特にターゲットイヤーとして設定している2020年におきましては旧加悦町役場庁舎の活用についても一定の道筋をつけていきたいと考えていますし、現在街道筋においても民間の参入の中で宿泊機能の提供ができるようにという動きがありました。確定的ではないですがビールの醸造所も作っていききたいというふうなお話もあります。こうした一つひとつをいかに積み上げていくかということではないかと思っています。総論として、ちりめん街道のさらなる活性化、さらには阿蘇シーサイドパーク、これは阿蘇海などを通じた観光プランの造成ということも重要ではないかと思っています。面的な取り組みとして2点を紹介しましたが、地域外のかたが楽しめるポイントは各地域にあるのではないかと考えています。それぞれの地域で観光事業に参入したいという方があるのであればできる限りの支援をしていきたいです。
387	協働で進めるまちづくり	四辻	8/2	会場	①土木の要望調書がまわってきた。毎年回ってくるので、毎年同じ要望をさせてもらっている。役場の人たちと地域の役員とで要望箇所の見回りをさせていただいており、毎年セレモニーのようにしているが、このようなやり方はそろそろやめたらどうかと申し上げている。10年20年30年と同じ要望が隣組から出ている。できないのであれば、この要望は町としてはできないとしっかり伝えていただいで、逆にどうしたらいいかを町から教えていただきたい。見回りなど無駄なことはやめるべき。しっかりとした形で次につながるよう調査の方法を考えていただければとおもつが。 ②今年も同じように要望箇所を見て回るのか。 ③それでは前に進まない。たとえば地区に500万円とかの予算配分し地域でイニシアティブをとって地元のことをよくわかっている人たちが修繕箇所を選定する(入札などの問題もあるが)など、ある程度自治会にもやらせてもらえるような方法をとらないと前に進まない。検討していただきたい。	①この点についてはそれぞれの地域で出ています。昨年度は地区要望として500件を超える要望をいただいでおり、単年度で達成できる事業はそのうちの2割程度になっているということで、多くの住民の皆さまには満足いただいでいない状況です。ご指摘の要望のスタイルであったり、返答のしかたについてもより詳細に説明をご提案をいただいでいますので、できる限りできないにしても提案型の返答ができるようにしていく必要があると思っております。 本日の午後、道路行政に関する意見交換会がありました。国の社会基盤整備に対する予算も近年増えている状況で、これからは予算額確保も地域と一体となって進めていく必要があるということも改めて認識したところです。このように国の予算を言い訳にするわけではないですが、できる限りの予算を配分させていただき対応できるようにしていきたいです。 ②新規の分も発生するので現場確認はさせていただきます。軽微なものについては来年要望をしてほしいと回答しますが、具体的にできないものはできないと言わせていただく回答となると思っております。 ③内部で検討をします。
303	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	8/4	会場	ビール工場の誘致の話があったが進捗しているのか。	3年間事業を進めていく中で、ビールを醸造してみたい、工場誘致についてなど数件の話がありました。現在、動いている案件が1件あり、先方の意向として、民間投資において与謝野町でビールの醸造所を作りたいとの話があり、正式な法人からの発表までではありませんが、私たちもそうした流れにしていきたいと考えており、一定の方向性が見えているということから、先ほどの発言につながったとご理解ください。
304	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	8/4	会場	工業(機械金属業)に関することがまったくないがどうか。	確かに京丹後市では織物をベースとした機械金属業として大きな発展を遂げています。本町におきましては、全体を考えると事業者が少ない。私も事業者の方と意見交換をする機会はあるが、どのような支援ができるのかということまで深く議論をしてこなかったという状況もあり、支援のベースは商工会による支援という形式に留まっています。町内事業者に対する支援策として、金融に対する利子補給等補助は実施しています。機械金属業の動きとしては、企業誘致では、加悦では日本電気化学、野田川では京都縫製の工場などがあります。京丹後市の赤坂工業団地は、まちづくりの中で、土地利用を展開してきた経過があったからこそ、今のこのような形があると考えています。当町としても、土地利用をどのように進めていくかという点を模索していきたいです。
305	快適でやすらぎのある生活環境づくり	上山田	8/4	会場	① 例年大雪で困っており、除雪の出勤時間が遅くなってきているように感じている。以前は7時ごろにはできていたが、現在では、府道は早い時間に綺麗に除雪できているが、町道は遅い。除雪の順序はあるのか。 ② 除雪に出勤する15センチの基準があるが、どこで図っているのか。業者が判断して出勤しているのか。 ③ 除雪の対応が遅い場合、町に早く対応してほしいと連絡してもよいのか。	①除雪の順序については、1次路線、2次路線と定めてあるが、実情は、除雪車が置いてある場所からスタートすることとなり、1次路線の除雪が遅くなる順序となる場合もあります。7時になっても除雪ができていない原因を業者に確認してみます。 ②出勤については、各庁舎で積雪量を回り15センチあれば4時ごろに判断し5時に各地域の除雪を指示しています。ただし、雪が降り続くと除雪をしてもまた積もっていることがあります。 ③遅い場合は電話をしてください。除雪機の場所の関係で遅くなる場合がありますので、必要があれば業者と調整し、除雪手順の変更を検討します。
306	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	8/4	会場	今後のクアハウスの活用方法について教えてください。	クアハウスについては、二十数年間、営業を行ってきており、近年では指定管理制度による管理運営を行っているが、施設の老朽化があり小さなものから大きなものまで対応を行わなければならない状況です。運営管理についても、収支のバランスから指定管理料が3,000万円程度必要な状況であることから、今後の施設の在り方について、役場内でも議論をしていきます。今年より、クアハウスや施設の基となる岩滝天橋立温泉源の利活用について、住民が参画する委員会でも検討している状況です。来週の8月10日には委員会から活用について答申がある予定となっております。私としては、答申の内容を尊重し最終的な判断を行っていきたくと思っています。また、健康増進施設として多くの方が活用されておられますので、収支のバランスだけでなく、健康増進という観点でも考慮し、利用されている方々の思いにもこたえていきたいと思っています。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
307	快適でやすらぎのある生活環境づくり	上山田	8/4	会場	毎年行っている地区要望に対して、なかなか良い回答がもらえていない。 ① 石川上山田線の道路陥没補修が行ってもらえていない。 ② 介護施設ひまわりの付近の町道の梅の木等の管理、野田川沿いのサツキの管理をお願いしたい。堤防の草刈りを実施する際、地元で対応したいと思う手が合わない。 ③ 上山田四辻線の路肩が崩れた際、コンクリート仕事で対応していただいたが、通学路になっていることもあるので、手摺も設置していただきたい。	町道の維持補修、区からの要望については、限られた予算の中での対応となっており、予算の配分等我々が頭を使っていかなければならない点であると考えています。今後も限られた予算の中での対応となりますが、できる限りご要望にお応えできるよう取り組みを進めていきたいと考えています。 また、国全体が公共工事への財政支出を抑えてきている傾向にあり、どうしても町も同じ対応を取らなければならない状況となっています。 町としても、京都府知事に対して毎年、予算の確保を行うため要望を行っていますので、事業化に向けて継続して要望活動を続けていきます。 ①石川上山田線につきましては、陥没など緊急を要するような状況の場合、陥没箇所等の補修等を行っていると思いますが、全体的な補修については、予算の関係で実施できていないのが実情です。 ②町道沿いの梅の木等については、過去には手入れをしていた経過があるようですので、現場状況も含めて確認し、区長へ回答させていただきます。 植樹帯に植えられている梅の木は、枝が伸び車道を侵していましたので平成29年度で剪定を行いました。 ③手摺の件については、現場を確認し、検討した結果を区長へ回答させていただきます。先ほど町長も申し上げましたが、財政状況が厳しく平成28年度の建設関係の要望430件の内、平成29年度予算化できたものが75件と非常に少ない状況であり、1区当りで平均3件程度しかお応えできていないので、どこの区でもご不満がある。今の町の財政状況では、現状での対応となりますので、ご迷惑をおかけしますが、少しずつ対応していくことについてご理解がいただきたい。→ 手摺について検討しましたが、現状でも問題無いと判断しました。なお、必要と思われる場合は区要望で上げてください。
308	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	8/4	会場	①先ほどの町長の説明で、織物の事業所が400件ほどあると言われたが、今でもあるのか。 ②上山田地区ではほとんど機織りの音を聞かないが実際はどうなのか。どこの地区が多いのか。休業状態も。	①5年ごとに織物実態調査を実施しており、直近に実施した平成27年度の調査結果で411件であり、前回の平成22年度の調査では550件程度でした。 ②地区別の件数や休業状態の件数について、手持ちの資料では回答できませんので、精査して回答させていただきます。
309	協働で進めるまちづくり	上山田	8/4	会場	町の税収でたばこ税が1億4,100万円あるが、禁煙などで税収が減ることについてどう思われるか。	たばこ税については、平成28年度の決算で1億3,800万円であり、近年、健康志向の方が増えたこともあり減少傾向にあります。確かに、1億を超えるたばこ税を考えると、財政的にはありがたい財源となっているが、例えば、たばこを吸っておられる方が健康を害して医療費が必要になるということを考えて、どうなのかと考える部分もあります。
310	協働で進めるまちづくり	上山田	8/4	会場	町民税を2カ月に1回払うことになっているが、毎月払う形にならないか。	合併後の平成19年度より事務の簡素化及び経費削減を図るために地方税法に整合させる形で町民税及び固定資産税は4期徴収としました。現段階で見直すことは考えておりませんのでご理解をお願いします。
311	自然と安全を守るまちの基盤づくり	上山田	8/4	会場	全国的に台風や短時間集中豪雨による被害が発生しているが、豪雨の際にどこの地域で、河川が氾濫する場所や山崩れが発生する場所を把握しておられると思いますが、与謝野町全体のことでよいので、どのような対策をおこなっておられるか教えてください。	土砂災害につきましては、広島で発生した土砂災害機に、当町でも、谷間、急傾斜地などの調査を実施し、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域と指定をしています。 当町では、土砂災害警戒区域が485カ所あり、上山田地区は土砂災害警戒区域が10カ所、その内特別警戒区域が7カ所あります。土砂災害警戒区域は、土砂が流出してきても、人体には影響がないという場所としてイエローゾーン、土砂災害特別区域は人体に影響がある場所としてレッドゾーンとして設定をしています。設定の際には地区を回り、周知をさせていただいており、各区にも図面を配布していますので確認をお願いしたいと思います。 河川や水路については、時間雨量50mm以上の降雨があると、おそらく、いたるところで水路が溢れ、河川も堤防すれすれまで水位が上がります。100mmのゲリラ豪雨となれば河川がする可能性もあります。 対応する体制については、警報がでたら、1号配備となり各庁舎総勢56名体制で警戒本部を設置して対応します。それ以上となると、対策本部を設置して全職員で対応することとなります。 本庁舎に本部を設置し、野田川・加悦庁舎には支部設置しますので、異常を感じられたら町に知らせしてほしいです。
312	自然と安全を守るまちの基盤づくり	上山田	8/4	会場	警報が出た時の宅内放送の音が大きいが何とかならないか。	危険を知らせるもので、大きな音で放送される設定になっているのでご理解をいただきたいです。
313	自然と安全を守るまちの基盤づくり	上山田	8/4	会場	ミサイルが打ち込まれたときの危機管理について教えてください。 また、町として何かしているのか教えてください。	北朝鮮がミサイル実験を実施していると報道されていますが、幸いにして領土には飛んできていない状況です。もし、丹後地域が飛来方向になって、落下する可能性又は通貨する可能性があれば、国からのJ-ALERT(全国瞬時警報システム)で、国民保護サイレンが鳴り、お知らせすることになります。 町として、何か対策をしているということはないが、J-ALERTのサイレンが鳴れば、課長級以上が情報収集を行い、全職員で対応することになっています。対応については、実際に被害が発生しないと、対応する方法や動員規模、京都府や自衛隊等との連携もどうなるかわかりません。 近くに原発もあり、危機管理というところでは、京都府も、国も含めて、後手後手であり、たとえJ-ALERTが鳴っても、ミサイルが到達しているかもしれないという話も聞こえてきているので、本当にどうしたらよいのだろうかというのが正直な現状です。町だけで対応することにはならない、京都府としていろいろな情報を集めますが、それが対策になるのかという部分については不十分かもしれません。 イスラエルの国の横には、パレスチナがあり紛争状況。イスラエルの国家防衛は、高度な技術による国土防衛がなされており、パレスチナから発射されたミサイルを迎撃できるシステムを開発されているとお聞きします。日本の防衛を考えた時に、憲法19条の自衛隊をどうするのかという議論もあるが、島国としての立地、北朝鮮や中国の現状を考えていくと、日本としても科学技術の発展を考えていかなければならないと思います。これは、国家レベルでの話であって、市町村がいかに何をすべきなのかという議論はまだまだ、熟度を保っていないと思うので、私たちとしても京都府や国としっかり連携し、万が一のときどのような体制で、どのような行動をとるべきか。訓練は少なくとも実施していく必要があると思います。一方、原発事故、地震、津波、風水害に対する危機管理体制を強化してきたものがあるので、これまでの経験の中で積み上げてきたものを住民の皆様と共有することが重要だと思うし、どうしても言っていないといけないのは住民の皆様生命、身体、財産を守っていくべき私たちが意図も簡単に被害にあってはならないことだと思います。自宅の崩壊を防いでいく耐震を自ら行うという意識や、そういった住民の皆様の方に「ならないといけない」と思っています。
323	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	三河内	8/8	会場	認定こども園のことについて、町長に伺いたい。 認定こども園は、合併前の10年前に岩滝・野田川・加悦に1園ずつ建設するという話があったから、岩滝にできるまで10年かかった。野田川・加悦については、今町長が平成34年度に計画を考えているとおっしゃったが、6月定例会の答弁では、法定積立金がこれまでは認定こども園には使えなかったが、これからは使えるようになったということだった。この16億円を認定こども園に活用する考えはあるか。	先ほど資料で説明したように、この間本町においては各地域において、3つの認定こども園を建設するというところで事業の推進が図られてきたと思っています。子ども子育て関係の計画では、野田川・加悦においても平成31年度には完成を目指すということがあったが、ご指摘のように事業の進捗がなかなか図れていませんでした。この背景には、小学校の統廃合のこともあり事業の進捗が遅れたことがあります。しかし、加悦地域は平成33年度、野田川地域は平成34年度に新園舎を建設していく方針を固めながら、現在事業の進捗を図っています。ご指摘の財源は、合併特例債、地域振興基金などを活用することも考えていますが、その時々で有利な財源があるので、できるだけそうした財源を活用しながら財政計画をきっちり立てていくことができればと思っています。
324	協働で進めるまちづくり	三河内	8/8	会場	法定積立金16億円の使い道は決まっているのか。 将来の与謝野町を担ってくれる子供たちなので、野田川・加悦の建設にスピード感を持って頑張っていたらいい。	おっしゃっている法定積立金というのは、おそらく地域振興基金という合併することにより10年間かけて積み立ててきた基金です。町の条例で使用目的が定められています。国のそもそもの考え方は、ハード事業ではなく地域振興のためのソフト事業というのがメイン。ところが、最近は全額ではないがいくらかはハードに使っている他の町の事例があるようです。議会の答弁はそういうことを申し上げたのだと思います。 認定こども園建設のための財政計画は大変重要であると考えています。合併特例債、基金など、有利な財源を組み合わせ一定の見通しを立て、先ほど申し上げた年限に実現できるよう努力をしていきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
325	協働で進めるまちづくり	三河内	8/8	会場	CATVセンターの対応について、資料を作ってきた。見ていただき、事実と認められるのであれば謝罪をしてほしい。 5月にメールの調子が悪くなったので、KYT(カスタマーセンター)に電話をした。電話で2時間以上いろいろと指示があった。この間なにもできず長かったので、電話を切らせてもらった。後日、再度電話したが何もしてくれなかった。町長のところに直談判に行くと翌日きてくれた。そこでされた対応が、全く使えないソフトを置いて帰られた。それで、これで最終ではないですよと確認したら、最終とのことだった。全然使っていないものを置いて帰られても困るので、民間事業者の技師に電話をし、当然有料で直してもらった。業者には2回来てもらったが、1回目、KYTのサーバーが原因ではないかと言われた。私はそのことをKYTに伝えた。しかし何も反応なかった。その後、またメールの調子がおかしくなったので、もう一度業者に来てもらった。結局、私のパソコンの不具合が原因ということがわかった。その都度、適切に迅速に対応されていればこれほどめなかつたと思う。その後、KYTから手紙が届いたが、日付け・差出人がなく、すぐにこの文書はおかしいですよと役場に電話した。CATVセンター長のほうに伝えるということで伝えていただいたが本日まで何もない状況。これが私が認識している事実なので、もしセンター長がこれを事実と認められるのであれば謝罪の一言があってもよいのでは。	この間、誠意ある対応ができていなかったということだと思います。質問者さんがそのようにお感じになられたということでしたら、私の監督責任も含めて謝罪をさせていただきたいと思います。 これまでの経過を担当者とも共有をさせていただき、不適切な部分があると私も考えたら、役場におまかせさせていただきたいと思います。
326	自然と安全を守るまちの基盤づくり	三河内	8/8	会場	私の家では以前のごみの説明会以後、雑がみについても分別をしている。生ごみについては、乾かして出しましょうと書いてあるが、私は生ごみを出す前に全部食べようと思った。冷蔵庫の中には賞味期限切れの食品もある。小中学校の給食がどれくらい残っているかわからないが、全て胃袋に入れてしまえば、ごみも減るのではないかと考えている。宮津にはホテル等もたくさんあるので、そこから出る生ごみも捨てずに食べてしまえばごみが減るのではないかと。 「ごみを減らしましょう」というキャンペーンは大事だが、「全部食べましょう」という広報をホームページなども活用し、されてみてはどうか。	重要な指摘だと思います。各家庭においてはできる限り冷蔵庫にある物は食べていこうと思っておられると思いますが、そうではないところもあるかもしれません。そうしたことを一つ一つ改善をしていくことによって、ごみの減量化だけでなく、ある種食育という観点でも子供達や家庭にも良い影響があるのではないかと思います。積極的に取り組めるよう、住民環境課、農林課とも協議していきます。 数年前から比べると給食の残菜は大変少なくなっています。各学校で取り組みを進めてもらっています。 食物アレルギーについても、除去の対応をしています。 給食センターでもいろいろと工夫しています。栄養教諭を小学校1名、中学校1名配置しており、よりよい給食のあり方を進めていきます。
327	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	三河内	8/8	会場	三河内には幼稚園があり、区長を先頭に何とか幼稚園を残してもらえないかと要望している。 先日、野田川地域には、0歳から就学前の子供が約300人いると聞いた。この300人の親御さんのニーズを捉えられているのか。認定こども園を否定するものではないが、特色ある教育(例えば保育時間が長い、英語・そろばん等に特化している)があれば、各地区に限定しなくても親が受けさせたいと思う教育があれば、少々遠くても送迎するのではないかと。 野田川地域で300人規模の認定こども園にしようと思うと、今の江陽中学校よりも大きい規模になるので、ある程度の敷地やグラウンドが必要になると思う。 必ずしも認定こども園に走るのではなく、教育の町与謝野ということで、小規模でも良いので、親が通わせたいと思うような特色のある教育の幼稚園、保育園を目指されてはどうか。	私もその点が重要だと思っています。就学前の保育・教育によって、生命の保持、情緒の安定を図っていくことは基本になるが、それぞれの園や保育所の環境、また先生のスタイルによっても特色ある就学前保育・教育が実践できる余地はあると思います。そして、そういう観点で先生達も取り組んでいただいていると思います。そうした各園、各保育所においてよりいっそう特色のある就学前保育・教育が可能なのかも含めて現在議論していただいているのではないかと考えています。現状については担当課長から答弁させていただきます。 就学前保育・教育というのは、子供の基盤を作る大切なものだと思いますので、その大切なものをきっちりと育てていけるように努力をしていく必要があると思います。 ニーズ調査については、平成26年度末に子ども子育て支援事業計画というのを策定しましたが、その前にニーズ調査を行いました。幅広い意見をいただいています。早期保育から延長についても夜遅くまで、土曜日の1日保育、祝日も預かってほしいなどいろいろな意見がありまし。今は10ヵ月から入れたいというニーズが多いです。町内の5施設で10ヵ月から対応しています。施設の改造を伴う関係から、1歳からが2施設という現状。さらには、園での特色、英語やコンピューターなどの意見もいただいています。 施設自体の老朽化、少子化が進む中で、就学前の保育・教育を考える上では、町内の施設を統廃合しながら、保護者の仕事の関係でどちらでもいい認定こども園化がいいだろうということで、計画に則って現在進めているところです。 財政的な基盤がゆらいでいく中で、これまでのように施設を造り続けていくことは難しいです。 例えば、認定こども園一園建てるのにも、これからは建物をより工夫して建てる必要があります。本町の施設建設にどのような手法を取り入れるかは今のところ申し上げることはできません。
328	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	三河内	8/8	会場	少子化により高校、中学校、小学校、幼稚園が廃校になる。新しい建物を建てる財源的余裕もないようだ。何かいい工夫がないだろうか。	全国的には既存の他の施設を改修して認定こども園にしたという例は少ないが前例はあります。耐用年数のこともあるが、不可能ではありません。財政計画最優先だろうと思います。
329	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	三河内	8/8	会場	新しい施設を造ることよりも、今ある施設を利用することができないか。改修して認定こども園にすることも考えられたのか。	
330	自然と安全を守るまちの基盤づくり	三河内	8/8	会場	ごみ袋の値上げについて、議会で否決されたと京都新聞に載っていた。有線テレビを観ていなかったため、町長から経過について説明をお願いしたい。	平成26年度に私が町長に就任して以降、自然環境を守り育てていくことの重要性を庁舎内で議論してきました。平成27年度は一定の方針を固めた上で、ごみの減量化に取り組んでいきたいということを各地域で説明会を行いました。その中で、一年間の減量期間を設け、その成果によって有料化の判断、価格も決めるべきと考え、平成28年度一年間を通じて可燃ごみの減量化が6.4%達成できたので、その成果を組み入れた形で料金改定の議案を議会上に上程しました。袋の値段が平均3.数倍になるということで、難しい議案になると思っていましたが、町政懇談会の中でも説明をさせていただき、一定の住民の皆さん方の理解は進んできたのではないかとこの感触を持っていました。 議会では、値上げの幅が高額である、有料化の前にもっと住民周知やできる限りの策を講じるべきであったと指摘があり、議員さんがそれぞれ判断された中で否決されました。 私としては、いい議論であったと思っています。私達が目指す自然環境の美化・継承は議会の皆さんも同様に考えておられるということなので、当面は減量化の取り組みを住民の皆さんと引き続き努力をしていくことが、私達に求められる部分でしょうし、さらなる住民理解の促進という意味での努力を重ねていく責務ができたと思います。今後もごみの減量化は重要な取り組みになると思うので、ご理解をいただきこれまで以上にごみの減量化を家庭で推進していただきたいと思います。
331	自然と安全を守るまちの基盤づくり	三河内	8/8	会場	①今日も避難情報が出たが、公民館には避難しないでくださいという所が、三河内と算所と上山田だった。その中で、土砂災害による風水害の避難所と地震の時の避難所両方ともだめなのはたぶん三河内公民館だけなのでは。 平成32年から建て替えの計画があったと思う。耐震を考えれば建て替えになると思うが、もう一つの風水害の崖の問題で、特別警戒区域の中でも鉄筋コンクリートで、その力に耐え得るのであれば、新しく建ててもよいというのがあると思う。それほど高い崖ではないので、2階は大丈夫だと思うが、1階は窓や出入口など弱い部分があるので補強が必要だと思うが、この建物が土砂に対してどれくらい耐え得るのか調べていただきたい。 ②私が読んだ情報とは違う。擁護壁が近くまであるが、ここはない。擁護壁さえしていただければよいと思う。	①レッドゾーンではおそらく建て替えは許可されません。イエローゾーンでは、崖の状況に応じて構造物をしっかりとすれば建てることは可能です。 ②与謝野町内に24の公民館があります。町有のものや地区所有のものがあります。野田川地域は全て町有の公民館。元々、地区の公民館は地域の皆さんがお金を出され、それに町が補助金を出して旧町時代に建てられたもの。町の名義にはなっているが、町としては地域からの預かりものという意識です。建て替えや修繕には地域の負担が伴います。平成32年の建て替えという話を地域から聞いていません。建て替えや修繕の際には、地域と町と一緒に協議していきたいです。
332	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	三河内	8/8	会場	(寺島区長から、今日出席できないので聞いてきてほしいと言われてきた。) 三河内幼稚園を市場保育所に統合したいという話を聞いたが、三河内区としてはできれば残してほしいということ区長のほうから長島課長に伝えてあるので、返事を聞かせてほしい。	三河幼稚園のあり方について、議論させていただいていました。その中で三河幼稚園を市場保育所に統合したいという話をしたのは事実です。地元区長様、区の役員さん方、三河幼稚園保護者の皆さん方から拙速な対応ではないかというご指摘があり、今年度末の閉園は見送ろうと考えています。今後のあり方については、地域、PTAの皆さん方と議論をしていながら決定できればと思っています。
333	協働で進めるまちづくり	三河内	8/8	会場	私は、3年前まで教師をしていた。その後、2年間民間に勤務した。現在は塾を経営している。 職員が、今日の懇談会中にスマホを使用されるにはいかがなものかと思う。KYTの対応も、お役所仕事だと思う。私も元教員ということは一生ついてくると思っているが、職員の皆さんも、町民の目があるということ忘れずに仕事をしていただきたい。	住民の皆さんのために第一という意識を持って仕事をするのが大切だと思います。何かの機会に職員には伝えます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
348	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	会場	桑栽培について今後どのような方向性を持っていかれるのか。	桑栽培について、現在、浪江谷において「はやてさかり」という品種を約4,000本定植しています。現在、土地に根付き順調な生育を見せているということで私どもも一安心かと思っています。しかし、今後については、桑園から展開をされる桑を活用した取り組みを進めていかなければなりません。その一つには、養蚕ということに繋げ、そしてその養蚕が最終的には糸になり、織物業界への応用がはかられたり、更には養蚕から、衣料、食品、宇宙工学、様々な展開が可能であると考えていますので、それらの可能性を模索していき、方向性を固めていく必要があるのではないかと考えています。また、この事業の推進については、町商工会や丹後織物業組合などの皆様方が主体となり、組織をしていただいている協議会を中心に取り組みを進めていますので、今後につきましてはその議論を踏まえた形での事業展開になると思っています。
349	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	会場	先ほど丹後ちりめんが4月に日本遺産の選定を受けて、ちりめん街道となっていますが、例えばここにおられる方でその意味合いをどのように知っておられるかをお聞かせください。	2点目にいただきました、日本遺産への理解についてですが、これは、各地域に継承されてきた物語を日本遺産として認定していくことによって、その地域の魅力を発信していこうということが主な事業の内容となっています。2020年までに日本全国約100箇所の認定をしていきたいということが文化庁の意向です。私どもは、今年度認定を受けることになりました。これから3か年にわたり、その認定に伴う財政支援や各支援が文化庁からいただけるということです。その支援に基づきながら丹後ちりめんの産業、文化の魅力を磨き上げや発信を行っていきたいと思っています。丹後ちりめん街道という名が付き、その間の取り組みを振り返ると、ちりめん街道の充実、更には、三河内地域等をはじめ、町内に点在している丹後ちりめんが育んだ町並みというものがあります。この町並みをいかに維持していくか、更には育てていくかという観点でも取り組みを進めていきたいと思っており、現在、観光交流課、教育委員会、住民の皆様との議論を踏まえた形でいかに計画を推進していくか、という議論を現在行っています。
350	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	会場	①ホップの件について、試験的な形で2、3カ所ですか？ ②4カ所ですか。ある程度の補助金を受けてやっておられますが、先日農林課長と話していた時に、来年度に苗を植えてほしいという声をお聞きしたが、ある程度の規模的にやる場合はそのまま続いて補助金があるのかお聞かせください。	①4カ所 ②3点目のホップの栽培について、先ほど申し上げましたように、本年、試験栽培を終了することで、この土地に合うホップの品種、また、面積に応じた収入、更には、投資における回収計画ということも、一定数値としても出せるのではないかと考えています。そうした数値を事細かにまとめ上げたうえで農家の皆様方、更には、ホップの栽培に関心のある方に提供していく必要があると思います。その上でこの事業を取り組むにあたって一番のハードルは、棚の整備です。この棚の整備については一定の私たちの支援が必要だと思っておりますが、今後その点における協議を深めたいと思っています。ホップの植付の期間というのは、3月下旬から4月にかけてということですので、あまり悠長なことは言っている時間はないと思っています。ホップの事業についても、現在、ホップ生産者組合が手がけられ、少しずつ面積の拡大傾向にあります。その中で多くの皆様方に取り組んでいただくことが出来ればと考えていますので、ぜひとも今後の議論の動向にはご注目をいただきたいと思います。
351	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	会場	町長もご存知の通り来年度から(米の直接支払)交付金がなくなります。そうすると、特にたくさん田んぼを作っておられる方などは、即困ってしまいます。先日の農業新聞にも書いてありましたが、900町くらい作っておられるところで年間6,000万円くらいの交付金があったが、それが一気になくなると、実際今後農業を続けていくかどうか、かなり切羽詰っているそうです。私どもも、あつえ夢ファームということで8町ほど作っていますが、それでも色々な交付金なくなると、即50万円、60万円というお金になります。ぎりぎりの状況で、どちらかというとしんどいくらいでやっていますので、かなりの負担が出てくると思います。ホップの件に関しましても、実際には、土地の排水等の色々な問題が出てくると思います。それが合うかということもかなり大きな問題だと思っております。循環型農業についても今後の農政を町としてどのように考えているかお聞かせください。	日本の農政というのがまさに転換期であると考えています。来年度以降、生産調整の関係で大きな変更が計られるということですし、この間政府が進めてきたTPPIにおける動向がどのように変化していくのかについても環境が大きく変化をしている中だと思っております。日本の国土保全を考えたときに、農業政策というのは、大変重要な取り組みであり、また食の安全保障という観点からも、私としては最重要課題だと思っております。そうした認識については政府としても同様の見解ではないかと考えています。今後についても、政府の交付金や財政支援の動向を注視していくことが重要であると考えており、地域にあった取り組みでしたら積極的に各財政支援についてもとりに行きたいと考えているところです。ただ、ありがたいことに本町における農業生産物への取引価格ないしは生産高の数値としては、この近隣市町の中でも非常にいい状況です。また、各方面から農業政策に対して、視察や講演等本当にお声かけを多くいただいております。まさにこの間取り組んできた事業が実りつつあるということでもあると思いますので、こうした地域の実情に合わせた発展の仕方というのが今後あるのではないかと考えているところです。農業政策とは、食の安全保障、食育、国土保全、景観保全という観点から非常に重要であると考えていますので、今後より一層力を入れていきたいと考えているところです。
352	快適でやすらぎのある生活環境づくり	温江	8/9	会場	地積調査を数年前から各地域やっておられ、温江地区も数年前にやっておりましたが、現在まだ出来ていないところがあると思います。皆さん頭から抜けていると思いますので、その件について説明してください。	明石地区の懇談会でも地籍調査について質問が出ていました。建設課長が来ていませんが、私が聞いてきました中では、まず、旧町での桑飼校区を皮切りに行い、香河はすべて終わっている。明石については進行中ではありますが、完了はしていません。温江についても小森谷からオサ、谷垣、門出が現在進行中で出来ていないがほかの地域は完了しています。小森谷周辺は平成13年から行ってありますが、途中、休止していたというきさつもあり、それを今進めかけています。完了までには、あと2年ほどかかる予定です。現在、最終図面を整理している途中で今年の12月ごろに整理が出来る予定。その後、登記簿と照らし合わせ再チェックをして、来年の春には皆さんに閲覧していただくと考えております。この閲覧で皆さん全員の同意がいただければ、国土地理院で認証してもらい登記となります。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
353	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	会場	<p>山の家の件です。ご存知のように昭和53年に建てから約40年が経っています。その当時は、細井先生が町長の時だったと記憶しています。延べ約80名の方が運営委員としてずっと運営してきたわけですが、時代の流れとともにお客さんの嗜好も当然変わってきますし、色々な部分で変えていかなければ生き残っていけないという状況下にあったということですが、前年は大変な赤字でした。本来なら区が対応することかと思いますが、運営委員さんからすると、区から運営を任されているという責任感から、なんとか自分たちでという思いも当然強いと思います。前運営委員さんを中心に法人化に向かい、この春から動きかけ、管理人さんの入れ替えや食の方でも35歳の若手の青木君が頑張っってやっついていただいております。我々お金がありませんが、町にもお金がないこともよくわかっていますので、我々は何をすればよいかと考えた結果、今あるものをいかに綺麗にし、お客さんに満足していただくことしかない。この1か月半は日曜日でも平日も出てきてもらい、40年間の溜まりに溜まった物がある程度片付いてきたところです。今考えていることは、池のそばに340㎡くらいの空き地がありますが、草が生えて綺麗なところではないので、整地してパーベキューやミーティングまた、夜空を見ていただいたり出来るように綺麗にしようかと今整備しています。それも我々役員5名と若手の青木君の6名でやっています。地元の方の協力がものすごく大きい。重機が必要な場合も、やってやるわと協力していただいています。セメントについても、20数万円から30万円かかってしまうので、何か良い方法がないかと考えた結果、セメントの残りをいただきみんなで作業する考えで計画しています。今、とても汗をかいて労力をかけているだけでなく、この結束力がものすごくあると感じていますし、とても大事なことだと実感しているところです。あれ直して、これ直してと本当は言いたいですが、とにかく今は大事に使おうということが基本だと思っています。その中で、町の方から直してやらないといけないうらうと思うところがありましたら直していただけたら結構だと思います。以前から、風呂のことは言っています。昭和53年から40年も使っていて古い。昔のままの暗い雰囲気です。京都府下の山の家の視察もさせていただきましたが、100%といついいほど直されています。私どものほうは直されていない状態、トイレもそうですが、綺麗にして使っていたらこう今の段階ではやっていこうと取り組んでいます。先日も神戸の方から大型バス2台が来られましたが、帰る時、大型バスが曲がれませんでした。何度も切り替えし帰ってきました。道路を直すことはとても大変なことで、そのような状態の中でやりくりしている状態です。コンサルで3月まで来ていただいていたかたに大変お世話になっています。我々は所詮素人なので、その中でアドバイスしていただく、なるほどその方向がいいなと非常に参考になっています。ノーギャラです。3月以降、町もまったく関係がありませんが、今まで迷惑をかけてきたので非常に協力していただいています。我々も山梨の方に3、4名行かせていただき、3日間勉強させていただきました。非常に勉強になりました。1泊25,000円くらいしましたが、非常に感銘を受け、こちらの山の家でもヘルスツーリズムというものも取り入れ、また座禅、ヨガを行ったり、徐々に、食べる、泊まるだけではなく、他にプラスなことをやっていかなければお客さんになかなか来ていただけませんし、リピーターが出来るようやっていかなければならないと思っています。今現在、京都から行政書士、宮津から司法書士に来ていただきコスト面、運営方法等相談し、株式会社が良いか合同会社が良いか山の家で議論していただき、株式会社にすることを決定しました。9月1日までは株式会社を立ち上げ、9月の議会で承認をいただき、10月1日付けでスタートという運びになるかと思っています。役場で利用していただき大変ありがたいと思っています。手の行き届かないところがありましたらまた言っていただき、勉強しながらやっていきたいと思っています。一つのモデルになればという気持ちで取り組んでおりますので、またご支援のほどよろしく願いいたします。</p>	<p>山の家の現状と経過の説明をしていただきました。まず、総合的な話をしていきたいと思います。現在、与謝野町には190を超える公共施設があります。その公共施設の中でも、宿泊を含めた施設も何点かあるという状況の中で、今後施設のあり方についても、それぞれの分野において方向付けをしていかなければならないと思います。その上で、施設の更なる財政投資、更なる財政支援をしていくかどうかの判断の大きな基準は、その背景に地域やそこに携わる皆さんの熱意があるかということだと思っています。山の家の皆様方におきましては、40年という歳月の中で積み重ねてこられた知見、そして前を向いていこうという意識が非常に強いと感じていますので、私たちの方でも出来る限りの支援は当然していかねばいけないと思います。特に風呂の関係や水まわりについて、要望もかなり重ねてきていただいていますので、そうした熱意や状況に即した対応が出来るよう庁舎内で議論を深めていきたいと思っています。今後についても山の家の皆様と意見交換をさせていただきながら今後の方向付けをご一緒できればと思っています。私も、最近何度かお伺いさせていただき、先ほどおっしゃっていたことがよくわかります。そうした中で、私なりの嬉しさというものもありますし、それは地域の方や町民の皆さん方にも響くものだと思います。温江の皆さん方や役員の方だけでなく、町が一体となって応援が出来るよう、その共感の場を広げていくことができればと思うところです。議論の方向性については、今後協議の上で決めていくことがよいのではないかとご提案させていただきます。</p>
354	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	会場	<p>(山の家)話を聞いていて非常に頑張っておられるなと思って聞いていたのですが、基本的なことですが、現在の指定管理団体はどこですか。</p>	<p>指定管理者が誰になっているかということですか。山の家は運営委員会です。</p>
355	協働で進めるまちづくり	下山田	8/30	会場	<p>新聞で財政基金が6年後に無くなると聞いた。乗り切るために、どのような工程表を描いておられるのか町民に示していただいたほうがよい。財政危機が迫りつつあり、ごみの有料化や上下水道料など負担がかかってくる、だんだん住みにくい町になる。早めに示して欲しい。</p>	<p>行財政改革を推進していく必要があるというご指摘で、同じ見解です。財政規律を守って、その上で町の発展を実現していくことが私たちに求められていると思っています。どのような取り組みをどういったタイミングで行っていくか、見通しを示すべきではとのご意見ですが、その必要性があると思っています。さきほどの資料の15ページに大きく4つの行財政改革が記載されています。公共料金の見直し、公共施設等総合管理計画の策定と早期計画の実施とございます。この取り組みを進める前提として、4番目の事務事業の見直しなど役場組織の徹底的な歳出の抑制、創意工夫が求められています。そうしたことを前提に、特に進めていかなければならないのは③公共施設の統廃合・再配置・複合化です。本町におきましては旧3町が合併し、同じ様な建物が重複してある。この状況では財政的に後年度の負担になるということが明白です。それぞれ利用者・受益者がありませんが、公共施設の統廃合・再配置・複合化は、一定の思い切った取り組みをしていかなければと実現していけないと考えており、現在、特に小学校や就学前の保育・教育施設の統廃合を進めるべく努力しています。ただいまの質問は、より具体的により綿密な行財政改革の道筋を町民に示せというご提案だと思っておりますので、それらを踏まえて今後の取り組みに生かしていければと考えています。</p>
356	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	下山田	8/30	会場	<p>認定こども園を岩滝につくられたが、民間委託は考えていないのか。抜本的な改革が必要では。</p>	<p>財政的なメリットはあるが、良質な就学前保育・教育が確保できないなら、子育てについては民間委託できません。引き続き検討していきたいです。</p>
357	自然と安全を守るまちの基盤づくり	下山田	8/30	会場	<p>現在建設中のごみ処理施設で大きな石・岩盤が出てきて、さらに費用がかかると聞いている。ゴミに限らず出て行く物はどんどん増える。減ることはない。民間の給与は低い、職員の給与カットなども含めて考えて欲しい</p>	<p>建設中のごみ処理施設の件ですが、着手後に地中に相当岩石があることがわかり、工事費の見直しを行わなければなりません。行財政改革の件は、職員の数で言うと正職員の数を抑制しています。合併当初と比べると約50人減っています。これからも総職員数の抑制は続けていきます。人口が減ってきているので、人口に応じた職員数となるようバランスを取っていきます。</p>
358	快適でやすらぎのある生活環境づくり	下山田	8/30	会場	<p>・外灯のLED化。下山田の全箇所がいつ頃までに完了するのか。 ・不法投棄の件。私有地にタイヤなどがあるという苦情があり、住民環境課に以前相談したことがあるが、私有地のため対応が難しいと回答があった。基本的には個人個人での対応なのかもしれないが、相手方がこちらにいない方もあり、何かいいアドバイスをいただきたい。 ・消火栓ホースの件。点検をする中でホースの破損が見つかったも全てを交換できない。区のストックもない。具体的な対応策があればお願いしたい。</p>	<p>外灯の件は建設課が、消火栓ホースの件は防災安全課が所管しておりますが、本日出席しておりませんので代わりに回答します。約5年前からLED化を進めています。LED化によりランニングコストが削減されるので、計画的に進めておりますが、限られた予算で順次進めているので、本日の段階では、下山田地区も含め全地区のLED化が、いつ頃完了するか回答できません。消火栓ホースの管理については、区でお世話になっており、大変ありがたく思っております。ホースの破損の報告を町にもしていただいておりますが、全てを一度に交換することも難しく、限られた予算の中で順次交換させていただいております。不法投棄の件は、住民環境課が本日出席しておりませんので、後日、区長様を通じて回答させていただきたい。</p>
359	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	下山田	8/30	会場	<p>スポーツクラブで、毎週金曜日中学生20人、小学生4〜5人を卓球協会で指導している。学校の部活で週に何回か指導できればもっと上達すると思う。教育委員会からお墨付きをいただければ指導に行きやすいが。また、3年生は9月から部活禁止と聞いたが、高校受験勉強もあると思うが、部活ができないのはもったいない。</p>	<p>外部指導者として、学校が認めれば指導をお世話になることは可能です。3年生の部活禁止については、部活動引退後は進路の実現に向けて取組を進めるため、原則的には部活動はしていません。</p>
360	快適でやすらぎのある生活環境づくり	下山田	8/30	会場	<p>以前から要望している道路の改善要望(下山田の踏み切り付近)、交通量も多く、見通しも悪く、通学路にもなっている。空き家になっている土地を提供していただかないと進まない。土地所有者と話をしているのか、どういった状況か。</p>	<p>昨年も道路の拡幅の件はお聞きしております、毎回同じ言い方になって申し訳ないですが、財政のからみもあり、また、同じようなケースが町内に何箇所もある。土地を提供していただけるのなら別だが、町から声をかけるとなると財政的な裏付などが必要になり難しい。所管の建設課長には伝えます。</p>

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
361	自然と安全を守るまちの基盤づくり	下山田	8/30	会場	ごみ袋の有料化の件。可燃ごみの減量の取り組みで、雑がみの扱いをどうするかで我が家でも意見が分かれています。町民も理解し、徹底できているのでしょうか。個人的な努力はしているが、町として大掛かりな取り組み・対策をしなければ可燃ごみの減量はできないのではないかと。いままでの個人レベルの努力だけでは難しい。	町政懇談会でごみ減量化の取り組みの議論を深めていくことはこれまで無かった。そうした議論がひとつでもふたつでも前に行くことで、減量化に対する意識が少しずつ変わっていくであろうと思います。行政が可燃ごみの抑制をいかに目指していくか、どのようにお願いしていくか、どのように情報提供・告知していくか、不断の努力が必要です。引き続き住民の皆様と取り組んでいきたい。大掛かりな取り組みを考えていくべきとのご意見でございましたが、先日の議案の内容でもありました、ごみ袋の有料化がその政策の一つでしたが、その内容に変わるものを現在精査しております。
362	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	下山田	8/30	会場	今年の夏休みに宿題講座が野田川中央公民館で実施された。山田の子供は親などが送迎しないと参加が難しい。できれば子供が自分で行くことができる場所で実施してもらえればよかった。	教育委員会で中央公民館の講座として実施しました。他では加悦地域公民館、知遊館と旧町ごとに実施しました。夏休みの宿題をしたり、土曜日・日曜日にいろいろな講座を実施しています。会場まで少し距離がある子供にとっては参加しにくいと思いますが、といて迎えに行ったりはできませんので、保護者同士で乗り合わせていただくなどお願いしたいと思います。 地域の取り組みとして上山田地区が地区公民館事業で宿題講座をされた。教育委員会が強制するわけではないが、そういった方法もありますので、地域の方々でご検討いただければと考えています。
146	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	いろいろな意見を聞かせていただきました。教育長様も発言されてもよかったと思います。	-
147	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	沢山の意見が出ていろいろと考えさせられました。	-
148	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	いろいろなご意見、日ごろの思いを知ることができました。	-
149	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	良いことです。続行するべきです。	(参考とさせていただきます)
150	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	クアハウスの件(ドルフィン)福祉政策、中学校の件、ソーラー、中学校通学路の件、廃業の件、アソ海の掃除、カイガラ	(参考とさせていただきます)
151	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	2回目の出席です。町長の予算概要の説明を聞き、町長さんの町政すべてを預かるその責任の心構えに圧倒された。何点か質問して即明解な回答を得られなかった。	-
152	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	町政懇談会の必要は感じるが、全区でやる必要はあるのだろうか。参加も少ない中で、ある程度まとめた形で行ってもいいのでは。各区でやらなくても意見をいいたい方や話を聞きたい方は参加されると思う。	(参考とさせていただきます)
153	協働で進めるまちづくり	算所	6/19	アンケート	町民の皆さまの生の声を聞かせていただき、活気を感じました。町民が一つになっていける与謝野町になることを願っています。	-
158	協働で進めるまちづくり	加悦奥	6/20	アンケート	多様な意見、質問に丁寧に答えていただきありがとうございました。	-
161	協働で進めるまちづくり	加悦	6/21	アンケート	・ブランド戦略:町民一人ひとりが「自身なら何ができるかな」と考える機会ができてきたら良いなと思える内容になればと思います。 ・ごみの件は:強化年間というだけでは難しいので、町全体が運動として取り組んでください。	(参考とさせていただきます)
162	協働で進めるまちづくり	加悦	6/21	アンケート	・奥滝の不燃物最終処分場について:持ち込み不可の品名を明示してほしい。トタンは産業廃棄物だから駄目と言われたことがあるが、タタミが持ち込まれている。 ・職員の勤務について:移動はないのか。あってもよいのではないかと。	(参考とさせていただきます)
163	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	加悦	6/21	アンケート	与謝野町における日本遺産認定にはどのようなメリット及び補助費等あるのか。また、ちりめん街道の対応は。	日本遺産に認定された場合、地域の自治体や関係団体等による協議会に対し、文化庁が「日本遺産魅力発信推進事業」により、日本遺産を活用した観光振興や地域活性化の支援が受けられるというメリットがあります。補助金は、3年間の定額補助で、情報発信、人材育成、普及啓発、文化財の公開活用のための整備が対象となっています。補助金については、海の京都DMOが事業実施主体となり、平成29年度は2市2町全体で約4,200万円の補助金となっており、本町におきましては、ちりめん街道に「丹後ちりめん」の製造工程の展示(映像公開)、商品展示、織機の動態展示、手織作業見学のほか案内板・解説板等の整備を行う計画としています。
164	協働で進めるまちづくり	加悦	6/21	アンケート	短時間で説明についての資料がない	-
170	協働で進めるまちづくり	後野	6/23	アンケート	役場を離れて3ヵ月。とても気軽に参加したものの、冒頭3月まで担当していた話に集中して戸惑っておりました。「役場応援団」として応援していますので、頑張ってください。	-
211	快適でやすらぎのある生活環境づくり	後野	6/23	アンケート	①橋本後野線側溝改修工事後約1年経過したが、自由勾配側溝の天端とアスファルト路面の際に、約10～15mmの段差が発生した。歩行者に危険を及ぼす可能性がある。現地確認の上善処願います。(区長には具申済み、近場住民) ②阿蘇シーサイドGG場の芝面の整備をもっと積極的に取り組んでいただきたい。	①現場を確認しました。手直しを実施します。 ②限られた予算の範囲内で維持管理に取り組んでおります。利用者の方が快適にご利用いただけるように今後とも維持管理に努めてまいりたいと思います。
175	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	与謝	6/26	アンケート	現在、加悦谷高校キャンパス化の進捗状況はどうなっているのか。	加悦谷高校の特色を継承・発展させた教育内容となるよう、現在、校内検討がされているところです。学科がどうなるかなど、概要は今年度中に発表される予定です。また、教育内容の詳細は遅くとも平成30年度秋頃には発表される予定です。現在の進捗状況については、京都府教育委員会のホームページでも公表されています。
176	協働で進めるまちづくり	与謝	6/26	アンケート	町政の内容、とても理解しやすかったです。ありがとうございます。	-
187	快適でやすらぎのある生活環境づくり	金屋	6/27	アンケート	①金谷区町政懇談会における質問に関する写真を提出します。(親水公園東屋) ②消火栓の筒先の盗難についての対策についての明確な回答がなかったように思います。対策を考えてください。	②防犯的な意味合いから各区の協力によりシールの貼り付けを行っていただいているが、窃盗の意志を持つ悪意のある第三者からの被害を回避するための決定的な対策をとることは困難であり、地域のみなさんの協力が不可欠であると考えています。不審者を目撃されたら府警宮津署または防災安全課にご一報いただきますようお願いいたします。
188	協働で進めるまちづくり	明石	6/28	アンケート	・各課の課長(担当)が来られていないと、区からの質問に的確な返答ができないので、去年までのように各課長に来ていただきたい。 ・各地区の区長と事前に打ち合わせをして、どのようなスタイルで行うか話をすれば、その地区にあった懇談会ができるのでは。	(参考とさせていただきます)
189	協働で進めるまちづくり	明石	6/28	アンケート	初めて参加させていただきました。参加人数が分からないのかもかもしれませんが、机は出すべきではないでしょうか。メモをすることも困難です。	今後、町政懇談会等を開催する際の参考とさせていただきます。
190	快適でやすらぎのある生活環境づくり	明石	6/28	アンケート	地籍調査の件、早急に取り組んでいただきたいと思いました。	(参考とさせていただきます)

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
191	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	明石	6/28	アンケート	ブランド戦略も大事ですが、予算をほかにまわして、優先事業を一つでも進めていただこうと思います。	(参考とさせていただきます)
203	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	滝	7/3	アンケート	聞く時間がなかったのですが、豆っこ肥料のにおいは新肥料の開発でなくなるのですか。今年も昨年加悦の田の近くの住民よりクレームがあり使用していません。稲つくりをしなくてもクレームが無い肥料を。奥滝水道の件で…初期の個人宅への連絡等遅かったので今後は改善してください。	現在の豆っこ肥料は「粉状」が主であるので、散布時に周辺に飛散するという点が課題の一つでした。今回の設備更新に伴い、扱い易く飛散しにくい「粒状(ペレット)」を主に製造する予定ですので、改善されると考えます。
204	快適でやすらぎのある生活環境づくり	滝	7/3	アンケート	先日、口滝地区で、宅前に用事で止めてあった軽乗用車に出発途中の奥滝の方が追突事故を起こされました。車は両方とも大破。奥滝側より下へ向いて走ると、現場は左カーブとなっており、反対側にカーブミラーはありますが遠すぎて車を確認できる状況ではありません。「危険です スピードおとせ」とかの看板を作るとか、危険予防の対策がとれないものか考えていただけませんか。返事を滝区長までお願いします。	→ 現地に「危険 スピードおとせ」の電柱幕を設置しますと滝区長へ回答済みです。
207	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	石田	7/10	アンケート	岩滝小に勤務しています。年々暑さが増し、今年も6月から30度を超える教室がありました。本日(7月10日)は2階の高学年の教室で40度近い気温になり、子どもたちも「頭がぼーっとする」とうったえるほどでした。エアコンの設置をお願いしたいです。	小学校だけでなく中学校等の教育機関へのエアコン設置は計画的に進めていきたいです。エアコンに関しては、現在は橋立中学校への導入を進めています。加悦中学校への導入は済んでいるので、公平性の観点からまずは中学校への導入を行い、その後小学校への導入を計画的に行っていきたいと考えています。いずれにしても与謝野町だけの予算では到底不可能であるので、国等へも要望を行っていきたいです。
208	協働で進めるまちづくり	石田	7/10	アンケート	この調子で町政を近めてください。	-
212	協働で進めるまちづくり	弓木	7/11	アンケート	丁寧なご対応ありがとうございました。	-
213	協働で進めるまちづくり	弓木	7/11	アンケート	岩滝長寿会連合会で毎月第4土曜日にシーサイドパークで、シーサイドサロンを実施しています。毎月使用する机(長寿会事務所)テント(町の倉庫)へ取りに行き、終わったら返しに行っています。この作業にたいへん時間をとっています。お願いするのですが、現在ある管理棟横に倉庫の設置をお願いいたします。今までの実績を評価していただき検討してください。頑張っているところは、町をあげて支援したいと思えます。	岩滝長寿会連合会の皆様の阿蘇シーサイドパークを利用した取組につきましては、頭が下がる思いであり、これまでの実績も大変評価しています。町といたしましては、現段階において、管理棟に倉庫を設置する計画はありません。申し訳ございませんが、現状のままをお願いしたいです。
214	協働で進めるまちづくり	弓木	7/11	アンケート	町長の長い話にうんざりとした。せつかくの区民の声を聞く会です。我々の方に時間をさいてほしかった。	(参考とさせていただきます)
215	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	アンケート	消防の有事が減少しているなか、それと少子高齢化の中団員の確保や部の統合や消防車の整備など考えていくに当たり、自治消防隊の強化の消火栓の増加や訓練を定期的にするべきだと思います。団員のヘルメット、ジャンパーなど人数分配備されているのか。	ご指摘のとおり自治消防隊の強化は重要であるとの認識から平成30年より消防団支援隊の強化を図ることとなっています。また、団員に対する装備品の充足率は100%となっています。
216	快適でやすらぎのある生活環境づくり	弓木	7/11	アンケート	水道水の味が昔よりマズイ。何か原因があるのでは。	男山浄水場の水源及びろ過方法は変更しておりませんので、水道水に含まれる消毒のための塩素が原因と思われる。水道水は、法律により塩素消毒が義務付けられており、蛇口の残留塩素が0.1mg/l以上検出されなければならないと定められています。塩素は水中の最近を殺す働きをしておき、これがないと水道水が病原菌で汚染される恐れがあります。このため浄水場では、末端の給水栓でも残留塩素が0.1mg/l以上検出されるように塩素を注入しています。一般に臭いに対する感覚は朝起床したときに一番強いと言われています。朝の使い始めだけ臭気を感じる場合は、感度が高くなっているためと思われるので心配ありません。浄水場に近い区域や給水地域によって、また、気候や体調などによりカルキ臭・塩素臭を強く感じる場合があります。対策として、水を冷やすことによって消毒の塩素臭は気にならなくなります。また、煮沸することにより、塩素臭は除去できますが、残留塩素はなくなってしまうので早めにご使用ください。
217	協働で進めるまちづくり	弓木	7/11	アンケート	要望の場となってしまう。町長に知ってもらうのはいいこと町の政策を聞いてもあーそうかというくらいで、議会に任せるとしかないと思う。1年に1回くらい直接話す機会があってもいい。	(参考とさせていただきます)
218	協働で進めるまちづくり	弓木	7/11	アンケート	回答していただけるよう全課長の出席した方がよいのでは。	(参考とさせていただきます)
222	協働で進めるまちづくり	立町	7/12	アンケート	もう少し多くの方々の参加を望むためにどうしたらいいのか。会はスムーズに進行し有意義な時間であったと思います。	-
223	協働で進めるまちづくり	立町	7/12	アンケート	滅多にこういう機会に出たことがないので、良い勉強になったと思います。日頃何気なく過ごしていると町行政に携わっている方の大変さあらためて感じました。日々町のことを考えて働いている方に敬意を表します。	-
224	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	7/12	アンケート	歩いて行ける範囲の男女の集まりの場を作りたいと思っているが…でもそんな場所は今から…必要だと思います。	(参考とさせていただきます)
225	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	立町	7/12	アンケート	高齢者 集まっていろいろ話し合える場が持ちたいと思いますが、83才になるとなかなか思うようにはいかず、歯がゆい思いです。行方不明になった方は近所でもあり、早くそういう場を作りたいと…また、相談に乗っていただく…近所 2. 3人で話しています。	(参考とさせていただきます)
227	快適でやすらぎのある生活環境づくり	浜町	7/14	アンケート	ベイエリアの芝生の犬のフンをなんとかしてください。飼主のモラルの問題と思いますが、大きな看板等の設置をお願いしたい。子どもが困っています。	昨年、公園全体の5カ所に看板設置をしました。町としても犬、猫のフンの管理は困難であり、飼主のモラルの問題と認識しています。
228	快適でやすらぎのある生活環境づくり	浜町	7/14	アンケート	①阿蘇シーサイドパークの対外的な活用を増やして、町の歳入増をめざしてほしい。(伊根方面へ向かう人やツーリングバイクの人など、商売をする人にはいい場所だと思います)あわせて、公園に防犯カメラ等の設置をお願いします。防犯以外にも観光や防災に活用できますし、与謝野町の魅力発信につながるのをご検討ください。②有線放送で各学校でのイベント等を放送いただいています。親としてありがたいことです。ですが、残念なことに撮影がとてもし下手なカメラマンのときがあります(素人以下)。町民からお金をもらって運営してるわけですし、町税も投入しているはずなので、撮影者のスキルアップをお願いします。	①歳入増に関しては、現在全公共施設の使用料見直しを図っており、条例改正の上、阿蘇シーサイドパーク使用料を設けることを考えていきたいと思っています。防犯カメラ等の設置に関して、現段階では設置する計画ありません。現状のままをお願いします。②撮影にはどうしても個人差が出ます。申し訳ありません。学校の式典は、日時が重なり、他課からの職員の応援を依頼して撮影している状況です。スキルアップについては、NHKなどの研修会への参加もおこなっておりますが、今後も日々の番組視聴や撮影の中で努力いたします。
231	協働で進めるまちづくり	東町	7/19	アンケート	長机等、記入しやすいようにしてほしい。会の進行がわかり、記入できるよう簡単なレジメの準備がほしい。	今後、町政懇談会等を開催する際の参考とさせていただきます。

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
232	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	アンケート	クアハウスの庭が汚い。 ドルフィンの人が草刈はされていますが、座って草取りをする姿は見たことがありません。 駐車場と歩道の間の植込みにある雑草が大きくなって気にならないのか不思議で仕方ありません。 事務所入口の消火器箱前がごみ置き場になって汚い。 草刈の業者は仕事が雑で年々ひどくなる。 建設課の方で見回りはされているのでしょうか。	(参考とさせていただきます)
233	自然と安全を守るまちの基盤づくり	東町	7/19	アンケート	地区公民館の防災、耐震、防火対策をお願いします。	(参考とさせていただきます)
234	快適でやすらぎのある生活環境づくり	東町	7/19	アンケート	男山最終処分場が満杯であると思われるが、今後何年くらい利用できるのか。新たな施設設置の可能性は。	平成29年度中に測量にて埋立容量を計測し、利用年数を算出する予定のためしばらくお待ちください。 また、岩滝最終処分場が満杯になっても、加悦、野田川最終処分場がありますので、今のところ新たな施設の設置は考えておりません。
247	協働で進めるまちづくり	男山	7/24	アンケート	人数が少なすぎる	-
248	快適でやすらぎのある生活環境づくり	男山	7/24	アンケート	海岸公園のマナーの向上(犬のフンの始末) 野田川河口域の堆積土及びカキ塚の対策 流路の確保、ごみの堆積etc	(参考とさせていただきます)
253	協働で進めるまちづくり	岩屋	7/28	アンケート	庁舎統合こそが町の一体感の醸成の第一歩だと思います。なんとか実現するようがんばってください。	-
254	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	岩屋	7/28	アンケート	ホップ事業に多大な税金が活用されているデータは少し驚きでした。ちりめんなど昔から有名な事業よりもさらに投資がされているのは正直寂しい思いがします。ビールならアサヒなど大手にはどう努力しても勝つほどの成果は難しいと思うので。 人件費が一番の算出だと思いますが、必要な”教育のための投資”合理性だけを考えてスピードを加速させているのは保育現場は対応に追われ、業務との併行するのは負担もあります。こども園を急がれる思いもわからなくはないですが、親世代の要望なのかは疑問もあります。説明会などへも興味や関心は高い核心からの決定なのでしょう。業務の移行にともなって現場を充実させるなら事務業務の適量はいちど見直しをお願いしたいです。職員の健康的な心身の保証も人材育成としては大切ではないかと思えます。	(参考とさせていただきます)
256	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	岩屋	7/28	アンケート	野田川地域のこども園について 先月市場保育所にて、平成30年以降三河内幼稚園を合併して市場保育所をこども園化していくとの説明会がありました。 岩屋保育所を閉所するとき、小学校の合併とあわせてほしいとの話をさせていただいたのですが、では…いつ野田川地域のこども園は整備できるのでしょうか。 先月の話では子どもの減少幅が少なく、小学校も平成32年ではむずかしいとの説明がありましたが、説明した役場職員の方は「こども園はいい！」というのであれば、野田川地域に2園になっても事業を進めてみてはどうかと思えます。 計画の修正はあってよいと思うので、町報でも教えていただきたいと思えます。	野田川地域の認定こども園の整備については、平成34年度を目標として、整備計画(案)を作成し進めることとしています。また、整備までに5年程度の期間が必要となるので、各地域に現在の施設を活用して認定こども園への移行を進める計画としています。 現時点では、野田川地域の小学校の再編の時期は決まっていないので、小学校の統合の時期と合わせることはできないのでご理解いただきたいです。 野田川地域に2園のこども園整備については、整備計画で町内の地域毎に各1園と決め進めていきたいと考えているので、ご理解いただきたいです。 時期をみて町民の皆様へ町報等でお知らせしたいと考えています。
257	快適でやすらぎのある生活環境づくり	岩屋	7/28	アンケート	町道岩屋川線の質問があった。行政は困らない。困っているのは住民。 しっかりと対応を。	(参考とさせていただきます)
259	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	石川	7/31	アンケート	IT産業の取り組み	(参考とさせていただきます)
260	協働で進めるまちづくり	石川	7/31	アンケート	町政が計画的段階的に進められてきている。 色々な課題がある中でも前進を一步でも進むことを期待しています。 町政を支持しています。	-
261	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	石川	7/31	アンケート	時間がなく発言できないので文章で提案します。 福祉問題→多くのものが老後に不安を持っている(高齢者、障害者) 「福祉の町づくり」による雇用者の増←移住者(住民増、介護グッズ、介護タクシー)⇔空き家バンク→リフォーム、バリアフリー(建築業) 充分、産業になるのではないか。	(参考とさせていただきます)
265	協働で進めるまちづくり	幾地	8/1	アンケート	参考にされたことを聞いたことが無い	-
270	協働で進めるまちづくり	四辻	8/2	アンケート	財政が厳しいなか、たくさんの方の要望や意見が出ていたので、少しでも今日の内容が町行政に反映されてほしいと感じました。	(参考とさせていただきます)
271	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	四辻	8/2	アンケート	民営化…民営ではないのでできることもあり、メリットデメリットで難しいですが、保育所が民営化になってなくていいと言っている人がいました。	保育所等の民営化については、今後、調査や協議を重ね慎重に対応していきます。
272	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	四辻	8/2	アンケート	府の教育指導課、一方的な説明があった わーくぱる キャンパス交流、校舎の交流 加悦谷高校と宮津高校 分校化の心配 P7織機の広幅化 商工振興課 慎重にするように 昭和60、61年に振動が激しい、音が大きい、夜遅くまでしていた 働きかけを重ねて撤退した 町議会、町も動いた、区は動かなかった	(参考とさせていただきます)
275	協働で進めるまちづくり	上山田	8/4	アンケート	町長の与謝野町に対する思い、願いがよく理解できました。	-
276	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	上山田	8/4	アンケート	ぜひ産業振興の目標達成をしていただきますようよろしくお願いします。	-

No	分類1	地区	受付日	質問区分	質問等の内容	回答の内容
277	協働を進めるまちづくり	上山田	8/4	アンケート	ご苦労様でした	-
278	安心と生きがいのある福祉のまちづくり	上山田	8/4	アンケート	「敬老会」事業の意義、役割は終わった。 (免許証?)返戻者対策費は地区老人クラブの指導並びに活動助成の増額を。	(参考とさせていただきます)
279	協働を進めるまちづくり	上山田	8/4	アンケート	住民が町に対して思っておられることなどを聞いて良かったです。お疲れ様でした。	-
281	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	三河内	8/8	アンケート	野田川、加悦地域にも認定こども園を早急に建設していただきたい。	(参考とさせていただきます)
282	協働を進めるまちづくり	三河内	8/8	アンケート	町長よりいろいろお話が聞け、来てよかったですと思いました。 次の会にも寄してもらいます。	-
283	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	三河内	8/8	アンケート	子育て支援に重点を置いて支援してもらいたい	大切な子どもたちの健やかな成長のために各種子育て支援に努めます。
284	伝統を活かし未来にチャレンジするまちづくり	温江	8/9	アンケート	温江は長い歴史、豊かな自然、なによりも地域をより良くしようとする人たちのがんばり(彩来館でもとりくみ、夢ファームによる不耕地米づくり、山の家の再生など)が魅力と言えます。 本日はかや山の家の運営をめぐる地域内の周知不足から、若干見苦しい応答があり申し訳ありませんでした。新組織への移行期における混乱の一端と理解してください。 今後は、(株)かや山の家運営委員会が、地域とさらに連携し行政や各団体とも協力し合って、時代の流れに合った山の家として発展させていきたいと考えます。	-
285	快適でやすらぎのある生活環境づくり	温江	8/9	アンケート	可燃ごみの減量化 目標の40%削減…知っているようで気にしていなかった。 電気式生ごみ処理容器の普及で40%削減実現できるのもごみの有料化についての検討の開始について、ごみ袋代とは違う料金が、29年度電気式補助17戸分で40%の削減になるのか。	生ごみ処理容器の普及だけで40%のごみの減量を行うものではなく、可燃ごみ、不燃ごみの中から紙やプラスチックなどリサイクルできるものは、資源ごみとして分別することにより、40%の削減を目指すものです。 可燃ごみの内、約半分が紙であり、雑紙としてリサイクルしていくことが大きなポイントとなります。
286	協働を進めるまちづくり	温江	8/9	アンケート	たいへん意義のある懇談となりました。	-
287	協働を進めるまちづくり	温江	8/9	アンケート	出来る限り多くの課の長の出席をお願いしたい。	-
297	快適でやすらぎのある生活環境づくり	下山田	8/30	アンケート	KTRの線路沿いの野草がいっぱいで見苦しい。 野田川堤防を越えてイノシシが水田に入ってきて農地を荒らす。なんとかしてほしい。	(参考とさせていただきます)
298	快適でやすらぎのある生活環境づくり	下山田	8/30	アンケート	放置竹林問題…世代交代で山が今放置状態となり、山の竹林が年々広がっている(1年に1メートル、20年度20メートル) 竹林が増えることで、大雨時に地滑りで大きな被害が発生する恐れが全国的にも広がっている。 地主さんに放置竹林の管理をお願いするように徹底してほしい。ちなみに地面より60mくらいのところで切ると3、4年続けると、竹は枯れてしまうらしいです。	(参考とさせていただきます)
299	協働を進めるまちづくり	下山田	8/30	アンケート	町職員の人数を減少になったことは良いことである。 野田川河川の雑草の刈り取りまたは除草を大々的に実施してほしい。 サイクリングロードの刈り取りを境界線までの実施等	(参考とさせていただきます)